

簡約日本語の創成と教材開発に関する研究 [1992年版]

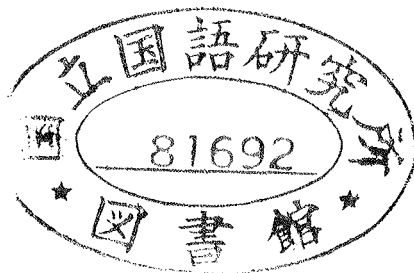
著者	国立国語研究所日本語教育センター第二研究室分室
ページ	1-108
発行年	1992-07
URL	http://doi.org/10.15084/00003133

簡約日本語の創成と 教材開発に関する研究

国立国語研究所
日本語教育センター第二研究室分室

1992. 7





国立国語研究所



1000104917

ま え が き

この「簡約日本語の創成と教材開発に関する研究」はわたしの所長時代の昭和63年度から始まった。予算としては昭和63年度から3年間としてスタートしたが、平成3年度からは第二期に入っている。なかなか大きなプロジェクトであって、これを始めた責任を感じ所長任期満了後も平成元年度からわたしはこれに関わってきている。

このプロジェクトは出発のころから世間の関心をあつめたし、また少なからぬ国費を投じているので、現在どのようなことをしているかの報告をしなければならないと感じている。このため、既にいくつかの報告を執筆したが、国立国語研究所の公のものとしては「国立国語研究所年報」に年ごとの報告を載せてきただけであった。

しかしこの「年報」の報告はきわめて簡単なものであるので、ここに機会を得て、全部ではないが、公表できることになったのは喜ばしい。

多くのご意見が頂ければ幸いである。

1992年7月

国立国語研究所日本語教育センター
第二研究室分室 客員研究員 野元菊雄

目 次

まえがき	i
I 研究の目的	1
II 研究の方法	2
研究の手順	2
ステップ I, ステップ II について	4
ステップ I, ステップ II の説明	9
語彙について	17
資料 1 調査した現行日本語教科書一覧(全17種)	32
2 各教科書のはじめのテキスト及び文法説明一覧	34
3 文法事項・文型のデータバンク(サンプル)	54
4 [暫定] 簡約日本語語彙表	60
5 簡約語彙登録カードとKWIC原データ	83
6 語彙の意味分布	92

I. 研究の目的

国際共通語としての日本語を世界により広く進めるためには日本語のむずかしい点を取り払いエッセンスとしての日本語を創り出す必要がある。これを「簡約日本語」と称する。本研究はこの「簡約日本語」を創成し、その教材化を図ることを目的とする。

このような考え方から、学習時間のきわめて少ないことが定まっている人に対して最初の段階からこの「簡約日本語」による学習を開始する。また学習時間の十分な人は、これを出発点として、ステップを重ねていって最終的には日本人の日本語と同じものを目指す。この場合も、「簡約日本語」から出発したものは全過程を「簡約日本語」と称することとする。

具体的には

- ・ 文法及び文型はできるだけ基本的なものだけを取り上げることとし、現行の初級日本語教科書の中から基本的なものを選び出す。
- ・ 語彙は第一次千語、第二次千語ぐらいとする。
そのうちの多義語について、どの語義の使用度が高いかを調査しそれぞれの語の基礎的な意味がどれであるかを決定し登録する。
- ・ 上の結果作成された語彙表及び文法書をもとに、より覚えやすく、より習いやすい日本語教材（原稿）を作成する。

担当者

日本語教育センター第二研究室分室

客員研究員 野元菊雄 研究員 川又瑠璃子 事務補佐員 義本真帆 加持文子
アルバイト 渡辺陽子 中村弘子 川田久美子 福岡理恵子 他 数名

Ⅱ．研究の方法

研究の手順

	手 順	データソース	産出される資料
(1)基本文型の決定	①現行の日本語教科書の中から文型を提出順に取り出し、カード化して分類する。 ②上記に基づき文型を決定する。	『JAPANESE FOR TODAY』 など 全17種類 (資料1)	1.各教科書の文型の提出順を比較する表 2.文型・文例一覧
(2)文法の決定	①上記教科書から文法事項を取り出して、文型とともにデータバンクとして蓄え必要に応じて取り出せるようにする。(資料2・3) ②上記に基づき文法事項を決定する		3.データバンク (ハードディスク) 4.出力データ一覧 (ファイル)
(3)語彙の決定	①暫定的に選出した2,000語*のうち多義語について意味の設定**をし文脈付き用例を採集・分析する。 ②動詞と形容詞について実際の話しことば・書きことばではどの活用形の使用度が高いかを調査する。 ③研究の手順(1)-①、(3)-①、②などから得られたデータを総括し一語一語の登録カード(データバンク)を作成しKWICの原データとともにファイリングをする。 ④多義語の意味を決定する。	新聞KWIC 言語生活KWIC	5.〔暫定〕簡約日本語語彙表 (資料4) 6.簡約日本語登録カード (資料5)
(4)教材作成	予定する10ステップのうちの1・2ステップの教授項目を作成する。		

*暫定2,000語選定のために参考とした文献は、『日本語教育基本語彙七種比較対照表』
 (国立国語研究所、1982)、『分類語彙表』(資料集6、1964)、『基礎日本語』(土井光知、
 1933)を主とし、他各種国語辞典類である。

****多義語についての意味の設定(暫定)**

暫定2,000語の一語一語について、『新明解国語辞典 第3版』

『岩波国語辞典 第4版』『講談社国語辞典 新版』から意味説明部分をカード化した。

これに検討を加えながら、簡約日本語としての意味の刈り込みを行っていく。

暫定2,000語のうちの多義語	822語			
(内訳)	第一次千語	455語	第二次千語	367語

これによって、定めたステップⅡまでの簡約日本語による教材・教授項目を例として示すと、次のとおりである。

ステップⅠ	ステップⅡ
I. 第一課 (～です。～ます。) 1. 名詞文 2. 形容詞文 形容動詞文 3. 動詞文 4. 存在文 5. 助詞 を・に・から・まで・で II. 第二課 (表現意図) 1. 希望の表現 2. 意志の表現 3. 消極的行為要求の表現 4. 積極的行為要求の表現	III. 第三課 (場面) 1. あいさつ 2. 紹介など 3. 買い物など 4. 数 IV. 第四課 (デス・マスのその他の形) 1. デス・マスの活用 2. 他の動詞がつづく形 3. 敬語 4. 名詞

その文型は次のとおり。

ステップⅠ、ステップⅡについて

簡約日本語 ステップⅠ 文型一覧

Ⅰ. 第一課 (～です。～ます。)

		1	2		3	4
		名詞文	形容詞文	形容動詞文	動詞文	存在文
現在	肯定文	Nです N ₁ はN ₂ です	Aいです NはAいです	Naです NはNaです	Vます NはVます	Vます NにVます
	否定文	Nではありません N ₁ はN ₂ ではありません	Aくはありません NはAくはありません	Naではありません NはNaではありません	Vません NはVません	Vません NはVません
過去	肯定文	形容動詞文と同じで できることを形容動詞文の ところで説明する	Aいでした NはAいでした	Naでした NはNaでした	Vました NはVました	Vました NにVました
	否定文		Aくはありません でした NはAくはありません ませんでした	Naではありません でした NはNaではありません ませんでした	Vませんでした した	Vませんでした した
連体修飾用法		N ₁ のN ₂ です	AいNです	NaなNです	辞書形を与えるまで教えない	

5. 助詞

1. を	2. に	3. から	4. まで	5. で
[目的語]をVます	[補語]にVます	NからVます	NまでVます	[手段]でVます(材料を含む)
	[時間]にVます		N ₁ からN ₂ まで Vます	[場所]でVます
	[場所]にVます			[場所]で[目的語]をVます
	[到達点]にVます			[時間]に[場所]で[目的語]を Vます
	[補語]に[目的語]を Vます			

Ⅱ . 第二課 (表現意図)

◇希望の表現

V たいです
V たくはありません
N がほしいです
N がほしくはありません

◇意志の表現

V ます
V ましょう

◇消極的行為要求の表現

V ませんか
V ますようお願いいたします
N をおねがいします

◇積極的行為要求の表現

V なさい (ますよう(おねがいます))
お V ください
N を(わたしに)ください

ステップⅡ

Ⅲ . 第三課 (場面)

Ⅲ-1 あいさつ

- Ⅲ-1-1 こんにちは
こんばんは
さようなら
失礼します
- Ⅲ-1-2 おはよう(ございます)
おやすみ(なさい(ませ))
- Ⅲ-1-3 いってきます
いってまいります
いって(い)らっしゃい
- Ⅲ-1-4 ただいま(かえりました)
おかえり(なさい(ませ))
- Ⅲ-1-5 いただきます
ごちそうさま

Ⅲ-2 紹介 など

- Ⅲ-2-1 はじめまして
はじめまして
- Ⅲ-2-2 A です
- Ⅲ-2-3 よろしく(お願いします)
- Ⅲ-2-4 こちら B さんです
B です。どうぞよろしく(お願いします)

Ⅲ-3 か い も の な ど

- Ⅲ-3-1 Cはどこにありますか
ここ、そこ、あそこ にあります
- Ⅲ-3-2 Cはありますか
あります
ありません
- Ⅲ-3-3 Cをください これ、それ、あれ
- Ⅲ-3-4 CをDください
- Ⅲ-3-5 Cは(お)いくらですか
E 円です
- Ⅲ-3-6 どのくらいかかりますか
E 円くらいかかります
- Ⅲ-3-7 (Fから)(Gまで)どのくらいかかりますか
H 時間くらいかかります
- Ⅲ-3-8 (Fから)(Gまで)いくらですか
E 円です
- Ⅲ-3-9 いまなん時ですか
I 時 ～ 分です

Ⅲ-4

Ⅲ-4-1 D.

	ひとつ	ふたつ	みっつ	よっつ	いつつ	むっつ	ななつ	やっつ	ここのつ	とお
一個	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
こ	いっ	に	さん	よん	ご	ろっ	しち (なな)	はち (はっ)	きゅう	じゅう
一枚	いち			よ (よん)		ろく		はち		じゅう
-グラム				よん						
-センチ	いっ							はっ		じゅう
-メートル	いち							はち		じゅう
-キロ						ろっ		はち (はっ)		じゅう

Ⅲ-4-2 E.

-円	一	二	三	四	五	六	七	八	九
えん	いち	に	さん	よ	ご	ろく	しち (なな)	はち	きゅう

十									
じゅう	×			よん					

百									
ひゃく	×								
			(-びゃく)			ろっ (-びゃく)		はっ (-びゃく)	

千									
せん	(いっ)								
			(-ぜん)						

万									
まん							ろく	はち	

億
おく

Ⅲ-4-3 H.

-時間	一	二	三	四	五	六	七	八	九
じかん	いち	に	さん	よ	ご	ろく	しち (なな)	はち	きゅう (く)

~十~									
じゅう	×			よん					

-分	一	二	三	四	五	六	七	八	九
ふん	いっ (-ぶん)		さん (-ぶん)	よん (-ぶん)	ご	ろっ (-ぶん)		はっ (-ぶん)	きゅう

十分									
じっぷん	×					ろく		はち	

(~)十~分 十分、一分と同じ
じゅう ふん

Ⅲ-4-4 I.

-時	〇	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
じ	れい	いち	に	さん	よ	ご	ろく	しち (なな)	はち	く	じゅう

-分 は Hと同じ

三十分 → 半
はん

午前 午後
ごぜん ごご

IV. 第四課 (デス・マスのその他の形)

1. デス・マスの活用

V マセン (既出) ✕ → A クハアリマセン /
N / N a デハアリマセン (既出)

V マシタラ N / A / N a デシタラ

V マスナラ (N / A / N a デスナラ)

(V マスレバ) N / N a デアレバ → A ケレバ

V マス (既出) N / A / N a デス (既出)

V マス時 (N / A / N a デス時)

V マスノデ / カラ N / A / N a デスノデ / カラ

2. 他の動詞がつづく形

V ハジメマス

V オワリマス

V スギマス

V タリマス

・

・

・

↓

V タマエは教えないでおく

3. 敬語

オ V ニナリマス

イラッシャイマス

4. 名詞

V (転成名詞)

ステップⅠ及びⅡの説明

ステップⅡまでは動詞は活用を教えず、すべてマスをつけて、マスの活用だけを教えることとする。ステップⅢからマスにつづく形以外のものを取り上げる。このようにマスから出発するのは、動詞の活用のいろいろを覚える時間のない場合のことを考えているからであって、別にこの形が現実が多いからではない。このことを「書く」という動詞について、材料とした二つのKWICについて見てみる。

このKWICとは、一つは「言語生活KWIC」(86ページ参照)で、雑誌『言語生活』の創刊から終刊までのすべての「録音器」欄の文脈付き語彙表、他は「新聞KWIC」(89ページ参照)で、昭和41年の1年分の新聞語彙調査でサンプルになった語の文脈付き語彙表である。前者を話しことばの代表として「話」と示し、後者を書きことばの代表として「書」で示す。以下は、各列左が「話」で右が「書」である。延語数は、前者が410,662語、後者は671,697語となっている。

カカセル	2	2	ほかに		
			オカキノウエ		4
ナイ	5	1	オカキ(ン／ニナル)	6	
レル(受身)	6	15			
<hr/>			以上計	6	4
以上計	13	18			
<hr/>					
カキ中止		6	カキイレ	1	1
動詞につづく	17	13	カキオロシ		1
タイ	1		カキクダシ		1
マス	11	1	カキコミ		1
ナサイ	2		カキダシ		1
<hr/>			カキッパナシ		1
以上計	31	20	カキカタ	5	3
			(ヨミ)カキ(ソロバン)	1	
			カキカエ	4	
<u>カキ計</u>	<u>44</u>	<u>38</u>	書留		6
			<hr/>		
			以上計	11	15

カイ	タ	終止	3	3
		～ノ	3	
		～ナ	1	
		～ネ	1	
		～カ	2	
		～カモ～	1	
		～ソウデス	1	
		～ト(～)	4	
		～ガ		2
		～カラ	1	
<hr/>				
以上 計			17	5

カイ	テ	中止	26	8
		～用言	121	18
		～ネ	6	
		～ナ	1	
		～イイ	1	
		～?	1	
		～モ	1	
		テル	9	
		テン	3	
		テが融合したもの		
		タ、タル、タン	6	
		チャ	5	
<hr/>				
以上 計			180	26

カイ	タ	連体		
		～名詞	10	10
		～ノ	2	2
		～ン	6	
		～コト	5	
		～ダケ	2	
		～ホウ	1	
		～トコロ	1	
		～モノ	3	2
		～ワケ	1	
		～ツモリ	1	
		～ウエ		1
<hr/>				
以上 計			32	15

カイ	タ	ラ	6	
		タリ	3	
<hr/>				
以上 計			9	0

カイ 計 238 46

カク	終止	1 1	2
	～ノ	1 4	
	～ナ	1	
	連体(～名詞)	1 5	5
	～ノ	1	1
	～ン	1 6	
	ナラ	1	

以上 計 5 9 8

カケ	命令	5	1
	～バ	2	1
カキヤ		1	

以上 計 8 2

カコ		1	
	～ウ	4	1

以上 計 5 1

カケ	ナイ／ズ	5	2
	マセン	3	
	ル	8	1
	タ	2	

以上 計 1 8 3

カク 計 9 0 1 4

糸谷 言十 3 8 9 1 1 7

ここではカキマス形の形はあまり多くは現れない。範囲をカキの語形全部に広げても、「話」ではカクよりも少ない。しかし、日本語教育の一般的な伝統に従ってマス形を出発点とすることにした。第一課とは離れてこの「書く」の形を見るとカイの形が圧倒的に「話」の世界のものであることがわかる。終助詞「の」のついた形、準体動詞「の／ん」のついた形でこの傾向が強く現れている。カクの形についてもこのことは言える。最後のカケナイなどは可能動詞の関係のものである。

形容詞文では、「Aいです」の形を認めることにする。この形は既に1952年の「これからの敬語」で正式のものとして認知された。また、この形は形容動詞のところと同じになる点でプラスになる。

ここでの問題は動詞ではマスにつづける形(これを仮に連用形Iと名付ける)をとりながら、形容詞では辞書形をとるということである。動詞とそろえて連用形にして、「Aくあります」とするののも一つの考え方であるがここではとらない。

形容詞の現在否定形としてここでは「Aくはありません」としているが、「Aくないです」も考えられる。しかし「Aくないです」ととらないのは、「Nではありません」や「Naではありません」と平行して「Aくはありません」の方が均整的であると考えたからである。名詞

の時に「Nではありません」は、少々変で、「Nではありません」と「は」を入れた方が自然である故に「Aくはありません」「Naではありません」とすべて「は」を入れて統一することにした。

形容詞の過去形は「Aいでした」を採用した。この形は現行の日本語教科書ではごく少数派である。調べた17種のうちではわずか2種に出てるだけである。しかし、多少古いとしてもこの形は間違っていないし、また現実には現れる形である。形容動詞文と同じになることと、動詞文の「Vました」と平行して、デスの形の方が「Aいでした」と均整がとれるから、というのがその理由である。この方が覚えやすいことは疑いないところである。

	動詞 1	動詞 2	形容詞	「連体修飾用法」をまず形容詞文で認めたのは二つのKWICを調査した結果である。動詞の「上がる」「当てる」「会う」の3語と、形容詞の「青い」「赤い」「高い」の3語について、終止形と連体形をまとめたものをそこで辞書形と呼び、その現れ方の語の全体に対する%を出してみた。辞書形のうち連体形を別に出したので、辞書形から連体形を引いたものが終止形となる。なお、「書く」の方も動詞2
辞書形	3 1	1 5	8 3	
「話」				
うち連体形	1 1	8	4 2	
辞書形	2 9	7	6 3	
「書」				
うち連体形	1 4	5	5 4	

として出しておく。3語のものが動詞1である。

動詞の辞書形の現れ方は語によって違うが、形容詞と違う点は、辞書形・連体形の現れ方が「書」も「話」も非常に少ないことである。やはり形容詞は連体修飾語となるのを主な職分の一つとしているからであろう。そこで第一課でも、形容詞に連体形 ― ひいては辞書形を与えることとした。

これと合わせて形容動詞文でも連体形を出すこととし、名詞文では、もっとも簡単なものとして「Nの」の形を与える。

第一課の5では助詞を教える。実はこの5になるまでに既にいくつかの助詞が与えられている。順に「か」「は」「も」「の」「が」「に」である。

このうち「か」は質問文を作る「か」である。この質問に対して「はい」「いいえ」の答え方も同じく課文で与える。

動詞文までは主語はすべて「は」で示すが、存在文になって「が」が導入される。当然「は」と「が」との問題が出てくるが、早いステップでは、むずかしいことは言わず、「が」は話し手と聞き手との間で初めて登場するトピックの時に使う、というに止めておく。

助詞の「に」は存在文のところで、場所を示すのに最初に出てくるが、次の5のところでそ

の他の意味が出てくる。到達点や方向を示すものとしては「に」だけをステップⅠでは教える。似た意味の「へ」は早いステップでは取り上げない。その理由は次の表のように、「へ」の使用度が非常に低いことによる。

	「話」	「書」	さらに「に」に置き換えられることのできる 「へ」は、「話」で916(「へ」全体の98.6%)、 「書」で52(「書」全体の62.9%) に達している。「へ」のうち、どうしても「に」 に置き換えられないものとしては、「～への」 がある。「話」では9(「へ」全体の1.0%)、
に	11,625	17,028	
へ	929	878	

「書」で271(「へ」全体の30.9%)である。「～への」は書きことば的であり、話しことばで出発する早い段階の簡約日本語では「に」だけにするのがいい。

助詞「から」では、意味・用法のうち一部しか第一課では呈示しない。「から」の意味については次のようなものがある。(国立国語研究所報告3「現代語の助詞・助動詞」などによる。)

I. 格助詞

- ① 起点を示す。
- ② 材料を示す。 「酒は米から作る。」
- ③ 相手方を示す。 「先生からほめられた。」
- ④ 原因・理由を示す。 「興奮から泣きだした。」
- ⑤ 経由を示す。 「窓から日がさす。」
- ⑥ ～以上の意、「も」の意味を示す。 「千人からの人がきた。」

II. 接続助詞 原因・理由を示す。

Ⅱは形から次のように分けられる。

- ① 用言・終助詞の終止形につける。(下の②③を除く)
- ② 「から(に)は」の形で。
- ③ 「からに」の形で。 「見るからに丈夫そうだ。」
- ④ 「てから」の形で、それ以後の意味。

これが「話」「書」でどれくらい現れたかを%でみしてみる。

	格 助 詞						接 続 助 詞				計
	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	
「話」	31.70	0.16	1.05	0.93	0.98	1.59	60.17	0.14	0.03	3.25	100.0
「書」	69.49	1.18	2.89	6.76	0.79	2.89	13.50	0.10	0.10	2.30	100.0

この表から分かるように、「話」と「書」とでは全く傾向が逆になっている。「話」では圧倒的に接続助詞としての用法が多いのに対して、「書」は格助詞が多い。このことからするならば、話し言葉からスタートする簡約日本語では接続助詞の方を先に教えるべきだ、ということになるが、他の助詞で習うのは格助詞が多いのでここでは格助詞の「から」を教えることになる。また、接続助詞を使った構文はこのステップでは、複雑になってむずかしすぎるので教えないことにしておく。

なお、起点を示すもので場所と時間とどちらが多いかについては、「話」は場所が、「書」は時間が多いという点まで違っている。

「から」や「まで」のここでの意味では、例えば「どこから来ましたか」に対して、「東京からです」のように、助詞にすぐ「デス」をつけて返事をする事ができる。しかし「何を読んでいますか」に対して「本をです」とはあまり言わない。この助詞では「デス」がすぐつく、この助詞ではつかない、などと一々覚えるのは初歩のステップとしてはよくないと考えるので、ここでは「どこまで行きますか」に対しては「東京まで行きます」のように略さずにすべて答えるということにしておく。

このようにしたのは実際の話しことばではどうなっているかについて調べた結果による。

言語生活K W I Cを使って、「どこ」「だれ」などの疑問詞は、これらの助詞をつけた疑問文に対して、何と答えているかを調べた。これらのK W I Cは文脈が短くていろいろはっきりしない点があるので、原文に当たらなければならない場合も多い。結果は次表のようである。

	いつ	いつか	いつごろ	いつごろか	だれ	だれか	どこ	どこか	どちら	どちらか	どなた	どなたか	なに	なにか	なん	なんか	計
の	×	●	×	×	●	●	●	×	●	●	×	●	○	●	●	●	100
が	○	×	×	×	●	●	●	×	●	●	×	×	●	●	×	●	118
に	○	×	×	×	●	●	●	●	●	●	×	×	●	●	●	●	88
を	×	×	×	×	●	×	×	×	×	●	×	×	●	●	●	●	79
から	○	×	○	×	○	×	●	×	●	×	×	×	●	×	●	×	29
まで	●	×	○	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	32
で	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	●	●	●	34
へ	×	×	×	×	×	×	●	●	○	×	×	×	×	×	×	●	51
とて	×	×	○	×	●	×	●	×	●	●	●	×	×	●	●	●	83
															●		101
計	28	1	6	0	54	6	155	7	24	6	3	1	136	22	224	42	715

表では縦軸横軸の結びつきがないものは×で示す。また結びついていても、これらの中には疑問文になっていないものもある。これは「だれかが盗んだ」のようなものである。これらも調べて、疑問文が全くないものを●で、疑問文だけの例であったものを◎で、両方あったものを○で示してある。表に見るように、合計は715であり、そのうち272、すなわち38.0%しか疑問文はない。

この272の質問に対して、相手がともに答えないのは85例で、質問に対して31.3%になる。世の話しことばでは、質問に答えるのは7割ほどなのであろうか。

なお、ステップIで与えないもののうち「へ」「と」についても調べた。「と」は、「だれ」と結びつくと、共に行動する人についてであり、「なん」に結びつくと引用となる、というように、意味が違うものもすべて一括してある。この点は他の動詞についても同様で、意味はどうかで、語形が同じならば一括してある。

「なんと」と同じ意味で「なんて」の形も多いので、「なん」についてだけ「て」についても調べた。

答にも問と同じ助詞の現れたものの答に対する比率を%で示すと次のようになる。「の」20.0、「が」26.8、「に」11.5、「を」12.5、「から」27.3、「まで」83.3、「で」14.3、「へ」0.0、「と」45.5、「て」15.0、総計では23.1。

なお、問が「に」で答が「へ」が一つ、逆に問が「へ」で答が「に」は二つ、「どこ」についてあったが、「に」と「へ」とは同じ助詞とはしていない。

言語生活KWICでは、答が問と同じ助詞を使ったもののうち、この助詞で文を切ったもの、あるいは「です」だけをつけたものは合計で43のうち18あった。41.9%に当たる。この率の高かった助詞は予想どおり「まで」「から」で、次に「を」「が」「と」であった。このうち「と」は「～と行く」のような意味のときは80.0%だが、引用の「と」の場合は0.07%であった。

ついでに言うと、疑問副詞の多かったものについて、質問用法の方が非質問用法より多かったのは「いつ」「どこ」「なに」「なにか」「なん」「なんか」であった。

以上の助詞を与えるが、その意味をすべて教えるわけではない。KWICによる検討などで、その意味の一部は後で教えることにした。これらは、「に」で並列・添加、「で」で限定、原因・理由、「から」で材料、理由などである。

第二課では、外国人としては、何かを求める気持ちを表したいことが多いのではないかと考えて、これを、希望の表現、意志の表現、消極的行為要求の表現、積極的行為要求の表現の、四つの表現意図による文型として、教えることとした。

ここでは当然、第一課で使った文型しか使えない、という制約がある。そこで、上述のようなものとなる。例えば積極的行為要求の表現形式としては、いわゆる命令形はない。

「Vなさい」には、「Vなさいよう」や「Vなさいようおねがいします」などがあ

って、これは長くなるほど丁寧であることは余裕があれば教えることになる。

ステップⅡの第三課は、少し文型の系列から離れて日常のあいさつや、買い物の時のことば、これに付随して数字の示し方が入る。「さよ(う)なら」「いって(い) らっしゃい」はカッコの中は略しても言うことをここでは示しているが、このようなものはどちらか一方とすれば、カッコの中を入れた形というのが簡約日本語的な考え方である。

「おやすみ(なさい(ませ))」は前の「Vなさい(ますよう(おねがいします))」と同じことを表す。

Ⅲ-3のC(6ページ参照)のところで、いわゆるコソアの体系を与える。

D, E, H, Iは答えの部分に数字が入るもので、第三課の最後にこの使い方をD~Iとして示しておく。ここでも簡約日本語についての考え方の基本が関わることがある。

ここでは日本人の日本語として正しいと思われるものが表示してある。数字の読み方については場合によって違っているので、それが全部わかるように示した。カッコの中はこうも読むというものである。上と同じときは省略してある。カッコの中でも「百」や「千」のところはその「百」や「千」などを何と読むかを示してある。Hの何時間か、というのとIの何時か、というのでは、ほとんど同じであるが、何時かへの答の方は「九」について「く時」となり、時間の方の「く／きゅう時間」となっていて違う。この点だけ違うので「分」のときのようにHと同じとはならない。

早いステップとしてはこのⅢの数字の表は少々むずかしすぎる、と考えられよう。簡約日本語としては、いち、に、さん、・・・の系列と、ひとつ、ふたつ、みっつ、・・・の系列だけを基本的なものとし、その下の助数詞が何であれ、この基本的な数で行く、という考え方もあろう。甚だしい場合は、いち、に、さん、・・・だけ数えてすますことも可能である。この極端な場合から、ここに表示した場合までの間に、考えるステップは多々あるが、それぞれの教師が、何時間で終えるコースであるか、割くことのできる時間はどのくらいなのか、などということを材料に自らどこまで教えるのかを決めるべきなのだ、と思う。

この表はいわば日本人の日本語の読み方なので、簡約日本語であれ何であれ、外国語としての日本語教育で到達すべき最終目標を示していることになる。簡約日本語的に考えるならば、より基本度の高いものであり、大きな数まで一つのシステムでいける漢数字系列を教えるのがよい。このために例えば「しじゅうし円」などということになっても分かるので認めてもよいのではないかと考えている。

助数詞については、円などととともに度量衡のもののほか、個と枚だけにした。このところは日本人の日本語より少し少ないこととなる。この点で言えば今の若い人の「年齢が二個上だ」などというのは簡約日本語的と言えよう。

第四課では、1. デス・マスについての総まとめと残された問題とを取り上げる。これは簡

約日本語的な考え方で、一つの形に関するものは、なるべくひとまとめに教えてしまうのが能率的と考えるからである。

まず、デス・マスの活用形をまとめて出す。カッコの中に示したものは、自然さの程度が大分低くなるものである。Vで言えば「ますなら」「ます時」「ますので」などをあまり言わない、と言う人もいるが、実際の言語生活では丁寧な表現の時によく現れる。

2. の「他の動詞がつづく形」はすべてマスにつづく連用形 I からのものである。「Vたまえ」の形はやや古いし、また命令形なので教えなくてもいいであろう。命令的表現は既に第二課の積極的行為要求の表現として提示ずみとなっている。

4. の「名詞」は、Vの連用形 I がいわゆる転成名詞となるものを示しているが、すべての動詞が名詞になるわけではない。そこで、一つ一つこれはなる、これはならないと覚えるのは早いステップでは面倒であるから、この4は必要かどうかを考えなければならない。

語彙について

語彙については、早いステップの段階では最初に第一次の千語、次の第二次の千語、合計二千語をまず選定する。この二千語は、Basic English の850語、VOA放送Special English の1,400語より多い。この二千語という数を決めたときは、日本語の語彙は基本度が大きくないとされていることが頭の中にあったようである。しかし、言語ごとにその語彙の基本度を比較することは非常にむずかしい。日本語では語彙調査で助詞・助動詞が省かれる。例えば、「の」のようなものは省かれるが、これに当たる英語の of やスペイン語の de はそれぞれの言語の語彙調査では数に入っている。このような度数の多いものが省かれるので、日本語の語彙の基本度が低められることになる。

簡約日本語では、この二千語は絶対守らなければならないとは考えない。簡約日本語が初めて世に出たとき、例として多少無理をして第一次の千語だけを使った例を出したために、誤解を招いたところがあった。しかし、課文によって自然な語彙は第一次、第二次にこだわりなく必要なものは出すことにしてはどうか、と今は考える。二千語以外のものでも覚えられれば大いに結構だからである。ただし、覚える義務はない語としてもよからう。

ところで、語数を制限しても、多義語をそのままにしていたのではむずかしさは残る。そこで簡約日本語では1語について最大3義ということに制限して、最初の二千語については決めてしまうことを考えている。高いステップになったら、意味をすべて知っているのが望ましいことになる。また学習者の専門によっては専門語を二千語以外に授けた方がいい場合があるろう。状況によっては、優先度は少なくとも第二次の千語よりは高い場合もありうる。

この二千語は以下に述べるいろいろの作業を経て最終的に決まるものであるので、今は暫定ということになる。その暫定の二千語について、これまた暫定の意味を与えた結果、2義以上

の多義語とされているものが、第一次の千語では455語、第二次の千語で、367語となっている。合計822語である。

アメリカの Caterpillar という会社が、自分のカタログやマニュアルを全世界の人に分かりやすく設定した850語について、1語1義ということを標榜している。しかし、それがどのくらい守られているかについてはよく分からない。簡約日本語の場合、1語3義を目標としたが、4義以上となった例外もないことはない。特に助詞・助動詞については、3義の中に収まらないものが出ている。

簡約日本語で教える二千語について多義語ではどの語義の使用頻度が高いかを二つのK W I Cで調べ、これを参考として、最終的な語義を決定することにして、現在第一次千語について作業中である。もちろん頻度だけで決定するものではなく、基本的な語義、中心的な語義をも考えなければならない。

以下に語彙の意味分布について、一部分ではあるが結果を示す。このような語彙論は今まであまり聞かないが、必要なものではないかと考えるので、この機会に例示することにした。ここでは意味の分布のほか、「書」ではどのような表記をとっているかをも示す。また、活用語については、活用形をも示しておくが、この活用形は非常に恣意的なものである。

数字は、小数点以下1位のものが%で、合計のところだけは、それぞれの資料に現れた実数である。また、活用形の分布の大部分については実数で示す。これは小数点のない数字である。

「あかるい（明るい）」

意味としては、①ひかりが十分な状態だ、②ほがらかだ、②-2不正や後ろぐらいところがない、③よく知っている、がある。なお、その他として「希望」がある。これは「前途が～」 「見通しが～」などとあるが、広く言うと②に入れることもできよう。

一番基本的な意味と見られる①は、「書」で少なく、「書」には派生的な意味が多い。

「経済に明るい」などの③の意味は資料には現れなかった。これをこれからも認めていくかどうかが問題点であろう。

	「話」	「書」 明るい		「話」	「書」 明るい
①	47.1	4.2	アカル カッ		2.1
②	52.9	75.0	ク	35.3	35.4
②-2		4.2	イ（終止）	5.9	4.2
③			（連体）	58.8	58.3
希望		16.7			
合計	17	42		17	42

活用では「話」と「書」とはよく一致している。

「あたま（頭）」

あらかじめ設定した意味は、①首から上、②頭脳の働き、③頭髮、であったが、実際にやってみると「その他」が出てきた。

	「話」	「書」 頭
①	39.7	74.4
②	36.9	20.5
③	9.9	5.1
その他 1 はじめ	3.6	
2 先頭・一番	9.9	
合 計	111	39

ここでは集計していないものに慣用句がある。「話」が19例で「書」が17例であった。

その内訳は「話」は「頭が痛い」3、「頭をかかえる」1、「頭が重い」1、「頭にくる」14で、「書」は「頭がいたい」1、「頭をかかえる」3、「頭を痛める」5、「頭をかく」2、「頭を下げる」4、「頭を悩ます」1、「頭をひねる」1、である。これで見ると「頭にくる」はいちじるしく話しことば的といえる。助詞「を」を伴って慣用句となるのは書きことば的と言えるかどうかはこれだけからは分らない。意味としては①や②と分けることができるものもある。複合語としては「書」に「坊主頭」1がある。これは意味は③であろう。「書」で特に新聞的なものは上には述べなかったが、広告欄にある「頭金」の略としての「頭」であって174を数えた。新聞を読むために必要なもので、意味は「その他」であろうか。

「うき（浮き）」（浮く）

簡約日本語では、動詞は最初のステップではマスにつづく形いわゆる連用形 I で登録される。「浮く」は「浮き」である。

意味は、①底や下の方から表面に出てくる、②安定しない、である。

「書」では表記に「浮き」「うき」の二つがあった。

あまり例が多くないので結論を出すのは早い、②をあえて入れるかどうかが問題点である。

	「話」	「書」		計
		浮き	うき	
①	100.0	71.4	100.0	75.0
②		28.6		25.1
合 計	11	7	1	8

なお、「歯の浮くような」は②として上の表に入れてある。ウキボリが「書」に10出ている。表記は、浮彫7、浮き彫り1、うきぼり2であった。

「浮かび」「浮かべ」が別語としてあるが、二千語の中には入っていない。

	「話」	「書」		計
		浮き	うき	
ウキ	1	4	1	5
ウイ テ	4	1		1
タ		1		1
タリ	1			
ウク（連体）	5	1		1
合 計	11	7	1	8

「うごき（動き）」（動く）

意味は、①移る、②変わる、③活動する、に3大別する。細かく分ければいろいろになるにしても、多くはこの三つのバリエーションと考えられる。その他に「感動する」の意味があるが、この資料には出てこなかった。

	「話」	「書」		計
		動き	うごき	
①	67.2	11.7	100.0	12.3
②	13.4	40.9		40.6
③	19.4	47.4		47.1
	67	154	1	155

「話」と「書」との間に意味の分布上大きな差があることは明かである。ここでは「話」に基本的意味①が多い。

活用などの形は簡単に示すと次のようになる。

	「話」	「書」
動カ ナイなど	10	4
動キ	6	9
動イ テ	5	13
タ	3	1
動ク	20	11
動コ ウ		1
動ケ バ	1	
動ケル	1	1
合 計	46	40

この表の合計欄が意味の表と違うのは、この活用のところでは「動かす」などの別動詞が省いてあり、また「動き」という名詞形が省いてあるからである。その名詞形は「話」で6例、「書」で102例であった。名詞形は非常に「書」的であるとも言える。なお「動ける」も省くべきだった、とも考えられる。

「うそ（嘘言）」

意味としては、①いつわり、①－2 うそみたいな／に、②正しくないこと、③うそ！（ほんと！）、とした。

	「話」	「書」		計
		嘘	うそ	
①	71.9	100.0	33.3	50.0
①－2	7.0		33.3	25.0
②	17.6		33.3	25.0
③	3.5			
合 計	57	1	3	4

これは「話」的な語彙と言っている。①の意味は「本当でないこと」「事実を曲げてこしら

えたこと」などのことで、②は「誤り」「間違い」のことである。前に③として、「望ましくないこと」「すべきでないこと」を立てたが、事例がないので、新しい③として上記のものを設けた。この新しい③は「話」だけである。①－２は「現実にはあり得ない」というような意味で、「話」的な方法であるが、①の中に含めてよからう。

「うち（内）」

最初３義として、①なか、②一定の制度内、③自宅、を考えたが、実際の作業に当たっている人の意見によって、②、③をそれぞれ二つに分け、最終的な３義はこの作業後ということにした。

ここでは、①空間的に設定されたある範囲の内部、内側、②－１具体的な事柄についてある範囲を限定し、その内で物の考えられるべきことを表す語、②－２時間的に設定されたある範囲の内部、あいだ、③－１自分の属している、会社・役所・学校などの団体や機関、自分の家庭、我が家、③－２自分以外の一般的家庭、人が住むための建物、とした。これは「大辞林」（三省堂）の意味記述を参考として立てたものである。この「大辞林」では12の意味を記述している。この中で第8までの意味のうち⑤を除いてはすべて上の五つに入れることができる。これに入れることのできないものとして、⑤心の中、内心、⑨内裏、宮中、⑩天皇、⑪妻、夫、⑫仏教以外の教えを「そと」「ほか」というのに対する「うち」、があるが、簡約日本語としては無視していい。奥さんが、夫の姓（名）のあとに署名的に書く「内」は⑩の意味であろう。これも簡約日本語の早いステップで教える必要はない。

なお、代名詞としての「うち」はここでは扱わない。

以上によって資料の意味分布をみると次のようになる。

	「話」	「書」		計
		うち	内	
①		0.5		0.5
②－１	3.8	65.9	100.0	66.3
②－２	12.2	25.2		24.9
③－１	58.9	8.4		8.3
③－２	25.1			
合 計	606	202	3	205

結果によると、この語の基本的な意味と考えられる①の意味はほとんど使われていない。もっとも、使用率だけによるのではなく、基本的な意味は、いろいろな意味をそれから類推する

基礎として教えるべきだ、という考え方もある。

もし、①の意味を落とすとすると、次の問題は3義をどれにすべきか、である。②が書きことば的、③が話しことば的、ということははっきりしている。三つ目として②-2を残すか③-2を残すかの決定をしないと収まりがつかない。②-2は話しことばもあるのに対して、③-2は書きことばが0であるから、③-2をカットすべきではなかろうか。③の意味としては第一の千語に別に「いえ」があるので、最初の方のステップでは、この語の③の意味は与えなくてもいいであろう。

なお、この語に関しては「書」の資料に「家」という表記は一度も出なかった。当時は新聞に音訓表のことも気にしており、「うち」という訓の認められていなかった「家」という字を使わなかったものだろう。

「うち（打ち）」（打つ）

意味は、①物を他に強く当てる、②打ちつける、③ある動作・仕事をする、の3義とした。③は「岩波国語辞典」では「ある効果をねらって、ある事をする」となっている。ここでは、-1囲碁・将棋、-2注射・鍼、-3電報・タイプライター、に分けた。なお、銃砲の類の「撃ち」は別語として第二の千語に入っている。

「話」の「その他」は「札所を～」 「内金を～」 1例ずつでともに③に入れてもいいものである。「書」の「その他」は、ピリオドなどの文章に使う符号についてが3例、心情について1例、「ナワを～」1例。

①、②、③はすべて「話」も「書」もほとんど同じ分布と言っていいが、③のそれぞれの分布は違う。-2は「話」的である。電報は書きことばでは「打電する」などとなる場合がある。

「その他」は慣用句的であり、③もこの点では通じるが、「書」では以上の他に「手を～」4例、「相づちを～」 「ばくちを～」 「打って一丸となり」 「うってかわる」 各1例であった。この中には①や③に入れてもいいものもある。

	「話」	「書」		計
		打つ	うつ	
①	52.2	54.6		52.2
②	6.0	1.5		1.5
③-1	17.9	33.3		31.9
③-2	10.4	1.5	66.7	4.3
③-3	10.4	3.0		2.9
その他	3.0	6.1	33.3	7.2
	67	66	3	69

②は「釘を～」などを想定して立てたが、案外使われていない。①から容易に想像がつくと思われるから、この意味は簡約日本語の語彙から削ってもいいと思われる。

①の意味はほとんどがスポーツ関係である。「話」ではすべてがそうで、35例中、野球27例、バレーボール4例、ボクシング4例であった。「書」は36例中33例がスポーツ関係で、すべてが野球であった。スポーツ関係でない3例は怪我で「頭を強く打った」などである。

	「話」	「書」
ウタ (未然)	4	13
ウチ	21	4
ウツ タ	4	9
テ	18	24
タラ	1	
タリ	1	
ウツ (終止)	6	11
(連体)	7	5
ウテ バ	1	
ウテ (命令)	2	
ウテル (可能)	2	3
合 計	67	69

～テの形が多いことはここにも現れている。「話」に「ウチ」が多いのは「ウチマス」が20例あるからである。その他の1例は「オウチニナル」であった。

「うまれ(生まれ)」(生まれる)

自動詞で、意味①出生する、②生じる。

慣用表現と考えた「持って生まれた」はここでは算入していないが、これを①に入れると「書」は①51.0%、②49.0%となる。どちらにしても、より派生的に考えられる②の方が「書」的である。

	「話」	「書」		計
		生まれる	生れる	
①	87.8	40.7	50.0	45.8
②	12.2	59.3	50.0	54.2
合 計	49	27	32	59

なお他に「(地名)生まれ」や「～年生まれ」などで、ここでは名詞として扱い、上の表に含まれていないものが「話」で19例、「書」で「生まれ」14例、「生れ」13例、「うまれ」1例があった。簡単な活用形の分布は次のようになっている。

	「話」	「書」
ウマレ (未然)	2	3
ウマレ タ	18	28
テ	20	7
マス	2	3
V	5	4
中止		6
ウマレル (終止)	1	4
(連体)	1	4
合 計	49	59

～テが「話」的、～タが「書」的である。

「うみ(生み)」(生む)

「うまれ」に対応する他動詞。①出産する、②新しく生じさせる。

	「話」	生む	産む	計
①	100.0	9.1	100.0	13.0
②		90.9		87.0
合計	2	22	1	23

	「話」	生む	産む	計
ウマ		1		1
ウミ	1	1		1
ウン デ		2		2
ダ		13		13
ウム (終止)		2		2
(連体)	1	3		3
ウメ			1	1
	2	22	1	23

「うまれ」と同じ傾向で「書」は派生的である。「うまれ」に比べて「話」の少なさが目立つ。

「か(課)」

①事務の区分、②教科書などの区切り、の二つの意味とした。

	「話」	「書」 課
①	91.7	100.0
②	8.3	
合 計	12	212

「書」的な語である。単独の「課」は「話」の①に1例だけで、あとはすべて「～課」である。②は少ないけれども学習用語としては残すべきであろう。

「かお（顔）」

意味は、①頭部の前面、②顔つき・表情、③名誉・体面、と最初はしたが、「象徴」の意味も分けて出してみた。なお、慣用的なものもここでは中に含めて出した。

	「話」	「書」 顔
①	54.5	30.6
②	43.1	55.9
③	0.8	0.9
象徴		1.8
慣用的用法	1.6	10.8
合 計	123	111

慣用のところは、「話」では「顔をつくる（化粧）」「顔を出す」各1例、「書」では「顔を合わせる」「顔をつき合わせる」各1例、「顔をそろえる」3例、「顔を見せる」2例、「顔見知り」1例、「顔を出す」3例、「顔がきく」1例であった。

③の意味や「象徴」は簡約日本語としては取り上げなくてもいいであろう。

「こい（濃い）」

意味としては、①色や味の程度が強い、②密度が高い、の二つを考えていたが、「書」の方にその他のものが多く出てきた。これは③として、可能性が高い、の意味を立てるべきかもしれない。「疑いが～」「優勝の色が～」などがこれだが、なお「反米色が～」などは物事のある様子が強く現れている、の意味だ。特に書き言葉的であると言える。これらは①、②から類推ができるとも考えられるが、この①と②も一つにまとめて、これは多義語としないという考え方もある。今後考察すべき問題である。

	「話」	「書」		計
		濃い	こい	
①	77.8	18.8		17.6
②	22.2	37.5		35.3
その他		43.7	100.0	47.1
合 計	9	16	1	17

活用形は次のとおり。

	「話」	「書」
濃く		6
濃い（終止）	3	2
（連体）	6	9
合 計	9	17

「話」のうち連体の中に入れたものの一つは「グレーヤ、ワリトコイテイイミテヤネ」というところに現れたもので、「濃くていい」の意味である。終止のうち2例はデスに続いている。「濃く」という形は書きことば的と言えるかもしれない。

「かず（数）」

意味は、①すう、②量が多いこと、③価値あるもの、を考えた。他に慣用句を含めて数えた。

慣用句的用法は「話」で「数多く」2例であり、「書」で「数多く」8例であるが、これらは結局①となるものであろう。

③は出てこなかったのでカットしてよからう。②も「話」で「数がねえからな」1例、「書」で「数に限りがあります」2例であるが、純粹の②であるか疑問であり、結局は①に帰することができよう。このことからすれば、この語は多義語としないでもいいと考えられる。

	「話」	「書」 数
①	78.3	75.5
②	4.3	3.8
③		
慣用的用法	17.4	20.7
合 計	23	53

「かぞえ（数え）」（数える）

意味は、①勘定する、②列挙する、の意味である。実際にやってみて「その他」として「結果としてその数になる」の意味を加えた。「人口200万を数える大きな町」などがその用例である。

	「話」	「書」		計
		数える	かぞえる	
①	93.9	76.9	100.0	78.6
②		7.7		7.1
その他	6.1	15.4		14.3
合 計	33	13	1	14

「数え（年）」は①として入れた。その他名詞もここに入れた。「かぞえる」の1例は「かぞえうた」であるが、これは②の意味と考えることもできる。

活用は次のとおりである。Vは次に動詞がくるもの、Nは同じく名詞がくるものであるが「カタ」を除く。

	「話」	「書」		計
		数える	かぞえる	
カゾエ ラレル	1	1		1
中止		1		1
マス	1			
V		1		1
N	13	5	1	6
カタ	3			
テ	11	3		3
タ	2	1		1
カゾエル（終止）	1	1		1
（連体）	1			
合 計	33	13	1	14

「ええ」（感動詞）

意味は、①応答・承諾・疑い・驚きを表す、②言うのをためらったり、次のことばがすぐ出ないときに発する声、の二つである。

	「話」	「書」 ええ
①	44.4	100.0
②	55.6	
合 計	2266	1

これは圧倒的に「話」の語である。

①、②はコンテキストでは判定困難な場合がある。イントネーションなどがないと確定できない点はあるが、一応分けた結果が前ページの表である。

「えらい（偉い）」

意味①すぐれている、②身分・地位が高い、③程度がひどい・はなはだしい。

	「話」	「書」 えらい		「話」	「書」
①	60.8	33.3	エラカッ	1	
②	19.6	16.7	エラク	3	
③	19.6	50.0	エライ（終止）	19	1
			（連体）	23	4
合 計	46	6	エラ ソウ		1
			合 計	46	6

①と③とでは「話」と「書」の意味分布が逆になっているが、特に「書」の事例が全体として少ないのではっきりは分らない。

③の意味は俗語的・方言的な感じである。割り合いは「書」に多いが問題点は事例の少ないことである。

「書」の表記では「偉い」がないがこれもはっきりは言えないであろう。当用漢字時代も「偉い」の訓読みは認められていた。

「かぎ（鍵）」

①錠の穴に差し入れて開ける金属製の道具、②物事の重点。「その他」で「記号」の意味もあった。

	「話」	「書」 鍵
①	95.7	
②		100.0
記号	4.3	
合 計	23	2

「かるい（軽い）」

意味は、①重量が少ない、②ほんの少し、それほどでない、簡単に、ちょっと、など。

	「話」	「書」		
		軽い	かるい	計
①	11.8	25.0		24.3
②	88.2	71.9	100.0	72.7
その他		31.1		3.0
合 計	34	32	1	33

「その他」は「これでいいのか軽いいのち」の文脈であった。「価値のない」などの意味であろうが、特に認めなくてもいいであろう。 活用は次のとおり。

		「話」	「書」		
			軽い	かるい	計
カルク	中止	12	7		7
	テ		2		2
	V	15	12	1	13
カルイ	(連体)	6	11		11
カルケレ	バ	1			
合 計		34	32	1	33

「かんけい（関係）」

意味は、①物事の間のつながり、間柄、②それに直接強くかかわること、そのかわり、

「その他」は「人妻と～を持つ」などの特別なつながり、である。

	「話」	「書」 関係
①	89.5	83.7
②	6.0	12.8
その他	4.5	3.5
合 計	67	86

以上のものは独立して使われているものであり、他に複合語の要素として使われているものがある。数は「話」で27例、「書」251例である。この複合のものを合計した数に対して、複合語で使われているものの率は「話」28.7%、「書」74.5%である。これから見ても複合語は「書」的である。

この複合語のタイプは、「関係」を「～」で示すと、「話」では～ーが3種3例、～～が19種24例。「書」の方は～ーが38種78例、～～が104種144例、～～ーが28種29例である。「書」合計で170種251例となる。一番多いのは～ーの「関係者」26例であり、～～ーの「市場関係者」のタイプのものが16種17例であった。

以上のほか、30語についての分析結果を92ページ資料6に「語彙の意味分布」として載せることにする。

資料 1 日本語教科書一覧（17種）

1. 吉田弥寿夫, 寺村秀夫ほか編著（初版1973・使用本版1987）
『JAPANESE FOR TODAY（あたらしい日本語）』
学習研究社
2. 吉田弥寿夫, 倉谷直臣, 奥西俊介編著（1976・1989）
『JAPANESE FOR BEGINNERS（日本語入門）』
学習研究社
3. Sony Language Laboratory編（1985・1987）
『Core Japanese I』
Sony Language Laboratory
4. ELEANOR HARZ JORDEN 著（1962-3・1988）
Yale University 編
『BEGINNING JAPANESE Part 1』
チャールズ・イー・タトル出版
5. 文化庁文化部国語課編（1983・1987）
『中国からの帰国者のための生活日本語 I』
文化庁
6. 海外技術者研修協会編
『日本語の基礎 I <漢字・仮名まじり編>』（1972・1988）
『日本語の基礎 I <文法解説書英語版>』（1975・1991）
スリーエーコーポレーション
7. 国際協力サービスセンター編
『技術研修のための日本語 1』（1985・1989）
『Grammatical Notes 技術研修のための日本語』（1985・1990）
国際協力事業団
8. 日産自動車（株）海外部編（1984・1984）
『BUSINESS JAPANESE』
凡人社

9. 国際日本語普及協会編 (1985・1987)
『JAPANESE FOR BUSY PEOPLE』
講談社インターナショナル
10. 富田隆行著 (1981・1988)
亜細亜大学留学生別科編
『現代日本語』
亜細亜大学
11. 大阪外国語大学留学生別科日本語研究室編 (1967・1967)
『BASIC JAPANESE : INTENSIVE COURSE FOR SPEAKING AND READING Vol. 1 』
三友社
12. 水谷修ほか著 (1983・1989)
名古屋大学総合言語センター日本語科編
『A COURSE IN MODERN JAPANESE Vol. 1 』
名古屋大学出版会
13. 小出詞子ほか著 (1963・1963)
国際基督教大学日本語科日本語研究室編
『Modern Japanese for University Students Part I 』
国際基督教大学
14. John Young, Kimiko Nakajima著 (1967・1974)
『Learn Japanese:NEW COLLEGE TEXT Vol. 1 』
University of Hawaii Press
15. Anthony Alfonso, Kazuaki Niimi著 (1968・1968)
Sophia University L.L.Center of Applied Linguistics編
『Japanese; A Basic Course』
Jesuit Center of Applied Linguistics (上智大学)
16. Anthony Alfonso著 (1974・1974)
Sophia University L.L.Center of Applied Linguistics編
『Japanese Language Patterns Vol. 1 』
Jesuit Center of Applied Linguistics (上智大学)
17. 水谷修, 水谷信子共著 (1977・1991)
『An Introduction to Modern Japanese』
ジャパントイズ出版部

資料 2 各教科書の初めのテキスト 及び文法説明一覧

Japanese A Basic Course

テキスト： なにを かいますか

キー： K1:Notice the particle を EK1:It must be used after the words which are the object of the verb. を does not have the lexical meaning, it simply has the function of pointing out the object.
K2:Notice the particle か EK2:It makes the statement into a question. ... K3:Notice the tenses EK3:... -ます: it has two possible meanings : (a)What one GENERALLY or HABITUALLY does. (b)What one WILL do, or IS GOING TO do. ...

説明カテゴリー： 15-4(7a) N7+V CF:13-4

書名： 『Japanese A Basic Course』

著者・編者名： Anthony Alfonso, Kazuaki Niimi

出版年： 1968 対象者： 成人(インテリ)・高校生

備考： (1)ヘボン式ローマ字表記(ただし長音は母音を重ねて示す)

(2)約1000語 (4)20課

テキスト： ほんを かいます

キー： K1:Notice the particle を EK1:It must be used after the words which are the object of the verb. を does not have the lexical meaning, it simply has the function of pointing out the object.
K3:notice the tenses EK3:→001 K4:Notice the Japanese noun EK4:It does not have a singular or a plural form. ... It does not have a determiner like 'the' or 'a/an' Generally , the context will make it sufficiently clear which meaning is the intended one.

説明カテゴリー： 15-4(7a) N7+V CF:12-4

【出典は上に同じ】

テキスト： なにを かいましたか

キー： K1:Notice the particle を EK1:It must be used after the words which are the object of the verb. を does not have the lexical meaning, it simply has the function of pointing out the object.
K2:Notice the particle か EK2:It makes the statement into a question. ... K3:Notice the tenses EK3:... -ました: it has two possible meanings : (a)What one DID in the past. (b)What one HAS DONE.

説明カテゴリー： 15-4(7a) N7+V CF:21-5 NA ... V-マシタ

【出典は上に同じ】

テキスト：ほんを かいました

キー： K1:Notice the particle を EK1:It must be used after the words which are the object of the verb. を does not have the lexical meaning, it simply has the function of pointing out the object.
K3:Notice the tenses EK3:... -ました:it has two possible meanings :(a)What one DID in the past. (b)What one HAS DONE.
K4:Notice the Japanese noun EK4:→002 K4

説明カテゴリー： 15-4(7a) N7+V CF:21-5 N/A ...V-マシタ

【出典は上に同じ】

BEGINNING JAPANESE

テキスト： スミス：ちょっと まって ください。(わかりません。)
(たなか：わかりませんか。)

キー： K1:ちょっと T1:a bit or a little
K2:まってください T2:please wait
K3:ちょっとまってください T3:Just a minute!

説明カテゴリー： 38.2-9 ...V-テカダサイ/A1:Getting Around

書名： BEGINNING JAPANESE PART1
著者・編者名： ELEANOR HARZ JORDEN
出版年： 1988 対象者： 初学者
備考： (1)ローマ字表記 (2)約1200 (4)I 20, II 15 (5)...requires many hours of class work supplemented by outside study...

テキスト： スミス：(ちょっと まって ください。) わかりません。
(たなか：わかりませんか。)

キー： T:I don't understand. K1:Verbals EK1:In Japanese there are words which are constant... and those which are inflected... among the inflected words is a large group having forms similar to the four listed above (in addition to other forms). All such words are hereafter called VERBALS.

説明カテゴリー： CF:14-4 N/A...V-マセヨ/A:Getting Around

【出典は上に同じ】

テキスト： たなか：わかりませんか。
(スミス：ええ。もういちどいってください。)

キー： K1:Question Particle か EK1:A Japanese sentence ending with the question particle か is a question. Any statement can be made into a question by adding か, provided the meaning makes sense. EK1:Questions with か end in rising intonation...or in low intonation.
T: You don't understand?

説明カテゴリー： CF1:13-4 N/A...V-マスカ, CF2:14-4 N/A...V-マセヨ/A1:Getting Around

【出典は上に同じ】

テキスト： (たなか：わかりませんか。)
 スミス：ええ。(もういちどいってください。)

キー： T:No(i.e.that's right).
 K1:Answers to Yes-or-No Questions
 EK1:Throughout this note, whatever is said about はい applies
 equally to ええ.

説明カテゴリー： A1:Getting Around

【出典は上に同じ】

テキスト： (たなか：わかりませんか。)
 スミス：(ええ。)もういちどいってください。

キー： K1:いちど EK1:one time
 K2:もういちど EK1:one time more
 K3:いってください EK3:please say
 K4:もういちどいってください EK4:Please say [it] once more

説明カテゴリー： 38.2-9 ...Vテタ'サI/A1:Getting Around

【出典は上に同じ】

BASIC JAPANESE

テキスト： N1 は N2 です。

キー： K1:N1 EK1:N1 is the subject, or the topic, of a sentence.
 EK1:N1は can be omitted when it is understood by the speaker
 and the hearer.
 CF1:Demonstrative CF2:Copula です
 CF3:Particle {{は、も}(Post-nominal) か(Sentence-final)}

説明カテゴリー： 1-1 N1AN2デス

書名： 『BASIC JAPANESE:INTENSIVE COURSE FOR SPEAKING AND READING』
著者・編者名： 大阪外国語大学留学生別科日本語科研究室
出版年： 1967 対象者： 外国人国費研究留学生
備考： (1) 1-9課 ローマ字表記 10課以降 漢字かなまじり表記 (2)約2500
 (3) 466 (4) Vol.1 25, Vol.2 25 (5) 400

テキスト： N1 は N2 です か。

キー： K1:N1 EK1:N1 is the subject, or the topic, of a sentence.
 EK1:N1は can be omitted when it is understood by the speaker
 and the hearer.
 CF1:Demonstrative CF2:Copula です
 CF3:Particle {{は、も}(Post-nominal) か(Sentence-final)}

説明カテゴリー： 3-1 N1A N2デスカ

【出典は上に同じ】

テキスト： N1 は N2 では ありません。

キー： K1:N1 EK1:N1 is the subject, or the topic, of a sentence.
EK1:N1は can be omitted when it is understood by the speaker
and the hearer.
CF1:Demonstrative CF2:Copula です
CF3:Particle {{は、も} (Post-nominal) か (Sentence-final)}

説明カテゴリー： 2-1 N1ハ N2デ'ハアリマセシ

【出典は上に同じ】

テキスト： N1 は N2 では ありません か？

キー： K1:N1 EK1:N1 is the subject, or the topic, of a sentence.
EK1:N1は can be omitted when it is understood by the speaker
and the hearer.
CF1:Demonstrative CF2:Copula です
CF3:Particle {{は、も} (Post-nominal) か (Sentence-final)}

説明カテゴリー： CF:2-1 N1ハ N2デ'ハアリマセシ CF:3-1 N1ハ N2デ'スカ

【出典は上に同じ】

テキスト： N1 も N2 です。

キー： K1:N1 EK1:N1 is the subject, or the topic, of a sentence.
EK1:N1は can be omitted when it is understood by the speaker
and the hearer.
CF1:Demonstrative CF2:Copula です
CF3:Particle {{は、も} (Post-nominal) か (Sentence-final)}

説明カテゴリー： CF:1-1 N1ハN2デ'ス

【出典は上に同じ】

JAPANESE FOR BUSY PEOPLE

テキスト： わたしは スミスです。

キー： T:My name's Smith. K1:Identifying People and Things
K2:noun1 は noun2 です EK2:Particle は. Topic marker
EK2:は follows noun1 indicating that it is the topic under
discussion. Noun2 is then identified and the phrase is con-
cluded with です. The topic is often the same as the subject,
but necessarily. It is also possible for the object to be the
topic. The ...は ...です structure is not affected by person
or number. K3:Omission of topic EK3:...

説明カテゴリー： 1-1 N1/N2デス

書名： 『JAPANESE FOR BUSY PEOPLE』

著者・編者名： Association for Japanese-Language Teaching

出版年： 1987 対象者： 一般成人（ビジネスマン）

備考： (1)ローマ字表記（会話部分のみひらがな表記） (5)50

* This course might be described as "survival Japanese"

テキスト： わたしは アメリカたいしかんの スミスです。

キー： T:I'm Smith from the American Embassy.

K1:東京電気の（田中です） EK1:The Possesive particle の indicates ownership or attribution and comes after the noun it modifies, like "'s" in English. Here it shows that Mr. Tanaka belongs to, in the sense that he works for, Tokyo Electric. Japanese customarily give their company and position when being introduced. K2:N1はN2です→001

説明カテゴリー： 4-1 N1/N2 CF:N1/N2デス

【出典は上に同じ】

テキスト： こちらは たなかさんです。

キー： T1:This is Mr.Tanaka. K1:こちらはスミスさんです

EK1:こちら, "this one," implies "this person here" and is a polite way of saying "this person"

説明カテゴリー： 1-1 N1/N2デス

【出典は上に同じ】

テキスト： わたしは べんごしではありません。

キー： T1:I'm not a lawyer. K1:では ありません／じゃ ありません

EK1:Negative form of です. じゃ is more informal than では.

説明カテゴリー： 2-1 N1/N2デハリマセ

【出典は上に同じ】

BUSINESS JAPANESE

テキスト： わたくし は <X> です。

キー： T:I'm <name X>. K1:Copula /です/ EK1:/です/ is the copula 'to be' and can mean 'am/is are'. K2:In this pattern, particle /は/ indicates that the preceding noun is the subject of the sentence. K3:Particles are non-inflective words which follow words or phrases to indicate the relationship of the preceding word(s) to the rest of the sentence. Particles also include

the equivalent of prepositions in English.

説明カテゴリー： 1-1 N1/N2デス.

書名： 『BUSINESS JAPANESE』

著者・編者名： the International Division of Nissan Motor Co., Ltd.

出版年： 1984 対象者： business person (英語圏)

備考： (1)ローマ字表記 (dialogueのみ漢字かな混じり) (4)20 (5)either
in class or at home, with a minimum of preparation and review

テキスト： わたくし は <Y> の <X> です。

キー： T:I'm <name X> from <company Y>. K1:Particle の 'of'
EK1:Particle の occurs between nouns like "AのB" and usually
means "A's B" or "B of A." Depending upon context, it is also
used in the sense of "located in A," "B related to A," etc...
Please note that の functions in much the same way as the Eng-
lish preposition "of". However, since the word order is different
from that of English の has been included under the category
of particle.

説明カテゴリー： 4-1 N1/N2 CF:1-1

【出典は上に同じ】

テキスト： "こちら は <X>-さん です。"

キー： T:This is Mr./Ms.<name X>. K1:Copula です →001
K2:particle は →001 K3:-さん
EK1:-さん is attached to a family name (i.e. 山本さん), a
given name(i.e. ジャックさん).and means either Mr., Mrs., Miss.
or Ms. It is the polite form of addressing/referring to an
individual. However, you cannot use -さん with your own name,
or with the names of others in your group, when speaking with
a person who is not a member of this group....

説明カテゴリー： 1-1 N1/N2デス.

【出典は上に同じ】

テキスト： わたくし は <X> じゃ ありません。

キー： T:I'm not <name X>.
K1:Particle は→001 K2:Copula です→001
K3:じゃありません
EK3:じゃありません is the present negative form of です

説明カテゴリー： CF: N1/N2デハアヤマセン.

【出典は上に同じ】

Core Japanese

テキスト： わたし は かいしゃいん です。

キー：

説明カテゴリー： 1-1 N1/N2デス

書名： 『Core Japanese I』
著者・編者名： Sony Language Laboratory 日本語科
出版年： 1987 対象者： 多忙な入門者（ビジネスマン等）
備考： (1)ローマ字／ひらがな併記 (2)272 (3)0 (4)35
(5)40-50 時間の音声中心授業の素材（核）としての使用を想定

テキスト： わたし は かいしゃいん ではありません。

キー：

説明カテゴリー： 2-1 N1/N2デハアヤマセソ

【出典は上に同じ】

テキスト： あなた は かいしゃいん ですか？

キー：

説明カテゴリー： 3-1 N1/N2デスカ

【出典は上に同じ】

A COURSE IN MODERN JAPANESE

テキスト： アリス：おはようございます。
 （ルイン：おはようございます。）

キー：

説明カテゴリー： 大学で /

書名： 『A COURSE IN MODERN JAPANESE Vol.1』
著者・編者名： 名古屋大学総合言語センター日本語科
出版年： 1989 対象者： 留学生
備考： (1)漢字かなまじり表記とローマ字表記（ヘボン式） (4)12
(5)Intensive Courseにおいて各課10～15時間

テキスト： （アリス：おはようございます。）
 ルイン：おはようございます。

キー：

説明カテゴリー： 大学で /

【出典は上に同じ】

テキスト： アリス：きのう本を読みましたか。
 (ルイン：はい、読みました。)

キー： K1:Polite form of verbs EK1:...Verbs ending in -ます are used to describe a habitual action or an action in the future. ... What has already happened can be described by verbs ending in -ました instead of -ます... K2:Particles EK2:...を is added to a noun which indicates the thing which an actor does... か and those which come at the end of a sentence...change into a question, make a sentence more emphatic, etc.

説明カテゴリー： 大学で /CF:21-5 NA...V-マツタ CF:13-4 NA...V-マスカ 15-4 Nヲ(+Vt)

【出典は上に同じ】

テキスト： (アリス：きのう本を読みましたか。)
 ルイン：はい、読みました。

キー： K1:Polite form of verbs EK1:...Verbs ending in -ます are used to describe a habitual action or an action in the future..What has already happened can be described by verbs ending in -ました instead of -ます... K2:Omission of some noun phrases in a sentence EK2:Japanese people frequently omit those noun phrases which the speaker thinks the hearer knows or can understand from the context or the situation.

説明カテゴリー： 大学で /CF:21-5 NA...V-マツタ

【出典は上に同じ】

テキスト： アリス：テープは聞きましたか。
 (ルイン：いいえ、聞きませんでした。)

キー： K1:Polite form of verbs EK1:...Verbs ending in -ます are used to describe a habitual action or an action in the future..What has already happened can be described by verbs ending in -ました instead of -ます... K2:Particle か EK2:...か and those which come at the end of a sentence...change a sentence into a question, make a sentence more emphatic, etc. K3:Function of は EK3:は indicates the topic (or something to be talked about)of a sentence and means "as for."...

説明カテゴリー： 大学で /CF:21-5 NA...V-マツタ CF:13-4 NA...V-マスカ

【出典は上に同じ】

テキスト： (アリス：テープは聞きましたか。)
 ルイン：いいえ、聞きませんでした。

キー： K1:Polite form of verbs EK1:...Verbs ending in -ます are used to describe a habitual action or an action in the future..What has already happened can be described by verbs ending in -ました instead of -ます... K2:Particles EK2:→003 K3:Omission of some noun phrases in a sentence EK3:Japanese people frequently omit those noun phrases which the speaker thinks the hearer knows or can understand from the context or

the situation.

説明カテゴリー： 大学で /CF:22-5 NA...V-メンデシタ

【出典は上に同じ】

現代日本語

テキスト： 今月は 四月です。

キー：

説明カテゴリー： 1-1 N1AN2デス

書名： 『現代日本語』

著者・編者名： 亜細亜大学

出版年： 1988 対象者： 漢字系学生

備考： (1)漢字かなまじり表記，横書き (2)約1300 (固有名詞は含まず)
(3)629 (4)30 (5)150-200

テキスト： 来月は 五月です。

キー：

説明カテゴリー： 1-1 N1AN2デス

【出典は上に同じ】

テキスト： 先月は 三月でした。

キー：

説明カテゴリー： 27-6 N1AN2デシタ

【出典は上に同じ】

JAPANESE FOR BEGINNERS (日本語入門)

テキスト： わたし；わたしたち： (あなた；あなたがた)

キー： T:I; We K1:[Person]→[Person]-たち
EK1:Japanese Nouns <N>, generally, have no plural forms, neither do they take 'articles.' To stress plurality, put -たち after Nouns indicating persons.
K2:An exeption is: あなた→あなた-がた

説明カテゴリー：

書名： 『JAPANESE FOR BEGINNERS (日本語入門)』

著者・編者名： 吉田弥寿夫，倉谷直臣，奥西俊介

出版年： 1989 対象者： 初心者の学生, ビジネスマン
備考： (1)ヘボン式ローマ字表記 (2)約1200 (4)30

テキスト： (わたし; わたしたち) : あなた; あなたがた

キー： T:you <sing.>; you <pl.> K1:[Person]→[Person]-たち
 EK1:Japanese Nouns <N>, generally, have no plural forms, nei-
 ther do they take 'articles.' To stress plurality, put -たち
 after Nouns indicating persons.
 K2:An exeption is: あなた→あなた-がた

説明カテゴリー：

【出典は上に同じ】

テキスト： アメリカじん と にっぽんじん

キー： T:an American and a Japanese
 K1:N1 と N2 EK1:N1 and N2 →FS

説明カテゴリー：

【出典は上に同じ】

テキスト： イギリスじんたち や カナダじんたち

キー： T:Englishmen, Canadians, and others
 K1:N1 や N2 EK1:N1, N2, and others →FS

説明カテゴリー：

【出典は上に同じ】

テキスト： オーストラリアじん か ニュージーランドじん

キー： T:an Australian or a New Zealander
 K1:N1 か N2 EK1:N1 or N2

説明カテゴリー：

【出典は上に同じ】

テキスト： これ; それ; あれ: (これら; それら; あれら)

キー： T:this; that; that
 K1:これ; それ; あれ
 EK1:Japanese equivalents to the English 'this' and 'that' are
 これ, それ, あれ. これ indicates a thing near the seaker,
 それ near the lsitner,
 and あれ away from both. <→FS>.

EK2:-ら makes them plural.

説明カテゴリー：

【出典は上に同じ】

テキスト：（これ； それ； あれ）：これら； それら； あれら

キー： T:this; that; that
K1:これ； それ； あれ
EK1:Japanese equivalents to the English 'this' and 'that' are
これ, それ, あれ. これ indicates a thing near the seaker,
それ near the listener,
and あれ away from both. <→FS>.
EK2:-ら makes them plural.

説明カテゴリー：

【出典は上に同じ】

テキスト： スミスさん と ジョーンズさん

キー： T:Mr. Smith and Ms. Jones
K1:[Person]→[Person]-さん
EK1:Mr./Ms./Dear [Person]

説明カテゴリー：

【出典は上に同じ】

JAPANESE FOR TODAY (あたらしい日本語)

テキスト： N1 は N2 です。

キー： T: 'N1 is N2' K1:は EK1:は is a particle indicating that
the Noun to which it is attached is the Topic of the sentence.
...Topic can be anything that the speaker wants to talk about.
The essential function of は is to attract the listener's at-
tention to the word or phrase to which it is attached... は is
replaced by も when the same predicate also applies to another
N. K2:です EK2:です is a Copula(like 'to be' in English)
used most commonly in medially polite spoken Japanese,...→002

説明カテゴリー： 1-1 N1は N2です

書名： 『JAPANESE FOR TODAY (あたらしい日本語)』
著者・編者名： 吉田弥寿夫, 寺村秀夫
出版年： 1987 対象者： 学生, ビジネスマン
備考： (1)漢字かなまじり表記 横書き、分かち書き
(2)3800 (4)30 (5)200

テキスト： N1 は N2 では ありません。

キー： T: 'N1 is not N2' K1:は EK1:→001
 K2:です EK2:です is a Copula(like 'to be' in English) used most commonly in medially polite spoken Japanese, and is inflected for negative (ではありません), Past tense, etc.
 'Nです' constitutes the Nominal Predicate.

説明カテゴリー： 2-1 N1ハ N2デハアリマセン

【出典は上に同じ】

テキスト： N1 は N2 ですか？

キー： T: 'Is N1 N2 ?'
 K1:は EK1:→001 K2:です EK2:→002
 K3:か EK3:か is a Sentence-final Particle expressing question or doubt. In an answer to a question, the predicate alone is sufficient; the Topic may be omitted whenever it is understood. ...The answer sentence can be further simplified by using そう which stands for the 'N1はN2' part of the question sentence.

説明カテゴリー： 3-1 N1ハ N2デスカ

【出典は上に同じ】

テキスト： N1 の N2

キー： T:(roughly) 'N2 of N1'
 K1:Connecting Two Nouns
 EK1:N2 is sometimes omitted when it is understood.
 (e.g. これは 私の です。)

説明カテゴリー： 4-1 N1/N2

【出典は上に同じ】

技術研修のための日本語

テキスト： サリムさんは エンジニアです。

キー： T: Mr. Salim is an engineer.
 K1:N1 は N2 です EK1:"は" is a particle which indicates the topic that the speaker wants to talk about. For example if you want to talk about yourself, add the particle "は" after the noun
 EK1:"です" is close to the English verb "to be" and can be translated as "am", "are", or "is", depending on the context. It shows that the statement is the present tense.

説明カテゴリー： あいさつ 1-1 N1ハN2デス

書名： 1.『技術研修のための日本語 1』
 2.『Grammatical Notes 技術研修のための日本語』
 著者・編者名： 国際協力事業団

出版年： 1.1989 2.1990 対象者： 技術研修員
備考： (1)漢字かなまじり文 (2)460 (3)使用漢字：91 理解漢字：51
(4)Ⅰ 15, Ⅱ 15, Ⅲ15 (5)Ⅰ 100

テキスト： サリムさんは エンジニアじゃ ありません。

キー： T:Mr. Salim isn't an engineer.
K1:N 1 は N 2 じゃありません
EK1:"じゃありません" is a negative form of "です", showing
that the statement is the negative present tense.

説明カテゴリー： あいさつ 2-1 N1/N2デハアリマセン

【出典は上に同じ】

テキスト： サリムさんはエンジニアですか。

キー： T:Is Mr. Salim an engineer?
K1:N 1 は N 2 ですか
EK1:"か", added at the end of the sentence, makes it into a
question.

説明カテゴリー： あいさつ 3-1 N1/N2デスカ

【出典は上に同じ】

LEARN JAPANESE

テキスト： なにを しますか。

キー： K1:-ます EK1:The -ます(...)occurs in a normal-style statement
as the affirmative imperfect tense form ending of a verbal
Predicate. ... K2:Predicate → Predicate + か EK2:...
K3:Omission of Subject and other Predicate Modifiers EK3:...
K4:the subject of a sentence EK4:... K5:transitive Verb →
Noun(object) + を + transitive Verb EK5:...
K6:Noun + Relational + Predicate + か? → interrogative Noun +
Relational + Predicate + か? EK6:...

説明カテゴリー： 15-4(7a) Direct Object:N7 CF:13-4

書名： 『LEARN JAPANESE:NEW COLLEGE TEXT Vol.1』
著者・編者名： J. YOUNG, K. NAKAJIMA-OKANO
出版年： 1984 対象者： 大学生
備考： (1)ヘボン式ローマ字表記 (2)約410 (4)15

テキスト： うちへ かえりません。

キー： K1:Verb(-ます)→Verb(-ません) EK1:The -ません in かえりません
is the negative of -ます. ... K2:Motion Verb → place Noun
+ へ + motion Verb EK2:The へ is a Relational that denotes

direction, ... K3:Omission of Subject and other Predicate Modifiers EK3:... K4:the subject of a sentence EK4: In Japanese the subject of a sentence (...) is optional: (...) EK4:... the situation usually makes it clear which person the speaker is referring to.

説明カテゴリー： 17-4(4a) Direction CF:14-4 CF:32.3-6

【出典は上に同じ】

テキスト： ちょっと かんだへ いきます。

キー： K1:-ます EK1:→001 K2:Motion Verb→place Noun + へ+ motion Verb EK2:→002 K3:Omission of Subject and other Predicate Modifiers EK3:→002 K4:the subject of a sentence EK4:→002 K5:かんだ EK5:... K6:The use of いきます and きます EK6:... いきます means motion away from the speaker's position, ... K6:ちょっと EK6:... The Adverb ちょっと "for a while" is often used in sentences of request, proposition, action, or invitation, to make them sound casual. ...

説明カテゴリー： 17-4(4a) Direction CF:12.1-4 CF:32.1-6

【出典は上に同じ】

テキスト： きょう ほんを かいます。

キー： K1:-ます EK1:The -ます(...)occurs in a normal-style statement as the affirmative imperfect tense form ending of a verbal Predicate. ... K2:Predicate → Predicate + か EK2:... K3:Omission of Subject and other Predicate Modifiers EK3:... K4:the subject of a sentence EK4:... K5:transitive Verb → Noun(object) + を + transitive Verb EK5:... K6:time Nouns EK6:(...)and きょう "today" are called time Nouns. They may be used adverbially without any Relational following. ...

説明カテゴリー： 15-4(7a) Direct Object:N7 CF:12.1-4

【出典は上に同じ】

JAPANESE LANGUAGE PATTERNS

テキスト： 日本語を話します。

キー： K1:The Object EK1:The Object consists of TWO elements:(a)a non noun; and (b)a "markaer", the particle を,whose function it is to point out the word preceding it as the object of the sentence. K2:The Verb EK2:The verb normally comes at the end of the sentence. K3:-ます EK3:... (a)-ます, ..., indicates what one generally or habitually does. K4:The Subject EK4:What in English is called the subject of the sentence need not be expressed in Japanese when it can easily be understood.

説明カテゴリー： 15-4(7a) Direct Object:N7 CF:12.1-4 N1...V-77

書名： 『JAPANESE LANGUAGE PATTERNS Vol.1』
 著者・編者名： A. Alfonso
 出版年： 1974 対象者：
 備考： (1)ヘボン式ローマ字表記（ただし長音は母音を重ねて示す）
 (2)約2,400 (4)22

テキスト： ニュースを聞きました。

キー： K1:The Object EK1:The Object consists of TWO elements:a) a noun
 b)"marker", the particle を, whose function it is to point out
 the word preceding it as the object of the sentence. K2:The
 Verb EK2:The verb normally comes at the end of the sentence.
 K3:-ました EK3:... (b)-ました indicates what one did or has
 done. It means, that the action is in a state of comple-
 tion. K4:The subject EK4:... subject of the sentence need not
 be expressed in Japanese when it can easily be understood.

説明カテゴリー： 15-4(7a) Direct Object:N7(+Vt) CF:21-5 NA...V-マツ

【出典は上に同じ】

テキスト： 新聞を見ません。

キー： K1:The Object EK1:→001 K2:The Verb EK2:→001 K3: A Noun
 EK3:In Japanese a noun is not accompanied by an article 'the',
 or 'a', or 'an', nor does it have a singular or a plural form.
 Thus a word like 新聞 might be equivalent to: 'newspaper', ...,
 'the newspapers', and even 'some newspapers'.
 K4:subject EK4:→001 K5:-ません EK5:... (c)-ません can
 mean two things:(1)what one generally or habitually does not
 to do; (2)what one makes up one's mind not to do;

説明カテゴリー： 15-4(7a) Direct Object:N7(+Vt) CF:14-4 NA...V-マセン

【出典は上に同じ】

テキスト： 雑誌を買いませんでした。

キー： K1:The Object EK1:→001 K2:The Verb EK2:→001 K3: A Noun
 EK3:In Japanese a noun is not accompanied by an article 'the',
 or 'a', or 'an', nor does it have a singular or a plural form.
 Thus a word like 新聞 might be equivalent to: 'newspaper', ...,
 'the newspapers', and even 'some newspapers'.
 K4:subject EK4:→001 K5:-ませんでした EK5:... (d)-ません
 でした indicates what one did not do, or had not done in the
 past.

説明カテゴリー： 15-4(7a) Direct Object:N7(+Vt) CF:22-5 NA...V-マセンデシタ

【出典は上に同じ】

Modern Japanese for University Students

テキスト： これは テーブルです。

キー： T: This is a table. K1: number EK1: There is no grammatical number in Japanese. これは テーブル です could be "This is a tables." or "These are tables." ... K2: は EK2: は, a particle indicating the subject of the sentence, combines with the preceding word to form the subject of the sentence. ... K3: です EK3: です shows that the sentence is a statement in the present tense. This is generally considered to be a copula. ... です is much more inclusive than the English copula. ...

説明カテゴリー： 1-1 N1ハ N2デス

書名： 『Modern Japanese for University Students Part I』

著者・編者名： 国際基督教大学日本語科

出版年： 1965 対象者： 成人（特に大学生）

備考： (1)ローマ字（修正訓令式）表記と漢字かなまじり表記 (2)1,250
(3)400 (4)40 (5)160

これは テーブルじゃありません。

キー： T: This is not a table. K1: number EK1: →001
K2: は EK2: は, a particle indicating the subject of the sentence, combines with the preceding word to form the subject of the sentence. ...
K3: じゃありません EK3: じゃありません indicates a statement in the negative present tense.

説明カテゴリー： CF:2-1 N1ハ N2デハアリマセン

【出典は上に同じ】

テキスト： これは テーブルですか。

キー： T: Is this a table? K1: number EK1: →001
K2: は EK2: は, a particle indicating the subject of the sentence, combines with the preceding word to form the subject of the sentence. ...
K3: か EK3: Any statement can be made into a question just by adding か at the end. Such a sentence can have either a rising or falling intonation. ...

説明カテゴリー： CF:3-1 N1ハ N2デスカ

【出典は上に同じ】

An Introduction to Modern Japanese

テキスト： P: いま 何時ですか。
(S: 六時です。)

キー： T:What time is it now ? K1:いま 何時ですか EK1:This is the most common expression used for asking the time. ... K2:なん EK2:The なん of 何時 means 'what' and 時 means 'o'clock.' ... K3:です Ek3:です roughly corresponds to the English verb 'to be' and can mean 'it is,' 'we are,' 'they are,' etc. depending on context. ... K4:か EK4:か added at the end of a sentence makes it into a question. The word order does not change as it does in English. ...

説明カテゴリー： CF:3-1 N1A N2デス / On a plane

書名：『An Introduction to Modern Japanese』

著者・編者名：水谷 修, 水谷 信子

出版年：1991 対象者：一般成人（独習者を含む）

備考：(1)ローマ字・漢字仮名交じり併記 (2)約1550語 (3)450字 (4)30課

テキスト：（P：いま 何時ですか。）
S：六時です。

キー： T:It's six o'clock. K1:六時です EK1:六(six) and 時(o'clock) combine to mean 'six o'clock.' The hours of the day are read in the following way: (...) EK1:By replacing 時 with other "counters" you can form various compounds, for example, 一枚(one sheet), 二枚(two sheets), 三人(three people), よばん or よんばん(number 4). (4 is sometimes read し, especially when it used alone.)

説明カテゴリー： CF:1-1 N1A N2デス / On a plane

【出典は上に同じ】

テキスト：P：東京は いま 何時ですか。
（S：八時です。）

キー： T:What time is it now in Tokyo ? K1:東京は何時ですか EK1:は follows the topic that the speaker wants to talk about. Here, the topic that the speaker wishes to emphasize is 'Tokyo,' so he starts his sentence with 東京は. To find out what time it is in New York he would say ニューヨークは 何時ですか.

説明カテゴリー： CF:3-1 N1A N2デス / On a plane

【出典は上に同じ】

テキスト：（P：東京は いま 何時ですか。）
S：八時です。

キー： T:It's eight o'clock. K1:六時です EK1:六(six) and 時(o'clock) combine to mean 'six o'clock.' The hours of the day are read in the following way: (...) EK1:By replacing 時 with other "counters" you can form various compounds, for example, 一枚(one sheet), 二枚(two sheets), 三人(three people), よばん or よんばん(number 4). (4 is sometimes read し, especially when it used alone.)

説明カテゴリー： CF:1-1 N1A N2デス / On a plane

【出典は上に同じ】

テキスト： P:午後 八時ですか
(S:ええ、そうです。 東京は いま よるです。)

キー： T:Eight P.M. ? K1:午後 八時ですか EK1:... 午後 means P.M.,
and 午前 means A.M. ...

説明カテゴリー： CF:3-1 N1A N2デス / On a plane

【出典は上に同じ】

テキスト： (P:午後 八時ですか。)
S:ええ、そうです。(東京は いま よるです。)

キー： T:Yes, that's right.
K1:ええ、そうです。
EK1:ええ is used to show agreement.
EK1:そうです means 'It's (exactly) as you say.'

説明カテゴリー： / On a plane

【出典は上に同じ】

テキスト： (P:午後 八時ですか。)
S:(ええ、そうです。) 東京は いま よるです。

キー： T:It's night in Tokyo now.
K1:東京は いま よるです。
EK1:The structure of the sentence 東京は いま よるです is
identical to that in line 3 (*→003), except that this sen-
tence is a statement rather than a question.

説明カテゴリー： 1-1 N1A N2デス / On a plane

【出典は上に同じ】

日本語の基礎

テキスト： "私は リーです。"

キー： K1:Noun[N] EK1:In Japanese, grammatical number(singular or
plural), and gender(masculine or feminine) are not generally
marked, although there are some words which express plurality.
K2:Particle[P] EK2:A N is followed by a P which expresses a
grammatical relation in a sentence. K3:Nは EK3:This means
that a noun is a topic or a subject of the sentence. K4:です
(Copula) EK4:The Copula is like a be-verb in English, and is
used at the end of a sentence. EK4:...make a sentence polite...

説明カテゴリー： 1-1 N1A N2デス

書名： 1. 『日本語の基礎 I <漢字・仮名まじり版>
 2. 『日本語の基礎 I <文法解説書英語版>』
 著者・編者名： 海外技術者研修協会
 出版年： 1.1988 2.1991 対象者： 発展途上諸国の技術研修生
 備考： "(1)「ローマ字版」と「漢字仮名まじり版」(横書き、分かち書き)"
 がある (2)763 (3)当用漢字で表現できるものすべて (4)30 (5)100

テキスト： あなたは タノムさんですか。

キー： K1:Noun[N] EK1:→001 K2:Particle[P] EK2:→001 K3:Nは EK3:→001 K4:です EK4:→001 K5:Sentenceか EK5:Generally speaking, a sentence can be made into a question by adding か to the end. The interrogative sentence usually has a rising intonation... K6:-さん EK6:In Japanese, -さん is attached after personal names when addressing or referring to other people... never attached by the speaker to his own name... the full name or the family name is... used in speaking to or about another person..

説明カテゴリー： 3-1 N1AN2デス カ

【出典は上に同じ】

テキスト： タノムさんは 日本人では ありません。

キー： K1:Noun[N] EK1:→001 K2:Particle[P] EK2:→001 K3:Nは EK3:→001 K4:です EK4:→001 K5:Inflection of です in non-past tense EK5:affirmativeです negativeでは ありません (in daily conversation, じゃありません, a more colloquial form is usually used.) K6:-さん EK6:→002

説明カテゴリー： 2-1 N1AN2デハ アリマセン

【出典は上に同じ】

テキスト： ラオさんも 研修生です。

キー： K1:Noun[N] EK1:→001 K2:Particle[P] EK2:→001 K3:Nも EK3:N also... K4:です(Copula) EK4:→001 EK4:→001 K5:-さん

説明カテゴリー： CF:1-1 N1AN2デス

【出典は上に同じ】

生活日本語

テキスト： 林：はじめまして。
 (山本：はじめまして。)

キー： K1:はじめまして EK1:意味は「初次見面」だが、習慣的に多用する点では「您好」に近い

説明カテゴリー： G1:初対面のあいさつ

書名：『中国からの帰国者のための生活日本語Ⅰ』
著者・編者名：文化庁文化部国語課
出版年：1987 対象者：中国からの帰国者
備考：(1)漢字かなまじり表記 (2)約1500 (4)Ⅰ 24, Ⅱ 9

テキスト：（林：はじめまして。）
山本：はじめまして。

キー： K1:はじめまして EK1:意味は「初次見面」だが、習慣的に多用
する点では「悠好」に近い

説明カテゴリー： G1:初対面のあいさつ

【出典は上に同じ】

テキスト：林：林達雄です。
（山本：山本です。）

キー： K1:林達雄です EK1:「です」は「我姓…」「我是…」の「姓」
「是」に当たる。自分の姓名を名のるとき、日本語では「我姓…」の
「我」（＝わたし）を省いて言うのが普通。

説明カテゴリー： CF:1-1 N1AN2デス G1:初対面のあいさつ

【出典は上に同じ】

テキスト：（林：林達雄です。）
山本：山本です。

キー： K1:林達雄です EK1:「です」は「我姓…」「我是…」の「姓」
「是」に当たる。自分の姓名を名のるとき、日本語では「我姓…」の
「我」（＝わたし）を省いて言うのが普通。

説明カテゴリー： CF:1-1 N1AN2デス G1:初対面のあいさつ

【出典は上に同じ】

テキスト：林：よろしく お願いします。
（山本：こちらこそ よろしく お願いします。）

キー： K1:よろしく お願いします EK1:初対面の人にあいさつするときや、人にものを頼んだ
ときに使う

説明カテゴリー： G1:初対面のあいさつ

【出典は上に同じ】

テキスト：（林：よろしく お願いします。）
山本：こちらこそ よろしく お願いします。

キー： K1:こちらこそ EK1:「こちら」は、ここでは話し手を指す。「こそ」は強調を表す。
CF1:よろしく お願いします →005

説明カテゴリー： G1:初対面のあいさつ

【出典は上に同じ】

資料 3 文法事項・文型のデータバンク

① 各教科書における「N1はN2です。」出現状況

* N1の省略形

現代日本語

GN10010100	今月は 四月です。
GN10020100	来月は 五月です。
GN10040100	今日は 月曜日です。
GN10050100	あしたは 火曜日です。
GN10070100	今日は 七日です。
GN10080100	あしたは 八日です。
GN10100100	今年は 1988年です。
GN10110100	来年は 1989年です。
GN10130200	これは カメラです。
GN10140200	それは ラジオです。
GN10150200	あれは 時計です。
GN10160300	ここは 図書館です。
GN10170300	そこは 体育館です。
GN10180300	あそこは 食堂です。
GN10190300	事務所は ここです。
GN10200300	エレベーターは そこです。
GN10210300	お手洗いは あそこです。
GN10220300	新橋駅は こちらです。
GN10230300	神田駅は そちらです。
GN10240300	銀座は あちらです。
*GN10430600	今、九時です。
*GN10440600	今、九時十五分 過ぎです。
*GN10450600	今、九時半です。
*GN10460600	今、十時十五分 前です。

Japanese A Basic Course

*BC10920400	(あのひとは だれですか。) クラークさんです。
*BC10940400	(クラークさんは がくせいですか。) ええ、だいがくせいです。
*BC10960400	(あのかたは どなたですか。) いけださんです。

BEGINNING JAPANESE

*BG102602A0	それです。
BG102702A0	ああ、それは ペンです。

BASIC JAPANESE

BJ10010101	N1 は N2 です。
------------	-------------

JAPANESE FOR BUSY PEOPLE

BP10010100	わたしは スミス です。
BP10030100	こちらは たなかさん です。
BP10050200	これは めいし です。
BP10110300	きょうは 6がつ18にち です。
BP10150400	これは とけい です。
BP10170400	あれは 3,000えん です。

BUSINESS JAPANESE

- BU10010100 わたくし は <X> です。
BU10030100 こちらは <X>-さん です。
BU10050200 <X>-さん は 友達／知り合い です。
BU10100200 <X> は <Y> です。

Core Japanese

- CJ10010100 わたし は かいしゃいん です。
CJ10040201 これは えんぴつ です。
CJ10040202 それ は えんぴつ です。
CJ10040203 あれ は えんぴつ です。

A COURSE IN MODERN JAPANESE

- CM102802A0 あれはルインさんです。
CM103102A2 こちらは佐藤さんです。
* CM103302A1 佐藤です。
* CM103602A0 (お国はどちらですか。) ビルマです。
* CM104002A0 (ご専門は何ですか。) 電子工学です。
* CM107504A0 いいえ、保険管理室です。
* CM109404C0 (何階ですか。) 三階です。
* CM110205A0 (何番のバスですか。) 84番か78番です。
* CM112105B0 (あの…八事までいくらですか。) 140円です。
* CM114006B0 (サイズはおいくつですか。) 23.5です。
* CM114906B0 (おいくらですか。) 19,800円です。
* CM115806C0 (お客様のサイズは。) Mです。
* CM116006C2 (はい。) ことです。

JAPANESE FOR BEGINNERS

- JB10120300 わたし は アメリカじん です。

JAPANESE FOR TODAY

- JF10010100 N1は N2です。

技術研修のための日本語

- JJ10010100 サリムさんは エンジニアです。

Japanese Language Patterns

- *LP11350602 (あれはどこの船ですか。) ギリシャの です。
*LP11380602 (あれは何の木ですか。) 桜です。
*LP11390602 (パリはどこの国ですか。) フランスです。
*LP11410602 (あれは富士山ですか。) ええ、富士山です。
*LP12431100 (あなたは(お)いくつですか。) 32です。

Modern Japanese for University Students

- MJ10010100 これは テーブルです。
MJ10813202 これは 本です。

An Introduction to Modern Japanese

- *MJ200201A0 (いま 何時ですか。) 六時です。
*MJ200401A0 (東京は いま 何時ですか。) 八時です。
*MJ200801B0 (すみません、何時ですか。) 二時です。

*MJ201202A0 (これは いくらですか。) 五千円です。
 MJ201402A2 (これも 五千円ですか。) (いいえ。) それは 七千円です。
 MJ202002A0 あれは 八千円です。
 *MJ202202B2 (この くつしたは ナイロンですか。) (ちがいます。) もめんです。
 *MJ202402B0 (いくらですか。) 千円です。
 MJ203002C0 ああ、あれは 病院です。
 *MJ203403A0 (あれは なんですか。) 郵便局です。
 *MJ204203B0 (あの人は 誰ですか。) 田中さんです。
 *MJ205904A0 (何時ごろ おわりですか。) 六時ごろです。
 MJ206704A2 土曜日は やすみです。
 MJ207605A1 (どんな 本ですか。) 小説です。

日本語の基礎

NK10010100 私は リーです。
 NK10050200 これは 本です。
 NK10090200 私は 25歳です。
 NK10100300 事務所は あそこです。
 NK10110300 食堂は そちらです。
 NK10120300 ここは 教室です。
 NK10140300 これは 1,500円です。
 *NK10150400 今 1時10分です。

生活日本語

*SN100401A0 山本です。
 *SN100701B2 こちら 伊藤さんです。
 *SN100801B1 伊藤です。
 *SN100901B0 田中さんです。
 *SN101001B1 田中です。
 *SN104603B0 136-7891ですね。
 *SN105603D0 コップです。
 *SN105803D0 冷蔵庫です。
 *SN106003E0 ああ、「かいもの」です。
 *SN106605A0 5番です。
 *SN106704A0 はい、5番ですね。
 *SN107404B1 はい、これです。
 *SN107604C1 200円です。
 *SN107704C0 はい、12番ですね。
 *SN108104D0 ええと、200円です。
 *SN108304D0 じゃ、これ 証明書です。
 *SN110205C0 4日ぐらいです。
 *SN111806B2 ビーマンは 売り切れなんです。
 *SN126812B3 3番線です。
 *SN132913D0 (医者:ここは。) そこです。
 *SN135114C0 (医者:下痢は。) 6回ぐらいです。

②各教科書における「起きる」の出現状況

テキスト：わたし は しちじ に おきます。

キー：

説明カテゴリー： [16-4(=a)]+[12.1-4 N1A...マス]

書名：『Core Japanese I』

著者・編者名： Sony Language Laboratory 日本語科

出版年： 1987 対象者： 多忙な入門者（ビジネスマン等）

備考： (1)ローマ字／ひらがな併記 (2)272 (3)0 (4)35
(5)40-50 時間の音声中心授業の素材（核）としての使用を想定

テキスト：わたしは 毎朝 七時に 起きます。

キー：

説明カテゴリー： [16-4 N=]+[12.1-4 NΛ(Time)(Place)(Direction)(Obj.)V-マス]

書名：『現代日本語』

著者・編者名： 亜細亜大学

出版年： 1988

対象者： 漢字系学生

備考： (1)漢字かなまじり表記，横書き (2)約1300（固有名詞は含まず）
(3)629 (4)30 (5)150-200

テキスト：わたしは 毎朝 七時に 起きて、歯を 磨いて、顔を 洗って、
朝ご飯を 食べて、八時に 家を出て、八時半に 学校へ 来ます。

キー：

説明カテゴリー： [35.1-7...V-テ,(V-テ,...)V-マス]+[23-5]+[17-4]+[16-4]+[15-4]

【出典は上に同じ】

テキスト：朝、起きた 時に 「おはようございます。」 と 言います。

キー：

説明カテゴリー： 46.7-10 V(Dict. form)+トキ(=)

【出典は上に同じ】

テキスト：（雪が降っていますよ。）起きて見てください。

キー： K1:-てみる E1:English equivalents will clarify the meaning of
みる in the first group of examples:'...have hung it on the
wall and am looking at it';'...open to page twenty and see
(what's there)';'Buy it and read it'. E1:In the second group
みる does not mean physical seeing.The equivalents are:'...ask
and find out';...;'Pick it up and see'.Some textbooks explain
-てみる as equal to 'try to ...',but the Frame examples show

that this interpretation is not a satisfactory one.

説明カテゴリー： [38.2-9 V-テカ'サイ]+[88-21 V-テミル]

書名： 『JAPANESE LANGUAGE PATTERNS Vol.1』

著者・編者名： A. Alfonso

出版年： 1974

対象者：

備考： (1)ヘボン式ローマ字表記（ただし長音は母音を重ねて示す）

(2)約2,400 (4)22

テキスト：（その後お父さんはいかがですか？） 寝たり起きたりです。

キー： K1:-たり form EK1:clauses with -たり generally coming in pairs and the second -たり normally followed by する. ... We say -たり generally comes in pairs because three or more may occur, and often only one occurs ---through in the latter case a second -たり form is implied by the speaker and the listener psychologically reacts as though a second -たり were suppressed.

説明カテゴリー： CF:36.2-7 V-リ, V-リ マス

【出典は上に同じ】

テキスト： 鈴木：山下さんは あさ 何時に おきますか。
（山下：七時に おきます。）

キー： T:What time do you get up in the morning, Mr. Yamashita?
K1:Personal pronouns EK1:Personal pronouns are used far less often in Japanese than in European languages.(...) K2:おきます
EK2:To find the verb おきます in the dictionary you must look it up under its dictionary form おきる. マス is called a "formal affirmative ending" and verbs in this form are more polite than verbs in the dictionary form. K3:に EK3:に indicates the time of action, and ...

説明カテゴリー： [16-4(=a)]+[13-4 NA...マスカ]/ G1

書名： 『An Introduction to Modern Japanese』

著者・編者名： 水谷 修, 水谷 信子

出版年： 1991

対象者： 一般成人（独習者を含む）

備考： (1)ローマ字・漢字仮名交じり併記 (2)約1550語 (3)450字

(4)30課

テキスト：（鈴木：山下さんは あさ 何時に おきますか。）
山下：七時に おきます。

キー： T:At seven.
K1:七時に おきます EK1:わたしは is left out, but is understood.

説明カテゴリー： 16-4(=a) CF:13-4 NA...マスカ / G1

【出典は上に同じ】

テキスト： 鈴木：（はやいですね。） わたしは 八時ごろ おきます。

(よるは、何時ごろ ねますか。)

キー： T:(That's early.)I get up around eight.(What time do you go to bed?) K1:はいですね EK1:Before はいですね, あなた (you)は, or やましたさんは is left out because it is understood. However わたしは is mentioned in the second sentence to make the meaning clear.
K2:ごろ EK2:ごろ is used to show approximate time. ...

説明カテゴリー： 12.1-4 N (T)(P)(D)(O)V-マス / G1

【出典は上に同じ】

テキスト： 私は 朝 6時半に 起きます。

キー： K1:-時, -分 EK1:→015 K2:-ます EK2:In all sentences, final verbs end with -ます in ordinary polite speech. K3:Inflection of -ます EK3:The non past form is used to refer to both present and future actions and states. Japanese does not distinguish between the two grammatically. K4:Particleに...1 EK4:N(time)に EK4:at (time) EK4:After a noun which expresses time, the particle に is used. EK4:に is omitted after the following words いつ,きのう, 今日, あした, 先週, 今週, 来週, 去年, 来年

説明カテゴリー： [16-4(=a)N=]+[12.1-4 N (Time)V-マス]

書名： 1. 『日本語の基礎 I <漢字・仮名まじり版>』

2. 『日本語の基礎 I <文法解説書英語版>』

著者・編者名： 海外技術者研修協会

出版年： 1988 対象者： 発展途上諸国の技術研修生

備考： "(1)「ローマ字版」と「漢字仮名まじり版」(横書き, 分かち書き)"
(2)763 (3)当用漢字で表現できるものすべて (4)30 (5)約100

テキスト： 朝 起きて、御飯を 食べて、教室へ 来ました。

キー： K1:Joining more than two predicates K2:Use of て-form...4
K3:...V-て,... EK3:do...,and... did..., and... (successive actions or events) て-form is not inflected for tense.

説明カテゴリー： [35.2-7 ...V-て,(V-て,...)V-マツタ]+[15-4(7a)]+[17-4(8a)]

【出典は上に同じ】

資料 4 「暫定」簡約日本語語彙表

第一千語

*選定のための参考文献は3ページ参照

	語彙	――
1	あい	愛
2	あい――	会う
3	あいさつ	あいさつ
4	あいだ	間
5	あいて	相手
6	あおい	青い
7	あかい	赤い
8	あがり――	上がる
9	あかるい	明るい
10	あかんぼう	赤ん坊
11	あき	秋
12	あき――	開く
13	あさ	朝
14	あさい	浅い
15	あし	足
16	あじ	味
17	あじあ	アジア
18	あした	あした
19	あそこ	あそこ
20	あそび――	遊ぶ
21	あたたかい	暖・温い
22	あたま	頭
23	あたらしい	新しい
24	あたり――	当たる
25	あつい	暑い
26	あつい	熱い
27	あつい	厚い
28	あっち	あっち
29	あつまり――	集まる
30	あと	後
31	あなた	あなた
32	あに	兄
33	あね	姉
34	あの	あの
35	あぶない	危ない
36	あぶら	油・脂
37	あふりか	アフリカ
38	あまい	甘い
39	あまり――	余る
40	あめ	雨
41	あめりか	アメリカ
42	あやまり――	あやまる〔謝〕
43	あらい	荒い
44	あらい	粗い
45	あらい――	洗う

	語彙	――
46	あらい――	争う
47	あらびあ	アラビア
48	あらわし――	現・表す
49	あり――	有る
50	ありがとう	ありがとう
51	ある	ある〔或〕
52	あるき――	歩く
53	あれ	あれ
54	あんな	あんな
55	い	胃
56	い――	いる〔居〕
57	いい――	言う
58	いいえ	いいえ
59	いえ	家
60	いき	息
61	いき――	生きる
62	いき――	行く
63	いぎりす	イギリス
64	いくつ	いくつ
65	いくら	いくら
66	いけない	いけない
67	いし	石
68	いしゃ	医者
69	いす	いす〔椅子〕
70	いそがしい	忙しい
71	いそぎ――	急ぐ
72	いたみ――	痛む
73	いたりあ	イタリア
74	いち	一
75	いつ	いつ〔何時〕
76	いっぱい	いっぱい
77	いつも	いつも
78	いとう	伊藤
79	いぬ	犬
80	いのうえ	井上
81	いのち	命
82	いのり――	祈る
83	いま	今
84	いみ	意味
85	いもうと	妹
86	いり――	要る
87	いれ――	入れる
88	いろ	色
89	いわい――	祝う
90	う ～よう	う ～よう

(注) 語彙欄の「――」は「ます」につづくことを示す。

	語彙	――
91	うえ	上
92	うお	魚
93	うき――	浮く
94	うけ――	受ける
95	うごき――	動く
96	うしろ	後ろ
97	うすい	薄い
98	うそ	うそ
99	うた	歌
100	うたい――	歌う
101	うち	内
102	うち――	打つ
103	うつくしい	美しい
104	うつり――	移る
105	うで	腕
106	うまい	うまい
107	うまれ――	生まれる
108	うみ	海
109	うみ――	産む
110	うら	裏
111	うり――	売る
112	うれしい	うれしい
113	え	絵
114	えいご	英語
115	ええ	ええ〈感〉
116	えき	駅
117	えらい	偉い
118	えらび――	選ぶ
119	えん	円
120	お	お～
121	おい――	追う
122	おおい	多い
123	おおきい	大きい
124	おおさか	大阪
125	おかあさん	おかあさん
126	おかしい	おかしい
127	おき――	起きる
128	おき――	置く
129	おきなわ	沖縄
130	おく	億
131	おくさん	奥さん
132	おくり――	送る
133	おこり――	怒る
134	おし――	押す
135	おじいさん	おじいさん

	語彙	――
136	おしえ――	教える
137	おそい	遅い
138	おち――	落ちる
139	おっと	夫
140	おと	音
141	おとうさん	おとうさん
142	おとうと	弟
143	おとこ	男
144	おとな	大人
145	おどろき――	驚く
146	おなじ	同じ
147	おばあさん	おばあさん
148	おはよう	お早う
149	おぼえ――	覚える
150	おもい	重い
151	おもい――	思う
152	おもしろい	おもしろい
153	おもて	表
154	おもな	主な
155	おや	親
156	おり――	降りる
157	おり――	折る
158	おわり――	終わる
159	おんな	女
160	か	課
161	か	か
162	か	～家
163	が	が
164	かい	会
165	かい	階
166	かい	回
167	かい――	買う
168	かいけつ	解決
169	がいこく	外国
170	かいしゃ	会社
171	かえり――	帰る
172	かお	顔
173	かがく	科学
174	かぎ	かぎ〔鍵〕
175	かき――	書く
176	がくせい	学生
177	がくもん	学問
178	かけ――	掛ける
179	かし	菓子
180	かし――	貸す

	語彙	――
181	かず	数
182	かぜ	風
183	かぞえー	数える
184	かぞく	家族
185	かた	肩
186	かたい	堅・固い
187	かたかな	かたかな
188	かたち	形
189	かちー	勝つ
190	がつ	～月
191	がっこう	学校
192	かとう	加藤
193	かなだ	カナダ
194	かならず	必ず
195	かね	金
196	かのじょ	彼女
197	かみ	紙
198	かよう	火曜
199	から	から
200	からだ	体
201	かりー	借りる
202	がる	～がる
203	かるい	軽い
204	かれ	彼
205	かわ	川
206	かわさき	川崎
207	かわりー	変わる
208	かわりー	代わる
209	かんがえー	考える
210	かんけい	関係
211	かんじ	漢字
212	かんじー	感じる
213	かんせつ	間接
214	かんとく	関東
215	かんやく	簡約
216	き	木
217	き	気
218	きー	着る
219	きー	来る
220	きいろい	黄色い
221	きえー	消える
222	きかい	機械
223	きかい	機会
224	ききー	聞く
225	ぎじゅつ	技術

	語彙	――
226	きせつ	季節
227	きた	北
228	きたぎゅうしゅう	北九州
229	きって	切手
230	きつぶ	切符
231	きのう	きのう
232	きゃく	客
233	きゅうしゅう	九州
234	きゅうりょう	給料
235	きよう	[今日]
236	きょういく	教育
237	きょうし	教師
238	きょうしつ	教室
239	きょうだい	兄弟
240	きょうと	京都
241	きょうみ	興味
242	きょねん	去年
243	きらいー	嫌う
244	きりー	切る
245	ぎりしゃ	ギリシャ
246	きろ	キロ
247	きん	金
248	ぎん	銀
249	きんき	近畿
250	ぎんこう	銀行
251	きんよう	金曜
252	く	九
253	くうき	空気
254	くさ	草
255	くさい	臭い
256	くすり	薬
257	ください	下さい・ください
258	くだりー	下る
259	くち	口
260	くつ	靴
261	くに	国
262	くび	首
263	くみ	組
264	くも	雲
265	くもりー	曇る
266	くらい	くらい
267	くらい	暗い
268	くらべー	比べる
269	ぐらむ	グラム
270	くるしい	苦しい

	語彙	――
271	くるま	車
272	くれー	暮れる
273	くれー	くれる
274	くろい	黒い
275	け	毛
276	げ	げ（おもしろー）
277	けいけん	経験
278	けいざい	経済
279	けいさん	計算
280	けいようし	形容詞
281	けいようどうし	形容動詞
282	けっこん	結婚
283	けっせき	欠席
284	げつよう	月曜
285	けむり	煙
286	げんき	元気
287	けんきゅう	研究
288	げんご	言語
289	けんこう	健康
290	こ	子
291	こ	～個
292	ご	後
293	ご	五
294	こい	濃い
295	こう	〔斯う〕
296	こうがい	郊外
297	こうぎ	講義
298	こうぎょう	工業
299	ごうけい	合計
300	こうこう	高校
301	こうてい	肯定
302	こうどう	行動
303	こうば	工場
304	こうふく	幸福
305	こうぶつ	鉱物
306	こうべ	神戸
307	こえ	声
308	こくさい	国際
309	こくせき	国籍
310	こくみん	国民
311	こくれん	国連
312	ここ	ここ
313	ごご	午後
314	こころ	心
315	ございます	ございます

	語彙	――
316	ごぜん	午前
317	こたえー	答える
318	こっち	こっち
319	こと	事
320	ことし	今年
321	ことば	言葉
322	こども	子供
323	ことわりー	断る
324	この	この
325	こばやし	小林
326	ごはん	御飯
327	こまりー	困る
328	こめ	米
329	これ	これ
330	ころ	ころ〔頃〕
331	ころしー	殺す
332	こわい	こわい
333	こわれー	こわれる
334	こんな	こんな
335	こんにちわ	こんにちは
336	こんばんわ	今晚は
337	さ	さ（おもしろー）
338	さいとう	斎藤
339	さえ	さえ
340	さか	坂
341	さがしー	探す
342	さがりー	下がる
343	さき	先
344	さきー	咲く
345	さけ	酒
346	ささき	佐々木
347	さしー	刺す
348	させー	させる
349	ざっし	雑誌
350	さっぽろ	札幌
351	さとう	佐藤
352	さびしい	寂しい
353	さむい	寒い
354	さめー	覚める
355	さよなら	さよなら
356	さん	三
357	さん	さん〔様〕
358	さんかく	三角
359	さんぎょう	産業
360	さんせい	賛成

	語彙	----
361	し	死
362	し	四
363	し	し
364	じ	時
365	じ	字
366	しー	する
367	しお	塩
368	しか	しか
369	しかく	四角
370	しかし	しかし
371	じかん	時間
372	しけん	試験
373	しこく	四国
374	じこく	時刻
375	しごと	仕事
376	じしょ	辞書
377	しずか	静か
378	しぜん	自然
379	した	舌
380	した	下
381	じだい	時代
382	したしい	親しい
383	しち	七
384	じっさい	実際
385	しつもん	質問
386	じてんしゃ	自転車
387	じどうしゃ	自動車
388	しにー	死ぬ
389	じぶん	自分
390	しま	島
391	じむ	事務
392	しめー	閉める
393	しゃ	～者
394	しゃかい	社会
395	しゃしん	写真
396	しゅう	週
397	じゅう	自由
398	じゅう	十
399	しゅうかん	週間
400	じゅうしょ	住所
401	しゅうしょくご	修飾語
402	じゅうぶん	十分
403	じゅぎょう	授業
404	しゅご	主語
405	しゅしょう	首相

	語彙	----
406	じゅつご	述語
407	しゅっせき	出席
408	しゅっぱつ	出発
409	しゅるい	種類
410	しょうかい	紹介
411	しょうがつ	正月
412	しょうがっこう	小学校
413	じょうきゅう	上級
414	しょうぎょう	商業
415	じょうけん	条件
416	しょうご	正午
417	じょうず	上手
418	しょうばい	商売
419	じょうぶ	丈夫
420	しょうわ	昭和
421	しょきゅう	初級
422	しょくぎょう	職業
423	しょくぶつ	植物
424	じょし	助詞
425	じょせい	女性
426	じょどうし	助動詞
427	しらべー	調べる
428	しりー	知る
429	しるし	印
430	しろい	白い
431	じん	～人
432	じんこう	人口
433	しんじー	信じる
434	じんじゃ	神社
435	しんせつ	親切
436	しんぞう	心臓
437	しんばい	心配
438	しんぶん	新聞
439	ず	図
440	ずいぶん	随分
441	すいよう	水曜
442	すう	数
443	すうじ	数字
444	すがた	姿
445	すき	好き
446	すぎー	過ぎる
447	すぐ	すぐ
448	すくない	少ない
449	すこし	少し
450	すずき	鈴木

	語彙	――
451	すずしい	涼しい
452	すすみ――	進む
453	ずつ	ずつ
454	すて――	捨てる
455	ずぼん	ズボン
456	すみ――	住む
457	すみ――	済む
458	すわり――	座る
459	せい	性
460	せいかく	正確
461	せいかつ	生活
462	せいこう	成功
463	せいじ	政治
464	せいしつ	性質
465	せいせき	成績
466	せいと	生徒
467	せいふ	政府
468	せいよう	西洋
469	せかい	世界
470	せきゆ	石油
471	ぜったい	絶対
472	ぜつめい	説明
473	せなか	背中
474	せまい	狭い
475	せめ――	攻める
476	ゼロ	ゼロ
477	せん	線
478	せん	千
479	せんきょ	選挙
480	せんせい	先生
481	せんそう	戦争
482	せんち	センチ
483	ぜんぶ	全部
484	せんもん	専門
485	そう	そう〈副〉
486	そう	そう〈感〉
487	そうだん	相談
488	そこ	そこ
489	そだち――	育つ
490	そつぎょう	卒業
491	そっち	そっち
492	そと	外
493	その	その
494	そら	空
495	それ	それ

	語彙	――
496	それから	それから
497	それぞれ	それぞれ
498	それん	ソ連
499	そろい――	そろう
500	そんざい	存在
501	そんな	そんな
502	だ	だ
503	た(だ)	た(だ)
504	だい	第～
505	だいがく	大学
506	たいし――	対する
507	たいせつ	大切
508	だいたい	大体
509	たいど	態度
510	だいどころ	台所
511	だいふ	大分
512	たいへん	大変
513	たいよう	太陽
514	たいようしゅう	大洋州
515	たおし――	倒す
516	たかい	高い
517	たかはし	高橋
518	たき――	炊く
519	だき――	抱く
520	たく	たい
521	だけ	だけ
522	たし――	足す
523	だし――	出す
524	たしか	確か
525	たすけ――	助ける
526	たずね――	尋ねる
527	だずね――	訪ねる
528	ただ	ただ
529	たたかい――	戦う
530	ただしい	正しい
531	たち	～たち
532	たち――	経つ
533	たち――	立つ
534	たち――	建つ
535	たて	縦
536	たとえば	例えば
537	たなか	田中
538	たのしい	楽しい
539	たのしみ――	楽しむ
540	たばこ	タバコ

	語彙	――
541	たびたび	たびたび
542	たべー	食べる
543	ため	ため〔為〕
544	だめ	だめ
545	ためー	ためる〔溜・貯〕
546	たり（だり）	たり（だり）
547	たりー	足りる
548	だれ	だれ〔誰〕
549	たんすう	単数
550	だんせい	男性
551	ち	血
552	ちいさい	小さい
553	ちかい	近い
554	ちがいー	違う
555	ちから	力
556	ちきゅう	地球
557	ちち	父
558	ちゃ	茶
559	ちゃいろい	茶色い
560	ちゅうい	注意
561	ちゅうがっこう	中学校
562	ちゅうきゅう	中級
563	ちゅうごく	中国（地方）
564	ちゅうごく	中国（国）
565	ちゅうぶ	中部
566	ちょう	長
567	ちょうせん	朝鮮
568	ちょうど	ちょうど
569	ちよくせつ	直接
570	ちよっと	ちよっと
571	ちりー	散る
572	つうやく	通訳
573	つかいー	使う
574	つかれー	疲れる
575	つき	月
576	つぎ	次
577	つきー	着く
578	つきー	付く
579	つきー	突く
580	つくえ	机
581	つくりー	作る
582	つたえー	伝える
583	つづきー	続く
584	つつみー	包む
585	つとめー	勤める

	語彙	――
586	つま	妻
587	つみ	罪
588	つみー	積む
589	つめたい	冷たい
590	つよい	強い
591	つれー	連れる
592	て	手
593	で	で
594	て（で）	て（で）
595	でー	出る
596	ていど	程度
597	ていねい	ていねい
598	てがみ	手紙
599	てき	敵
600	てき	～的
601	できー	できる
602	です	です
603	でも	でも
604	ても（でも）	ても（でも）
605	てら	寺
606	てれび	テレビ
607	てん	点
608	てんき	天気
609	でんき	電気
610	でんしゃ	電車
611	でんわ	電話
612	と	戸
613	と	と
614	どいつ	ドイツ
615	どう	どう
616	とうきょう	東京
617	どうし	動詞
618	とうぜん	当然
619	どうぞ	どうぞ
620	どうぶつ	動物
621	とうほく	東北
622	どうも	どうも
623	とうよう	東洋
624	とおい	遠い
625	とおしー	通す
626	とおり	通り
627	とおりー	通る
628	とき	時
629	ときどき	ときどき
630	とくに	特に

	語彙	――
631	とくべつ	特別
632	とけい	時計
633	どこ	どこ
634	ところ	所
635	とし	年
636	どじ――	閉じる
637	どっち	どっち
638	とどき――	届く
639	とどけ――	届ける
640	となり	隣り
641	どの	どの
642	とび――	飛ぶ
643	ともだち	友だち
644	どよう	土曜
645	とり	鳥
646	とり――	取る
647	どれ	どれ
648	どんな	どんな
649	な	な
650	ない	ない
651	なおし――	直す
652	なおし――	治す
653	なか	中
654	ながい	長い
655	ながさき	長崎
656	なかなか	なかなか
657	なかむら	中村
658	ながら	ながら
659	ながれ――	流れる
660	なき――	泣・鳴く
661	なごや	名古屋
662	なさい――	なさる
663	なぜ	なぜ
664	なつ	夏
665	など	など
666	ななめ	斜め
667	なに	何
668	なにか	何か
669	なまえ	名前
670	なら	奈良
671	ならい――	習う
672	ならび――	並ぶ
673	なり――	鳴る
674	なり――	なる〔成〕
675	なるべく	なるべく

	語彙	――
676	なれ――	慣れる
677	なんど	何度
678	に	二
679	に	に
680	に――	似る
681	に――	煮る
682	にぎやか	にぎやか
683	にく	肉
684	にくい	憎い
685	にくみ――	憎む
686	にげ――	逃げる
687	にし	西
688	にち	～日
689	にちよう	日曜
690	にっぽん	日本
691	にゅうよおく	ニューヨーク
692	にん	～人
693	ぬい――	縫う
694	ぬき――	抜く
695	ぬぎ――	脱ぐ
696	ぬすみ――	盗む
697	ぬり――	塗る
698	ね（ねえ）	ね（ねえ）
699	ね――	寝る
700	ねがい――	願う
701	ねつ	熱
702	ねっしん	熱心
703	ねむい	眠い
704	ねむり――	眠る
705	ねん	年
706	ねんりよう	燃料
707	の	の
708	のうぎよう	農業
709	のうりよく	能力
710	のこり――	残る
711	ので	ので
712	のど	のど
713	のに	のに
714	のび――	延・伸びる
715	のぼり――	上・登・昇る
716	のみ――	飲む
717	のり――	乗る
718	は	葉
719	は	歯
720	は	は

	語彙	――
721	ば	ば
722	ばあい	場合
723	はい	はい〈感〉
724	ばい	倍
725	はいり――	入る
726	はえ――	生える
727	ばか	ばか
728	はがき	はがき
729	ばかり	ばかり
730	はかり――	計・測・量る
731	はこび――	運ぶ
732	はじ	恥
733	はじまり――	始まる
734	はじめ	始め・初め
735	はしり――	走る
736	ばす	バス
737	はずれ――	外れる
738	はた	旗
739	はたらき――	働く
740	はち	八
741	はつきり	はつきり
742	はな	花
743	はな	鼻
744	はなし――	話す
745	はなれ――	放・離れる
746	はは	母
747	はば	幅
748	はやい	速い
749	はやい	早い
750	はら	腹
751	はらい――	払う
752	ばり	バリ
753	はる	春
754	はれ――	晴れる
755	はわい	ハワイ
756	はん	反～
757	ばん	晩
758	ばん	番
759	ばん	パン
760	ばんごう	番号
761	はんたい	反対
762	はんぶん	半分
763	ひ	日
764	ひ	非～
765	ひ	火

	語彙	――
766	ひがい	被害
767	ひがし	東
768	ひかり――	光る
769	ひき――	引く
770	ひくい	低い
771	ひこうき	飛行機
772	ひざ	ひざ〔膝〕
773	びざ	ビザ
774	ひじょう	非常
775	ひだり	左
776	ひつよう	必要
777	ひてい	否定
778	ひと	人
779	ひとしい	等しい
780	ひとつ	一つ
781	ひとり	ひとり
782	ひびき――	響く
783	ひま	暇
784	ひゃく	百
785	ひょう	表
786	びょう	秒
787	びょういん	病院
788	びょうき	病気
789	ひらがな	ひらがな
790	ひらき――	開く
791	ひる	昼
792	ひろい	広い
793	ひろい――	拾う
794	ひろがり――	広がる
795	ひろしま	広島
796	びんぼう	貧乏
797	ふ・ぶ	不～
798	ふかい	深い
799	ふき――	吹く
800	ふくおか	福岡
801	ふくすう	複数
802	ふくみ――	含む
803	ふじ	無事
804	ふしぎ	不思議
805	ふせぎ――	防ぐ
806	ふたつ	二つ
807	ふたり	ふたり
808	ふつう	普通
809	ふとい	太い
810	ふね	船・舟

	語彙	――
811	ふゆ	冬
812	ふらんす	フランス
813	ふり――	降る
814	ふるい	古い
815	ぶん	分
816	ぶん	文
817	ぶんか	文化
818	ぶんがく	文学
819	ぶんしょう	文章
820	ぶんぼう	文法
821	へ	へ
822	へいきん	平均
823	へいわ	平和
824	ぺえじ	ページ
825	ぺぎん	北京
826	へた	下手
827	へや	部屋
828	べるりん	ベルリン
829	ぺん	ペン
830	ぺんきょう	勉強
831	へんじ	返事
832	ぺんじょ	便所
833	ぺんとう	弁当
834	ほう	方
835	ほうえき	貿易
836	ほうそう	放送
837	ほうほう	方法
838	ほうぼう	方々
839	ほか	外
840	ぼく	ぼく [僕]
841	ほし	星
842	ほしい	欲しい
843	ほそい	細い
844	ほっかいどう	北海道
845	ほてる	ホテル
846	ほど	ほど [程]
847	ほとんど	ほとんど
848	ほね	骨
849	ほめ――	ほめる [褒]
850	ほり――	掘る
851	ほん	本
852	ほん	～本
853	ほんとう	本当
854	ほんやく	翻訳
855	ぼんやり	ぼんやり

	語彙	――
856	まい	～枚
857	まいり――	まいる
858	まえ	前
859	まき――	巻く
860	まけ――	負ける
861	まご	孫
862	まじり――	交・混じる
863	ます	ます
864	まず	まず [先]
865	まずい	まずい
866	また	また [又]
867	まだ	まだ [未]
868	または	または
869	まち――	待つ
870	まちがい――	間違う
871	まったく	全く
872	まで	まで
873	まど	窓
874	まま	まま
875	まもり――	守る
876	まる	丸
877	まわり――	回る
878	まん	万
879	み	未
880	み	～み (おもしろ～)
881	み――	見る
882	みかた	味方
883	みぎ	右
884	みじかい	短い
885	みず	水
886	みせ	店
887	みち	道
888	みつつ	三つ
889	みどり	緑
890	みな	皆
891	みなみ	南
892	みみ	耳
893	みり	ミリ
894	む	無
895	むかえ――	迎える
896	むかし	昔
897	むし	虫
898	むずかしい	むずかしい
899	むすこ	息子
900	むすび――	結ぶ

	語彙	――
901	むすめ	娘
902	むだ	むだ
903	むね	胸
904	め	目
905	め	～目
906	めいれい	命令
907	めえとる	メートル
908	めがね	眼鏡
909	めずらしい	珍しい
910	めでたい	めでたい
911	も	も
912	もう	もう
913	もえ――	燃える
914	もくよう	木曜
915	もし	もし
916	もしもし	もしもし
917	もすくわ	モスクワ
918	もち――	持つ
919	もっと	もっと
920	もっとも	もっとも
921	もどり――	戻る
922	もの	者
923	もの	物・もの
924	もらい――	もらう
925	もんだい	問題
926	や	や
927	や	～屋
928	やき――	焼く
929	やさしい	やさしい [易]
930	やすい	安い
931	やすみ――	休む
932	やぶり――	破る
933	やま	山
934	やまだ	山田
935	やまもと	山本
936	やめ――	やめる
937	やり――	やる
938	ゆ	湯
939	ゆうがた	夕方
940	ゆうびん	郵便
941	ゆうめい	有名
942	ゆき	雪
943	ゆび	指
944	ゆるし――	許す
945	ゆれ――	揺れる

	語彙	――
946	よ	よ
947	よい	良い
948	よう	よう [様] だ
949	ようす	ようす [様子]
950	ようふく	洋服
951	よおろっぱ	ヨーロッパ
952	よく	欲
953	よこ	横
954	よこはま	横浜
955	よしだ	吉田
956	よそ	よそ
957	よび――	呼ぶ
958	よみ――	読む
959	より	より
960	よる	夜
961	よろこび――	喜ぶ
962	よわい	弱い
963	らいねん	来年
964	らしい	らしい
965	らじお	ラジオ
966	りく	陸
967	りそう	理想
968	りっとる	リットル
969	りっぱ	立派
970	りゆう	理由
971	りゆうがく	留学
972	りようほう	両方
973	りょけん	旅券
974	りょこう	旅行
975	るす	留守
976	れい	例
977	れい	零
978	れんしゅう	練習
979	ろおま	ローマ
980	ろおまじ	ローマ字
981	ろく	六
982	ろくおん	録音
983	ろんどん	ロンドン
984	ろんり	論理
985	わ	わ
986	わかい	若い
987	わかり――	わかる
988	わかれ――	別れる
989	わけ	訳・わけ
990	わけ――	分ける

第二千語

	語彙	---
991	わしんとん	ワシントン
992	わすれ---	忘れる
993	わたし	わたし
994	わたなべ	渡辺
995	わらい---	笑う
996	わり---	割る
997	わるい	悪い
998	われわれ	我々
999	を	を
1000	ん	ん

	語彙	---
1	あい---	合う
2	あいし---	愛する
3	あくしゅ	握手
4	あけ---	明ける
5	あご	〔顎〕
6	あさって	〔明後日〕
7	あずけ---	預ける
8	あせ	汗
9	あたり	辺り
10	あつかい---	扱う
11	あてな	あて名
12	あてね	アテネ
13	あな	穴
14	あばあと	アパート
15	あまり	あまり
16	あみ	網
17	あみ---	編む
18	あやしい	怪しい
19	あらゆる	あらゆる
20	あらわれ---	現れる
21	あるこおる	アルコール
22	あるぜんちん	アルゼンチン
23	あわて---	あわてる
24	あんしん	安心
25	あんぜん	安全
26	あんない	案内
27	いいん	委員
28	いか	以下
29	いがい	以外
30	いきおい	勢い
31	いけ	池
32	いけだ	池田
33	いけん	意見
34	いさましい	勇ましい
35	いしかわ	石川
36	いじょう	以上
37	いじょう	異常
38	いた	板
39	いたい	痛い
40	いたし---	いたす
41	いち	位置
42	いちば	市場
43	いっしょ	一緒
44	いっしょう	一生
45	いっしょうけんめい	一生懸命

	語彙	---
46	いつつ	五つ
47	いっぱん	一般
48	いと	糸
49	いとこ	〔従兄弟・従姉妹〕
50	いない	以内
51	いなか	〔田舎〕
52	いね	稲
53	いはん	違反
54	いや	〔厭〕
55	いらく	イラク
56	いらっしやい---	いらっしやる
57	いらん	イラン
58	いろいろ	〔色々〕
59	いわ	岩
60	いんさつ	印刷
61	いんしょう	印象
62	いんど	インド
63	いんどねしあ	インドネシア
64	うえ---	植える
65	うけつけ---	受け付ける
66	うし	牛
67	うたがい---	疑う
68	うち---	うつ〔射つ〕〔撃つ〕
69	うちだ	内田
70	うちゅう	宇宙
71	うつし---	写す
72	うったえ---	訴える
73	うま	馬
74	うるさい	うるさい〔煩〕
75	うわぎ	上着
76	うわさ	〔噂〕
77	うん	うん
78	うんてん	運転
79	うんどう	運動
80	うんめい	運命
81	えいが	映画
82	えいきょう	影響
83	えいこく	英国
84	えいよう	栄養
85	えき	液
86	えきたい	液体
87	えじぶと	エジプト
88	えだ	枝
89	えど	江戸
90	えんじん	エンジン

	語彙	---
91	えんとつ	煙突
92	えんぴつ	鉛筆
93	えんりょ	遠慮
94	おうしゅう	欧州
95	おうよう	応用
96	おおい---	おおう〔覆〕
97	おおくら	大蔵
98	おおすとらりあ	オーストラリア
99	おおすとリア	オーストリア
100	おかげ	〔お陰〕
101	おかだ	岡田
102	おかやま	岡山
103	おがわ	小川
104	おく	奥
105	おくり---	贈る
106	おくりがな	送りがな
107	おくれ---	遅れる
108	おこない---	行う
109	おじ	〔伯・叔父〕〔小父〕
110	おしい	惜しい
111	おじぎ	おじぎ
112	おそれ---	恐れる
113	おっしやい---	おっしやる
114	おととい	〔一昨日〕
115	おとなしい	おとなしい〔大人〕
116	おどり---	踊る
117	おなか	おなか
118	おば	〔伯・叔母〕〔小母〕
119	おめでとう	おめでとう
120	おやすみ	〔お休み〕
121	およぎ---	泳ぐ
122	おらんだ	オランダ
123	おり---	織る
124	おん	恩
125	おんがく	音楽
126	おんせつ	音節
127	おんど	温度
128	かいがん	海岸
129	かいぎ	会議
130	がいこう	外交
131	かいしゃく	解釈
132	がいじん	外人
133	かいだん	階段
134	がいらいご	外来語
135	かいろ	カイロ

	語彙	――
136	かいわ	会話
137	かえし――	返す
138	かがく	化学
139	かがみ	鏡
140	かかり	係
141	かき――	かく [搔]
142	かぎ――	かぐ [嗅]
143	かきとめ	書留
144	かぎり――	限る
145	がくい	学位
146	がくし	学士
147	かくめい	革命
148	かくれ――	隠れる
149	かげ	影 [陰]
150	かこ	過去
151	かごしま	鹿児島
152	かこみ――	囲む
153	かさ	傘
154	かさなり――	重なる
155	かざり――	飾る
156	かじ	火事
157	がす	ガス
158	かぜ	[風邪]
159	かせぎ――	稼ぐ
160	かた	方
161	かた	型
162	かたな	刀
163	かたまり――	固まる
164	かたむき――	傾く
165	かち	価値
166	がっき	学期
167	かつぎ――	かつぐ [担]
168	かつよう	活用
169	かてい	家庭
170	かてい	課程
171	かど	角
172	かなざわ	金沢
173	かなしい	悲しい
174	かのう	可能
175	かべ	壁
176	かまくら	鎌倉
177	かみ	神
178	かみ	髪
179	かみ――	かむ [噛]
180	かめら	カメラ

	語彙	――
181	かよい――	通う
182	からい	辛い
183	がらす	ガラス
184	かり	仮
185	かれ――	枯れる
186	かわ	皮
187	がわ	側
188	かわいい	かわいい
189	かわいそう	かわいそう
190	かわき――	乾く
191	かわせ	為替
192	かん	管
193	かん	缶
194	かんかく	感覚
195	かngo	漢語
196	かんこく	韓国
197	かんしゃ	感謝
198	かんじょう	感情
199	かんじょう	勘定
200	かんしん	感心
201	かんぜん	完全
202	かんたん	簡単
203	かんづめ	缶詰め
204	かんどうし	感動詞
205	かんばん	看板
206	かんり	管理
207	きおく	記憶
208	ぎかい	議会
209	きかん	期間
210	きけん	危険
211	きこう	気候
212	きし	岸
213	きしつ	気質
214	きしゃ	汽車
215	きず	傷
216	きすう	奇数
217	きそ	基礎
218	きそく	規則
219	きたい	気体
220	きたない	汚い
221	きつと	きつと
222	きねん	記念
223	きびしい	厳しい
224	きふ	寄附
225	きぼう	希望

	語彙	――
226	きまり――	決まる
227	きみ	君
228	ぎむ	義務
229	きむら	木村
230	きもの	着物
231	ぎもん	疑問
232	きゃっかん	客観
233	きゆう	急
234	きゆうこう	急行
235	ぎゆうにく	牛肉
236	ぎゆうにゆう	牛乳
237	ぎよう	行
238	きようかい	教会
239	きようかしよ	教科書
240	きようきゆう	供給
241	きようそう	競争
242	きようつう	共通
243	きようどう	共同
244	きようよう	教養
245	きより	距離
246	きり	霧
247	ぎり	義理
248	きりすときょう	キリスト教
249	きれ	きれ〔布〕
250	きろく	記録
251	ぎんざ	銀座
252	きんし	禁止
253	きんじょ	近所
254	きんぞく	金属
255	く	区
256	くあらるんぶうる	クアラルンプール
257	ぐうすう	偶数
258	くき	茎
259	くぎ	釘
260	くさり――	腐る
261	くずれ――	崩れる
262	くせ	癖
263	ぐたいてき	具体的
264	くだもの	果物
265	くちびる	唇
266	くつした	靴下
267	くばり――	配る
268	くふう	工夫
269	くやしい	悔しい
270	くらし――	暮らす

	語彙	――
271	ぐるうぶ	グループ
272	くろう	苦勞
273	くわえ――	加える
274	くわしい	詳しい
275	くわだて――	企てる
276	くん	～君
277	ぐん	軍
278	けいえい	経営
279	けいかく	計画
280	けいき	景気
281	けいこう	傾向
282	けいさつ	警察
283	げいじゅつ	芸術
284	けが	怪我
285	げき	劇
286	けし――	消す
287	けしき	景色
288	げしゆく	下宿
289	けしょう	化粧
290	けずり――	削る
291	けっか	結果
292	けっきよく	結局
293	けっこう	結構
294	けっしん	決心
295	けつろん	結論
296	げり	下痢
297	けり――	蹴る
298	けれども	けれども
299	けん	県
300	げんいん	原因
301	けんか	けんか
302	げんかい	限界
303	げんかん	玄関
304	げんこう	原稿
305	けんさ	検査
306	げんざい	現在
307	げんそ	元素
308	げんそく	原則
309	げんだい	現代
310	けんちく	建築
311	けんぼう	憲法
312	けんり	権利
313	ご	御～
314	こい	恋
315	こうえん	公園

	語彙	――
316	こうえん	講演
317	こうか	効果
318	こうかん	交換
319	こうきょう	公共
320	こうきょう	鉱業
321	こうくう	航空
322	こうくうびん	航空便
323	こうげき	攻撃
324	こうこく	広告
325	こうさい	交際
326	こうし	講師
327	こうじ	工事
328	こうちゃ	紅茶
329	こうつう	交通
330	こうへい	公平
331	こえ――	越える
332	こえ――	肥える
333	こおひい	コーヒー
334	こおり	氷
335	こおり――	凍る
336	ごかい	誤解
337	こぎゅう	呼吸
338	こきょう	故郷
339	こくご	国語
340	こくてつ	国鉄
341	こくばん	黒板
342	こくもつ	穀物
343	ここのつ	九つ
344	こころみ――	試みる
345	こし	腰
346	こし――	越す
347	こしょう	故障
348	こすり――	こする
349	こそ	こそ
350	こたい	固体
351	こづつみ	小包
352	こっぷ	コップ
353	こてん	古典
354	ごと	[毎]
355	こな	粉
356	こまかい	細かい
357	ごみ	ごみ
358	こみ――	混む
359	ごむ	ゴム
360	こよみ	暦

	語彙	――
361	ころがり――	転がる
362	こんちゅう	こん[昆]虫
363	こんど	今度
364	さ	差
365	さい	際
366	さいきん	最近
367	さいさん	財産
368	さいそく	催促
369	さいばん	裁判
370	さいふ	財布
371	ざいりょう	材料
372	ざいん	サイン
373	さかな	魚
374	さぎょう	作業
375	さくら	桜
376	さけ――	避ける
377	さけび――	叫ぶ
378	さじ	[匙]
379	させ――	させる
380	さそい――	誘う
381	さとう	砂糖
382	さら	皿
383	さる	猿
384	さわぎ――	騒ぐ
385	さわり――	触る
386	さんこう	参考
387	ざんねん	残念
388	さんぱうろ	サンパウロ
389	し	市
390	し	詩
391	しかた	仕方
392	しかり――	叱る
393	しき	式
394	しき――	敷く
395	じけん	事件
396	ししゅつ	支出
397	じしん	地震
398	じしん	自信
399	しずみ――	沈む
400	しそう	思想
401	したがって	[従って]
402	したぎ	下着
403	したく	仕度
404	しっかり	しっかり
405	じつげん	実現

	語彙	――
406	じつは	実は
407	しっぱい	失敗
408	しつれい	失礼
409	しはい	支配
410	しばらく	しばらく
411	しばり――	縛る
412	しぶい	渋い
413	しほん	資本
414	じまん	自慢
415	しみず	清水
416	しみん	市民
417	しめ――	締める
418	しゃ	社
419	じゃかるた	ジャカルタ
420	しゃつ	シャツ
421	じゅう	～中
422	しゅうかん	習慣
423	しゅうきょう	宗教
424	しゅうし	修士
425	しゅうにゅう	収入
426	じゅうよう	重要
427	しゅかん	主観
428	しゅぎ	主義
429	しゅくだい	宿題
430	じゅけん	受験
431	しゅじゅつ	手術
432	しゅちょう	主張
433	じゅねえぶ	ジュネーブ
434	しゅみ	趣味
435	じゅよう	需要
436	じゅん	順
437	じゅんぴ	準備
438	しょう	省
439	しょうきよく	消極
440	しょうじき	正直
441	じょうしき	常識
442	しょうじょ	少女
443	しょうせつ	小説
444	しょうたい	招待
445	じょうたい	状態
446	しょうとつ	衝突
447	しょうねん	少年
448	しょうひ	消費
449	しょうひん	商品
450	しょうべん	小便

	語彙	――
451	しょうめい	証明
452	じょうやく	条約
453	しょうゆ	しょう油
454	しょうらい	将来
455	しょくじ	食事
456	しょくどう	食堂
457	しんがぼおる	シンガポール
458	しんけい	神経
459	しんこう	信仰
460	じんこう	人工
461	しんしつ	寝室
462	じんせい	人生
463	しんとう	神道
464	しんねん	新年
465	しんぽ	進歩
466	しんよう	信用
467	しんるい	親類
468	すい――	吸う
469	すいえい	水泳
470	すいす	スイス
471	すいせん	推薦
472	すいどう	水道
473	すうがく	数学
474	すうぶ	スープ
475	すかあと	スカート
476	すぎ	過ぎ
477	すごし――	過ごす
478	ずっと	ずっと
479	すっぱい	すっぱい
480	すとおふ	ストーブ
481	すとらいき	ストライキ
482	すな	砂
483	すなお	素直
484	すなわち	すなわち
485	すばらしい	素晴らしい
486	すべいん	スペイン
487	すべり――	滑る
488	すばおつ	スポーツ
489	すまい	住まい
490	すみ	隅
491	ずるい	ずるい
492	すると	すると
493	するどい	鋭い
494	せい	姓
495	せい	背

	語彙	――
496	ぜい	税
497	せいかく	性格
498	せいじょう	正常
499	せいしん	精神
500	ぜいたく	ぜいたく
501	せいど	制度
502	せいねん	青年
503	せいぶつ	生物
504	せいら	生理
505	せいら	整理
506	せき	〔咳〕
507	せき	席
508	せきたん	石炭
509	せきにん	責任
510	せっきよく	積極
511	せっけん	石けん
512	せつぞくし	接続詞
513	ぜひ	是非
514	せびろ	背広
515	せわ	世話
516	ぜん	前
517	せんこう	専攻
518	ぜんこく	全国
519	せんしゅ	選手
520	せんだい	仙台
521	ぜんたい	全体
522	せんたく	洗たく
523	ぞ	ぞ
524	そい――	沿う
525	そう	相
526	そうごう	総合
527	そうじ	掃除
528	そうしき	葬式
529	そうぞう	想像
530	そうりょうじ	総領事
531	そうる	ソウル
532	そくたつ	速達
533	そこ	底
534	そこで	そこで
535	そしき	組織
536	そして	そして
537	そのうえ	そのうえ
538	そば	傍
539	そん	損
540	そんけい	尊敬

	語彙	――
541	た	田
542	たい	タイ
543	だい	題
544	たいけい	体系
545	たいし	大使
546	だいじょうぶ	大丈夫
547	だいじん	大臣
548	たいそう	体操
549	たいてい	大抵
550	たいふ	タイプ
551	たいふう	台風
552	だいべん	大便
553	だいめいし	代名詞
554	たいら	平ら
555	たいわん	台湾
556	だから	だから
557	たくさん	沢山
558	たくしい	タクシー
559	ただ	ただ
560	ただし	但し
561	たたみ	畳
562	たちば	立場
563	たてもの	建物
564	たとえ――	例える
565	たな	棚
566	たに	谷
567	たにん	他人
568	たね	種
569	たのみ――	頼む
570	たば	束
571	たび	〔度〕
572	たぶん	多分
573	たべもの	食べ物
574	たま	玉
575	たまご	卵
576	だまし――	だます
577	だまり――	黙る
578	ためし――	試す
579	たもち――	保つ
580	たより――	頼る
581	たら	たら
582	たんい	単位
583	たんか	短歌
584	だんかい	段階
585	たんご	単語

	語彙	――
586	たんじょうび	誕生日
587	だんたい	団体
588	だんだん	だんだん
589	ちかてつ	地下鉄
590	ちしき	知識
591	ちず	地図
592	ちつじょ	秩序
593	ちほう	地方
594	ちやわん	茶わん
595	ちゃんと	ちゃんと
596	ちゅう	中
597	ちゅうおう	中央
598	ちゅうし	中止
599	ちゅうしゃ	注射
600	ちゅうしょうてき	抽象的
601	ちゅうしん	中心
602	ちゅうもん	注文
603	ちょうし	調子
604	ちょうしょ	長所
605	ちょうじょう	頂上
606	ちょぎん	貯金
607	ちり	地理
608	ついで	[序]
609	つうか	通貨
610	つうじ――	通じる
611	つかまえ――	つかまえる
612	つごう	都合
613	つち	土
614	つながり――	つながる
615	つぶれ――	つぶれる
616	つまらない	つまらない
617	つまり	つまり
618	つめ	爪
619	つめ――	詰める
620	つもり	つもり
621	つらい	つらい
622	つりあい――	釣り合う
623	で	で〈接続詞〉
624	ていきょう	提供
625	ていせい	訂正
626	でかけ――	出掛ける
627	てきとう	適当
628	でざいん	デザイン
629	てつ	鉄
630	てつがく	哲学

	語彙	――
631	てつだい――	手伝う
632	てつどう	鉄道
633	てっぽう	鉄砲
634	でばあと	デパート
635	てぶくろ	手袋
636	てり――	照る
637	でりい	デリー
638	でんし	電子
639	てんじょう	天井
640	でんとう	電灯
641	てんのう	天皇
642	でんぼう	電報
643	と	都
644	ど	度
645	とい――	問う
646	とう	党
647	どうか	どうか
648	どうぐ	道具
649	どうじ	同時
650	どうして	どうして
651	どうじょう	同情
652	とうせん	当選
653	とうとう	とうとう
654	どうとく	道徳
655	とお	十
656	とか	とか
657	とかい	都会
658	とき――	解く
659	とく	得
660	とくちょう	特徴
661	どくりつ	独立
662	とけ――	溶ける
663	ところが	ところが
664	ところで	ところで
665	とち	土地
666	とちゅう	途中
667	とても	とても
668	とまり――	泊まる
669	とまり――	止まる
670	とも	とも
671	どりよく	努力
672	とるこ	トルコ
673	どろぼう	泥棒
674	ないふ	ナイフ
675	ないよう	内容

	語彙	---
676	なお	なお
677	なかじま	中島
678	ながめ---	眺める
679	なげ---	投げる
680	なつかしい	懐かしい
681	ななつ	七つ
682	なべ	なべ
683	なみ	波
684	なみだ	涙
685	なめらか	なめらか
686	なやみ---	悩む
687	なり	なり
688	なるほど	なるほど
689	なんきよく	南極
690	なんべい	南米
691	にいがた	新潟
692	にいさん	兄さん
693	におい---	におう
694	にがい	苦い
695	にぎり---	握る
696	にこにこ	にこにこ
697	にせ	贋
698	につき	日記
699	にっこう	日光
700	にもつ	荷物
701	にゅうじいらんど	ニュージーランド
702	にゅうず	ニュース
703	にわ	庭
704	にわとり	鶏
705	にんき	人気
706	にんぎょう	人形
707	にんじょう	人情
708	にんしん	妊娠
709	ぬれ---	ぬれる
710	ね	根
711	ねえさん	姉さん
712	ねくたい	ネクタイ
713	ねこ	猫
714	ねだん	値段
715	の	野
716	のう	脳
717	のうじょう	農場
718	のおと	ノート
719	は	刃
720	はいく	俳句

	語彙	---
721	はか	墓
722	はき---	履く
723	はき---	掃く
724	はき---	吐く
725	ばきすたん	パキスタン
726	はくし	博士
727	ばくはつ	爆発
728	はげしい	激しい
729	はこ	箱
730	はこね	箱根
731	はさみ	はさみ
732	はし	端
733	はし	箸
734	はし	橋
735	はじめて	初・始めて
736	はしもと	橋本
737	ばしょ	場所
738	はしら	柱
739	はず	〔筭〕
740	はずかしい	恥ずかしい
741	はせがわ	長谷川
742	はだ	肌
743	はだか	裸
744	はたけ	畑
745	はつおん	発音
746	はっけん	発見
747	はっこう	発行
748	はったつ	発達
749	はってん	発展
750	はっぴょう	発表
751	はつめい	発明
752	はね	羽
753	ばね	ばね
754	はやし	林
755	はやし	林〈人名〉
756	はら	原
757	はり	針
758	はるか	はるか
759	はんい	範囲
760	はんかち	ハンカチ
761	ばんこく	バンコク
762	はんだん	判断
763	ばんち	番地
764	はんにな	犯人
765	びいる	ビール

	語彙	---
766	ひえー	冷える
767	ひき	匹
768	ひきー	弾く
769	ひげ	ひげ
770	ひさしふり	久しふり
771	びじゅつ	美術
772	ひしょ	秘書
773	びっくり	びっくり
774	ひっこしー	引越す
775	ひっぱりー	引張る
776	ひどい	ひどい
777	ひとびと	人々
778	ひふ	皮膚
779	ひみつ	秘密
780	ひも	ひも
781	ひょうげん	表現
782	ひょうじゅん	標準
783	ひょうじゅんご	標準語
784	ひょうじょう	表情
785	びょうどう	平等
786	ひょうばん	評判
787	ひりびん	ヒリピン
788	びん	瓶
789	ふ	府
790	ぶ	部
791	ふあん	不安
792	ふうふ	夫婦
793	ふえー	増える [殖]
794	ふきー	拭く
795	ふくざつ	複雑
796	ふくし	副詞
797	ふくそう	服装
798	ふくろ	袋
799	ふこう	不幸
800	ふじさん	富士山
801	ぶた	豚
802	ふだん	普段
803	ぶっきょう	仏教
804	ぶっしつ	物質
805	ぶつり	物理
806	ふとん	蒲団
807	ぶぶん	部分
808	ふべん	不便
809	ふみー	踏む
810	ぶらじる	ブラジル

	語彙	---
811	ふりー	振る
812	ふろ	ふろ
813	ぶんめい	文明
814	へい	塀
815	へいき	平気
816	べいこく	米国
817	べし	べし
818	べっど	ベッド
819	へび	蛇
820	へりー	減る
821	べる	ベル
822	べるぎい	ベルギー
823	へん	辺
824	へん	変
825	へんか	変化
826	べんり	便利
827	ぼう	棒
828	ほうこう	方向
829	ほうこく	報告
830	ぼうし	帽子
831	ほうしん	方針
832	ほうせき	宝石
833	ほうそく	法則
834	ほうめん	方面
835	ほうりつ	法律
836	ほお	頬
837	ぼおと	ボート
838	ぼおる	ボール
839	ぼけっと	ポケット
840	ほこり	埃
841	ほしー	干す
842	ほしゅう	募集
843	ぼたん	ボタン
844	ほっきょく	北極
845	ほとけ	仏
846	ぼるとがる	ボルトガル
847	ほんこん	ホンコン
848	ほんしゅう	本州
849	ぼんぷ	ポンプ
850	まい	まい
851	まいにち	毎日
852	まがりー	曲がる
853	まきー	撒く
854	まきー	蒔く
855	まくら	枕

	語彙	――
856	まじめ	真面目
857	まずしい	貧しい
858	ますます	ますます
859	まち	町
860	まっすぐ	真っ直ぐ
861	まっち	マッチ
862	まつもと	松本
863	まつやま	松山
864	まとめ――	まとめる
865	まにあい――	間に合う
866	まにら	マニラ
867	まね	真似
868	まねき――	招く
869	まめ	豆
870	まれえしあ	マレーシア
871	まんいん	満員
872	まんぞく	満足
873	まんなか	真ん中
874	まんねんひつ	万年筆
875	み	実
876	みおくり――	見送る
877	みがき――	磨く
878	みかん	みかん
879	みずうみ	湖
880	みそ	味噌
881	みたい	みたい
882	みちびき――	導く
883	みとめ――	認める
884	みなと	港
885	みぶん	身分
886	みまい	見舞う
887	みやげ	土産
888	みらい	未来
889	みりよく	魅力
890	むかい――	向かう
891	むぎ	麦
892	むき――	向く
893	むこう	向こう
894	むちゅう	夢中
895	むつつ	六つ
896	むら	村
897	むらさき	紫
898	むろまち	室町
899	め	芽
900	めいじ	明治

	語彙	――
901	めいわく	迷惑
902	めうえ	目上
903	めきしこ	メキシコ
904	めした	目下
905	めんきょ	免許
906	めんどろ	面倒
907	もうし――	申す
908	もくてき	目的
909	もじ	文字
910	もちろん	もちろん
911	もめん	木綿
912	もよう	模様
913	もり	森
914	もり	森〈人名〉
915	もれ――	漏れる
916	もん	門
917	やおや	八百屋
918	やがて	やがて
919	やきゅう	野球
920	やくしよ	役所
921	やくそく	約束
922	やくにん	役人
923	やさしい	優しい
924	やっつ	八つ
925	やっと	やっと
926	やね	屋根
927	やはり	やはり
928	やまぐち	山口
929	やまざき	山崎
930	やまと	大和
931	やら	やら
932	やわらかい	軟・柔かい
933	ゆうき	勇気
934	ゆうじょう	友情
935	ゆうびんきょく	郵便局
936	ゆうもあ	ユーモア
937	ゆか	床
938	ゆかい	愉快
939	ゆしゅつ	輸出
940	ゆっくり	ゆっくり
941	ゆにゅう	輸入
942	ゆめ	夢
943	よい――	酔う
944	ようい	用意
945	ようきゅう	要求

	語彙	――
946	ようじ	用事
947	ようじん	用心
948	ようちえん	幼稚園
949	よこぎり――	横切る
950	よごれ――	汚れる
951	よさん	予算
952	よそう	予想
953	よつつ	四つ
954	よてい	予定
955	よぼう	予防
956	より――	寄る
957	よろしく	よろしく
958	らく	楽
959	られ――	られる
960	らんぼう	乱暴
961	りえき	利益
962	りかい	理解
963	りくつ	理屈
964	りこう	りこう
965	りそく	利息
966	りゆうこう	流行
967	りよう	利用
968	りょう	量
969	りょう	寮
970	りょうきん	料金
971	りょうじ	領事
972	りょうしん	両親
973	りょうしん	良心
974	りょうり	料理
975	れ――	れる
976	れいがい	例外
977	れいぎ	礼儀
978	れいそうこ	冷蔵庫
979	れきし	歴史
980	れこおど	レコード
981	れつ	列
982	れんあい	恋愛
983	れんぞく	連続
984	れんたいし	連体詞
985	れんらく	連絡
986	ろうか	廊下
987	ろうじん	老人
988	ろうどう	労働
989	ろしあ	ロシア
990	ろんぶん	論文

	語彙	――
991	わ	羽
992	わいしゃつ	ワイシャツ
993	わき――	沸く
994	わご	和語
995	わざわざ	わざわざ
996	わだい	話題
997	わたくし	私
998	わたり――	渡る
999	わりあい	割合
1000	わりびき	割引

資料5 簡約語彙登録カード 及び K W I C 資料

【起 き る】

品詞：動詞

他動詞への転成・複合語：なし

意味：①目が覚める
②立ち上がる
③事件が発生する
④その他

分類コード（得点）：2122 成立・発生（28）
21513 起立・横臥など（36）
2333 生活・衣食住（27）
23391 立ち居（20）

関連語彙（得点）：2122 成立・発生
第一次千語
できる（40）、なる（15）
21513 起立・横臥など
第一次千語
立つ（40）、寝る（38）、座る（32）
2333 生活・衣食住
第一次千語
寝る（26）、覚める（18）、着る（38）、脱ぐ（27）、食べる（40）、
住む（40）、立つ（10）
第二次千語
泊まる（37）、履く（23）、暮らす（33）
23391 立ち居
第一次千語
座る（27）、立つ（24）、寝る（20）

関連文型・文法：12-4 N1A/ガ' (Time) (Place) V-マス.
16-4 (ニ) Point of Time: Nニ
26-5 (デ' b) General Expression of Action: Nデ' +V

文例：

<テキスト>

意味① JFT 16-4 わたしは6時に起きます。
GN 238-17 朝、起きた時に「おはようございます。」と言います。
NK 16-4 私は朝六時半に起きます。

<新聞KWIC>

意味② 朝起きてしまえばよいですが、起きる前がつらくて頭痛がします。

意味③ 集団赤痢－東松山市で起きたさわぎを「他人ごとではない」と心配する都民は多い。

<言語生活KWIC>

意味① 085 キソツ・ムニテ：△あの、朝何時頃お起きになりますか。

(－ぼくは四時半ごろだよ。それで一睡もしていない、ぼくは。)

意味② 026 ハナカ ：で、どのくらいかかんだい？手術して起きられるようになるには。

意味③ 203 イキエトウロウ ：なぜ、戦争が起きたか、そこから考えなさい。

[数値情報 1：意味]

		合計度数	意味①	意味②	意味③
言語生活KWIC	オキル	66	45 68.2%	9 13.6%	12 18.2%
新聞KWIC	1. 起きる	37	9 24.3%	5 13.5%	23* 62.2%
	2. おきる	2			2 100.0%
	1+2	39	9 23.1%	5 12.8%	25 64.1%

*拍手や歓声、どよめき、生産意欲、幻覚を広義の意味③として4例含めてある。

[数値情報 2：活用]

		キナイ	キヨ	キ レル	キ + 動詞	キ + 形容詞など	キ (中止)
言語生活KWIC	オキル	2	1	1	2		
新聞KWIC	1. 起きる	3			10	3	2
	2. おきる						1
	1+2	3			10	3	3

	オキ (名詞)	オキテ	オキテモ	オキマス	オオキニ ナル	オキタ (終止)	オキタ (連体)	オキタラ	オキル (終止)
オキル	1	19**	2	2	3	1	10	2	3
1. 起きる		4				3	8		1
2. おきる							1		
1+2		4				3	9		1

	オキル (連体)	オキット (オキルト)	オキレハ	オキロ	オキナイ	オキッテ	合計
オキル	9	2	1	3	1	1	66
1. 起きる	3						37
2. おきる							2
1+2	3						39

**オキチャウ、オキテル各1を含む

言語生活 K W I C に現れた「起きる」

題

コウ タイトル

ワシ PAGE タン LINE

テ-タ1 ケンコ セイカツ - 2041へ エシ
ヨウレイ

6203 エキマエトウロン 05 059 ウエ 06 ハククロ サレ タ シヤ ナイ ,
6182 イエツキ . カーツキ . 01 107 シタ 04 ニ ソンナ ノ カ イレ ハ ネ
6329 トケイノセリウリ 03 087 シタ 05 シタ カタラ シン セカイ イッ テ
6103 ヨセフウケイ 01 048 シタ 10 シタ ニ トコ ラ ツケ マシ テ ,
6103 ヨセフウケイ 01 048 シタ 09 ケ マシ テ , テンク " トコ ,
6196 アリカ " トウミナサン 02 076 シタ 10 タ ノ , サンネン ネ --- .
6277 「ケンタ イ」 03 095 ウエ 08 アタル ワケ デ ス ケレト モ ,
6286 カンコウハス 01 095 ナカ 21 ツカッ トル タ " モノ . アノウ
6196 アリカ " トウミナサン 01 076 ナカ 08 モー , イシ シアイ ミセ タイ .
6286 カンコウハス 02 094 シタ 04 ロイト イウ コト タ " ケ テ ,
6286 カンコウハス 02 094 シタ 07 ヲ イウ ト イウ コト ハ ネー ,
6286 カンコウハス 02 095 ウエ 03 ハ ワカ " ココロ ヲ ウタカエ ,
6286 カンコウハス 01 095 ナカ 11 ハハ . アタシ ハ アノ トキト " キ
6286 カンコウハス 01 094 シタ 12 モウ マケ テ シマイ マシ タ .
6344 ハワイリョコウ 01 060 シタ 04 . テ " ミナ サマ カ " オイ テ
6247 タンカノヨリアイ 01 045 ナカ 14 ヲウ ノ ハ " アイ ラ カンカ " エ テ
6156 エキノアンナisho 02 081 ナカ 08 オカ ") ハ ? (タ " イ イチ
6156 エキノアンナisho 03 081 ナカ 07 マシ タ . コノ (タ " イ イチ
6207 ネコノケリ 02 080 シタ 12 ラ ニ , ヤラ レ タ . ソコ ノ
6207 ネコノケリ 02 080 シタ 11 ンセー シヤッ タ ケト " モ ネ ,
6207 ネコノケリ 02 080 シタ 09 イマ ハ コウメイ ニ ナッ テ イル
6207 ネコノケリ 02 080 シタ 10 ル オカ " サワラ ニ ヤラ レ タ .
6245 ハチシ " ヲウノカセ " 01 057 ナカ 15 サカッ テ , サイコ " マテ " .
6192 オテラサン 02 068 ナカ 03 ナス , オウマ サン , アノ
6192 オテラサン 02 068 ナカ 03 ウマ サン , アノー オカ " ラ ,
6249 クマカ " ワニタ " イ 01 055 シタ 23 アスコ ニ , ナン カ , チュッサイ
6045 マクアイ 14 047 シタ 17 ノ ヒテ " サカ サマ , タメイケ ノ
6292 ハ " ハ " ニナッテカラ 01 057 ウエ 13 サイショ ノ ウチ ハ サン シ " カン
6075 アンナishoノハナシ 01 073 ウエ 10 テ " , ソノ ホカ ニ イチ ニチ
6046 カ " クエンミンシヨカ 03 047 シタ 11 タチ ニッ キョウソ ノ タイカイ ニ
6268 " タタカイオエテ " 07 074 シタ 03 コノ ヘン ハ , オ
6254 アキノユウケ " 02 055 シタ 03 オキ タ トキ テ " ショ .
6254 アキノユウケ " 03 055 シタ 02 ッ テ イウ カ サ
6057 ココニモノイローセ " 04 057 ナカ 22 ン テ " シ タ . アサ ハ ネ ,
6057 ココニモノイローセ " 01 057 シタ 07 ヲショ ニ オキ タ ノ ? イエ ,
6057 ココニモノイローセ " 04 057 シタ 06 タ ノ イク シ " ? ミンナ カ
6112 チョウリツソソウ 01 068 ナカ 07 ヨー ナ , イザ " センソウ カ
6161 ノウソノ ノ ヨメ 03 085 ナカ 09 カリ ノ トキ フ サン シ " コロ
6203 エキマエトウロン 05 059 ウエ 14 ナイ テ " ス ヨ , ナセ " センソウ
6143 コウツウシ " コ 01 093 ナカ 28 カ " . ソレ テ " コウ イッ テ
6245 ハチシ " ヲウノカセ " 01 059 ナカ 02 ネ , タツマ ケ " コチラ テ " .
6057 ココニモノイローセ " 04 057 シタ 06 ナ カ " オキ タ トキ イッショ ニ
6112 チョウリツソソウ 04 071 シタ 02 タ " ケ , コレ , ウカカッ テ
6083 ムシ ノ ムコウ 01 070 ウエ 06 . マエモッテ オ コワリ シ テ
6063 コノ ケッソ 01 069 ナカ 05 タ " ケ キョー ワ ハッカリ シ テ
6253 ナツヤスミオモイデ " 01 060 シタ 10 " ハン タヘ " ナイ テ " ネー ,
6253 ナツヤスミオモイデ " 01 060 シタ 06 アル ヨ . チョット アル . アサ
6269 サンインショウカ " ツ 07 112 ウエ 22 テ テ カ " テ " タ " イ タ シ ,
6057 ココニモノイローセ " 04 057 シタ 05 ソレ テ " ケツキョク , トコ カラ
6240 トン " コウレッシュ " 01 042 シタ 24 " ハ " . テ " ナキヤ シ " コ モ
6125 サイマツ ハー 03 048 シタ 20 タヘ " テ ハ " ッカシ イル フ ,
6273 キンコンシキ 09 082 ナカ 20 ケト " ナ , アクル アサ マ ,
6173 メイシ " ノコト " モ 01 091 シタ 21 ト ナケ " テ , ソノ カイ ラ ,
6030 アナタモハナセル 03 054 ウエ 11 モー アサ オキル テ " ショ ? アサ
6241 ノウキ " ヲウヨウコ " 01 076 シタ 08 " , アサ , ノソソト オソク
6057 ココニモノイローセ " 04 057 ナカ 06 ト " , ヨナカ ノ サン シ " カラ
6038 セイシンヒ " ヲウ 05 037 ナカ 01 ヨ . オクニ ノ タメ タ " カラ
6197 ショウカ " クイチネン 01 063 ウエ 11 ッ テ . ハ " ハ " カ
6258 ショウハ " ンイン 01 078 ウエ 14 テ " , コウ イウ モンタ " イ カ
6161 ノウソノ ノ ヨメ 05 084 シタ 21 タンヘ " アサ ノ サン シッ ト
6161 ノウソノ ノ ヨメ 01 086 ウエ 17 ヨ サイコ " ニ ネ テ サイショ ニ
6277 「ケンタ イ」 03 094 ウエ 07 エ ニ イテ , スキ ナ トキ ニ
6173 メイシ " ノコト " モ 01 093 ナカ 14 イク マエ ニ ウー クライ ウチ ニ
6241 ノウキ " ヲウヨウコ " 01 076 シタ 22 ナク ナッ タ カラ , アサ ハヤク
6161 ノウソノ ノ ヨメ 06 085 ナカ 13 タ " ワ ナンデ " ソンナ ニ ハヤク

オカタ " ハルオ カ " , ナセ " センソ
オカチメンコ タッ " テ イマ , .
オカマ ニ ナレ . ナッ コーヘ " テ " ユー タラ
オカメ ト " コ , ヒョットコ ノ シタ ニ トコ ト
オカメ ノ シタ ニ トコ ラ ツケ マシ テ , オカ
オカヤマ , アー , ハワイ イッ テン , ヤッハ
オカヤマ タ " イカ " ク フソ " ク ヲウチ エン ノ ニュ
オカヤマ テ " ハ ネエ , ナク ナッ タ イウ テ
オカヤマ ノ オハ " ア チェン ニ , コノ シアイ
オカヤマ ノ ヒト ハ ネー , ワタシ カ " , ワタ
オカヤマ ノ ヒト カ " ウソ ヲ イウ カラ , ミカ
オカヤマ ノ ヒト ハ ソンナ フルイ ヒト ハ ナイ
オカヤマ ヘン " カ " テ " シマウ ン テ " ス ヨ
オカヤマ フリト , ウソ ツカ ナイン テ " ス ヨ
オカレ マス チッ " テ " ロクシ " ュッ ハー セント
オカン ナネン シヤ " ナイ カ , ナニ カ コトハ
オカ ") ッテノ ハ オウウ セン テ " アキタ ノ
オカ ") ハ ? (タ " イ イチ オカ ") ッテノ
オカ " サワラ " テ " ネ , サン ネン カン ヘンキョ
オカ " サワラ " ニ , ヤラ レ タ . ソコ ノ オカ
オカ " サワラ " ニ ヤラ レ タ . オカ " サワラ ノ カ
オカ " サワラ " ノ カ " ッコウ ノ セン ,
オカ " サワラ " ヘ ショウショウ サレ テ イ タ キ
オカ " ラ , オカ " ラ カ " アル テ " ショ ウ . ア
オカ " ラ カ " アル テ " ショ ウ . アッ ソレ ,
オカ " フ カ " アル ン シヤ " ナイ テ " ス カ ネエ
オカ " フ サマ , アカサカ ノ コ " ロウ サマ , ハ
オキ . サイショ ノ ウチ ハ , ヒマ ナシ タ
オキ アリ マス ケト " モ ソシテ コノ ナンキョク ム
オキ オキ マシ テ フ " セン コ " シ " ュウ マン ノ
オキ シテ ヲロシテ " ショウ カ . ハ , ハ
オキ タ トキ カ " トニカク アサ ナン タ " モン
オキ タ トキ テ " ショ . オキ タ トキ カ " トニ
オキ タ ノ イク シ " タ " . トケイ ミル ノ カ
オキ タ ノ ハ ク シ " コ " ロ アサ ノ
オキ タ トキ イッショ ニ オキ タ ノ ? イエ ,
オキ タ ハ " アイ ニ , シ " フソ " ノ ホウ ワ ,
オキ タン タ " カラ アサ フタシ ラ ハー , オ
オキ タ カ , ソッ カラ カンカ " エ ナサイ ヨ ,
オキ タン タ " ナ コウ ナ . イヤ , アレ タ
オキ タ トキ , ソノ ウチ ハ , トタン ナンカ
オキ タ ノ ? イエ , オキ タ ノ ハ
オキ タイト オモイ マス . マンスフイールト " ア
オキ タイ コト ハ アル トクテイ ノ ヒト ノ ナマ
オキ タイ ネ . エ , サキホト " カラ モウシタテ
オキ タラ ネー , スク " ヤル . ソシタラ ネー
オキ タラ ネ , スク " ヤル . コ " ハン タヘ " .
オキ タ " イ タ シ ナア . テ ラ スウ コ ハ エ
オキ タ " シ タ ノ イク シ " ? ミンナ カ " オキ
オキ チャウ モン ナ . マシテ , コレ カ " .
オキ テ タヘ " , センタク シ テ カラ タヘ " .
オキ テ " テ " ナ , シ " ト " ウ シェ ニ ノルッ
オキ テイル ノ ラ フセル . ソウ スルト ,
オキ テ マス " リート " . フ " ック カイシャ イク ト
オキ テ キテ , メシ クッ タリ スルト , ソ
オキ テ サワキ " マワッ テ タン シヤ , ウチ
オキ テ ヤル . クスリ モ ノン テ " ヤル . ノ
オキ テ キテ , アサ カラ ナニ " ナッ テン
オキ テ キタ ワケ テ " ス ケト " . ソコテ ,
オキ テイクン タ " モノ クサ カリ ニ . ソシ
オキ テ ソシテ ミンナ ネ タ アト テ " ホ " ロ ノ
オキ テ , スキ ナ トキ ニ ネル コト カ " テ
オキ テ ソノ センセイ ノ トコヘン ハ コキ テ ソシ
オキ テ , アサ クサカリ サ イク コト モ ナク
オキ テ ナニ カ " イ ン テ " ス ナンテ オモッ

6042	コトモノセカイ	03	037	ウエ	17	タ	ネ	アサ	ハヤク	オキ	テ	オ	カオ	アライ	マシ	タ	ソ	ー	ス	ル	ト
6104	ヨウシノネルマテ	02	061	ウエ	01	キ	モ	チ	タ	フ	ッ	フ	ッ	マ	タ
6123	ショクニノコトハ	02	080	シタ	23	ナ	イ	ヨ	ー	モ	ー	ヨ	ル	ネ	テ	モ
6120	シヨシコウコウセイ	02	089	ナカ	13	モ	ノ	ト	チ	ラ	カ	ノ	カ	タ	チ	テ
6067	シコンシヨウノハム	03	046	シタ	15	ナ	ッ	テ	シ	マ	ッ	ソ	ウ	テ
6067	シコンシヨウノハム	01	047	ナカ	23	カ	ノ	オ	タ	ク	ノ	ホ	ウ	ヨ	シ
6200	ウイスキホ"ンホ"ン	02	041	シタ	08	ヒ	ン	ヒ	ン	シ	テ	ル	ノ
6143	コウツウシ"コ	02	094	ナカ	14	ケ	ッ	テ	シ	ョ	ウ	カ	ネ
6212	ショウカ"ッコウ	01	049	シタ	17	ッ	テ	イ	ウ	コ	ト	ソ	コ	ニ	カ	イ	テ
6192	オテラサン	01	069	シタ	25	ウ	ネ	モ	ウ	マ	タ
6066	クマモトヘ"ン	01	057	ウエ	12	ン	シ	テ	イ	ッ	キ	シ	ッ	ッ	シ	テ
6085	キャンフ"ムラニテ	01	073	ナカ	05	ア	ノ	ア	サ	ナ	ン	シ
6085	キャンフ"ムラニテ	01	073	シタ	01	カ	タ	ワ	ア	サ	ナ	ン	シ
6085	キャンフ"ムラニテ	01	074	ナカ	05	カ	タ	ワ	ア	サ	ナ	ン	シ
6238	オオサカノヨミセ	06	034	ナカ	20	ッ	テ	イ	ツ	カ	ク	ラ	イ	ニ	カ	ン	カ	ク
6292	ハ"ハ"ニナツテカラ	01	057	ウエ	08	ソ	リ	ヤ	モ	ウ
6292	ハ"ハ"ニナツテカラ	01	057	ウエ	12	ニ	カ	ケ	ッ	ス	ル	ト	ヨ	シ	カ	ン
6344	ハワイリョコウ	01	057	ウエ	04	ケ	ン	シ	ト	キ	ニ	ハ	イ	チ	シ	カ	ン
6198	メイシ"ヒャクネン	01	062	ウエ	23	マ	ス	ア	ラ	カ	シ	メ	コ	フ	ク	ミ
6140	ナニヤザンタ"ロウ	04	091	ナカ	08	ウ	ン	ミ	カ	エ	リ	ミ	カ	エ	リ	ソ	ノ
6083	ウミノムコウ	08	072	ナカ	20	ン	ハ	ト	ノ	ク	ラ	イ	ノ	キ	カ	ン	ラ
6093	デョウサイライ	01	027	ナカ	01	イ	ノ	ホ	ウ	メ	ン	ニ	シ	ョ	ウ	テ	ン	ラ
6046	カ"クエンミンシユカ	03	047	シタ	11	ニ	ッ	キ	ョ	ウ	ソ	ノ	タ	イ	カ	イ	ニ	オ	キ
6088	コーヒーノタテカタ	01	081	シタ	09	ア	カ	ノ	モ	ノ	ラ	イ	ク	シ	ョ	ル	イ	カ
6191	アルヒロウエン	03	064	シタ	08	ノ	テ	コ	ノ	ヘ	ン	テ
6044	ヤナキ"タ"クニオ	01	037	シタ	18	ウ	レ	イ	ハ	タ	ナ	エ	ア	ケ	テ
6102	スモウシ"ヤヤ	05	073	ウエ	11	シ	ヤ	タ	ノ	ン	テ
6102	スモウシ"ヤヤ	05	072	シタ	22	ヤ	ザ	ン	ノ	ホ	ウ	ニ	タ	ノ	ン	テ
6046	カ"クエンミンシユカ	03	047	シタ	15	シ	リ	ツ	カ	ッ	コ	ウ	ノ	タ	イ	カ	イ	ニ
6067	シコンシヨウノハム	03	047	ナカ	05	ヨ	シ	ヨ	ン	シ	ョ	ッ	フ	ン	ニ
6134	デョウキ"カイアレ	03	095	ナカ	16	ン	テ	ス	ソ	ウ	イ	ウ	ナ	カ	ニ
6044	ヤナキ"タ"クニオ	01	037	シタ	09	オ	イ	ワ	イ	カ	ツ	イ	ッ	ホ	ウ	ニ
6044	ヤナキ"タ"クニオ	01	036	シタ	03	ノ	シ	ョ	ウ	メ	イ	シ	ウ	ル	ト	コ	ロ	ニ
6147	コウカイカイザン	10	082	シタ	21	イ	サ	ツ	ホ	ン	フ	シ	ョ	ウ	カ	イ	キ	ニ
6003	ニウシヤシケン	04	027	ウエ	02	ト	ウ	シ	ヤ	ハ	セ	イ	デ	ツ	カ	ン	ケ	イ	ニ
6333	クキ"コウホ	01	068	ナカ	01	マ	デ	@	シ	ョ	ウ	カ	ッ	コ	ウ	ニ
6311	ホウノウエンケ"イ	04	060	ウエ	03	ソ	ノ	タ	ト	ナ	イ	ノ	カ	ッ	コ	ウ	ニ
6148	オサナイコロ	01	086	ナカ	25	シ	ロ	ー	ト	テ	ス	カ	ラ	ネ	ハ	ン	ト	ウ
6083	ウミノムコウ	01	071	ウエ	23	モ	コ	ノ	サ	イ	ヘ	ン	キ	ョ	ウ	シ	テ
6286	カンコウハ"ス	01	095	ウエ	06	オ	ワ	カ	リ	カ	ネ
6039	マノシンサツシツ	04	051	シタ	01	シ	テ	イ	タ	タ	ク	ン	テ	ス	カ
6212	ショウカ"ッコウ	01	050	ナカ	22	イ	オ	キ	マ	ス	カ
6085	キャンフ"ムラニテ	07	074	ナカ	18	テ	ラ	ッ	シ	ャ	ル	ン	テ	ス
6212	ショウカ"ッコウ	04	050	ナカ	23	カ	ノ	ネ	ナ	ン	ニ	チ	ク	ラ	イ
6212	ショウカ"ッコウ	05	050	ナカ	20	イ	ウ	コ	ト	ナ	ン	ニ	チ	ク	ラ	イ
6220	ショト"ウクラフ"	03	076	シタ	03	ア	ト	ハ	カ	タ	イ	マ	マ	ニ	シ	テ
6320	ヒコウキ/アナウンス	03	083	ナカ	04	コ	ア	ン	ナ	イ	モ	ウ	シ	ア	ケ	テ
6266	キモノ/コモノ	01	063	ウエ	06	ン	シ	マ	ス	デ	ョ	ッ	ト	オ	サ	エ	テ
6266	キモノ/コモノ	01	063	ナカ	17	ト	コ	ロ	ハ	セ	ン	フ	ウ	ス	メ	テ
6266	キモノ/コモノ	01	064	ウエ	03	ツ	マ	ン	テ	ウ	エ	ニ	ア	ケ	テ
6102	スモウシ"ヤヤ	05	072	シタ	24	オ	ミ	ヤ	ケ	サ	ー	ヒ	ス	シ	テ
6077	デー"フルスヒ"ー	02	071	シタ	08	ロ	オ	ト	コ	ウ	コ	ト	ラ	イ	モ	ウ	シ	テ
6009	デ"ンワカ"ナカイ	02	042	シタ	21	レ	シ	ャ	ハ	ン	メ	シ	ヨ	ウ	イ	シ	テ
6009	デ"ンワカ"ナカイ	06	043	ウエ	24	タ	カ	ラ	イ	ナ	イ	ケ	ト	イ	ッ	テ
6155	ニウエキデ"ティレ	01	091	ナカ	08	ヒ	オ	ツ	ア	ナ	ラ	カ	ル	ク	ア	ケ	テ
6344	ハワイリョコウ	01	060	ウエ	22	ノ	ナ	カ	ニ	オ	カ	ネ	ラ	イ	レ	テ
6102	スモウシ"ヤヤ	05	072	ウエ	08	シ	ャ	ア	シ	タ	ノ	マ	タ	タ	ノ	ン	テ
6100	テレヒ"ノリヨウ	03	048	シタ	11	ソ	ウ	ラ	オ	サ	ラ	ノ	チ	ョ	ウ	オ	ウ	ニ
6165	キューケツ"ヤ	04	089	シタ	05	イ	ロ	ン	オ	ト	コ	ロ	ヘ	モ	PR	シ	テ
6076	マンネンヒツノインク	03	038	ウエ	11	ハ	タ	タ	ツ	ケ	タ	マ	マ	ニ	シ	テ
6148	オサナイコロ	01	086	シタ	15	ネ	ア	ノ	テ	ン	マ	フ	ネ	ニ	ノ	ッ	テ
6153	オシヤヘ"リモタノシ	02	089	シタ	03	ウ	オ	キ	ア	カ	レ	ナ	イ	ノ
6237	ハナタケ	04	026	ウエ	14	カ	ン	タ	イ	シ	ョ	シ	ョ	ツ	シ	テ
6142	カ"イライコ"オオシ	01	080	シタ	18	ウ	カ	ナ	イ	カ	ラ	ア	ツ	マ	ッ	テ
6301	ナコ"ヤヘ"ン	01	093	ウエ	15	デ	ョ	ッ	ト	ト	ー	ユ	ー	カ

コウ タイトル ワシヤPAGEタ"ンLINE

テ-タ1 ケンコ"セイカツ - 2043°エシ
ヨウレイ

6301	ナコ"ヤヘン	01	093	シタ	08	イナカ テス ワ ナア , ヘ ,	オキヤ-セ トカ , アヤリヤ-セ トカ , スカタン
6301	ナコ"ヤヘン	02	093	ウエ	17	ナコ"ヤヘン テス . アア ,	オキヤ-セ トカ , イララシー ナモ トカッ テイウ
6301	ナコ"ヤヘン	01	093	ウエ	15	- コー カ" , オキヤ-ス ワ ,	オキヤ-セ ヨ , ヤラシー ト イウ ヨウ ナ コト
6116	ナソ"ナソ"	01	092	シタ	11	リ シ タ . コレ ハ タシカメ テ	オキヤア ヨカッ タ ネ . エー ソレジャ ツキ"
6004	1ネンセイキョウシツ	07	035	ナカ	08	ント イッショ ニ イッ タ ノ .	オキヤクサンチ エ . エー オ キヤク サン シヤ-
6183	ノウソソテ"カセキ"	03	089	ナカ	23	ナ キ スン タ" ヨ ナエ . アサ	オキッ ト ハー キンチョウ シ テハ°シタ . ナン
6241	ノウキ"ョウヨウコ"	01	076	シタ	05	ノ ヒヤクショウ , ナツ , アサ	オキッ ト , メシマエ ニ カナラス" クサ カッ テ
6232	コッチハコ-ムイン	02	026	ウエ	16	ショウリ タ"シ タ トキ ハ ネ	オキッ ハ°ナシ タッ タン テス , ハイッ テ
6153	オシヤヘ"リモタノシ	02	089	シタ	03	コック ショッ テル テ"ショウ ,	オキアカ" レ ナイ ノ . オキ ヨウト スルト
6215	ムカシム/ノウカ	02	053	ナカ	08	タン テス ヨ . ソレカラ ,	オキシタ テ" . ソレ ハ アッ タ ネ . ソレカラ
6025	ヤキュー-ホウソウ	01	035	ウエ	08	-チャー , マッサオ タッ タ ,	オキタ カ" , カオ オ ホンノリト コウチョウ サ
6324	レニク"ラート"	02	094	ナカ	22	ミン タチ ノ テ"モ トカ アラクル	オキナ シュウカイ ト マ シミン タチ ノ アソヒ"
6129	トウキョウタワ-	27	089	ウエ	01	ソレ カラ ソノ ムコッカワ ニ	オキナ ハシ カ" アル テ"ショ . アレ カ" カチ
6324	レニク"ラート"	02	093	ウエ	01	チョウタ"イ ヨウ	オキナ フネ ラ ツウカ サレル タメ ニ ヨル ノ ニ
6192	オテラサン	02	069	ウエ	05	アッ ソウ ソウ アソコ ニ アル .	オキナ ヤ テス カ ? オ カシ ヤ サン . ウン
6192	オテラサン	02	069	ウエ	18	ツッ テ ネ , アソコ ニ , アノ-	オキナ ヤ テ イッ タ ネ ? ウン アノ ウチ ソウ
6198	メイシ"ヒヤクネン	03	063	ナカ	22	ク クンタイ ノ センリョウ カ ,	オキナワ マ カンセン ニ フッカツ テ"キ ナイ ケ
6198	メイシ"ヒヤクネン	02	062	シタ	07	ン ココウ ノ リョウト" テ" アル	オキナワ ラ カイコク ノ テ ニ コタ"ネ , コク
6139	センセ"ンハ	04	090	シタ	05	ツンタ"ラ カヌサ , ヤッハ°リ	オキナワ カ . ヨ タ レ , ソ , ツ , ツ .
6083	ウミ ノ ムコウ	03	071	ナカ	02	NI サン テス カ . アノ イマ	オキナワ タンコ" ノ テス ネ . オ トナリ ノ
6177	シヨウキ"スイタ"ン	05	090	シタ	24	キッコ ナイ ヨ , ホ"ク カ" .	オキナワ テ" イイ ノ ? ナン テイウ ノ , コ
6205	「ヘビ」ト20ネン	01	076	ウエ	04	" . アノ , シュウセン コ" ,	オキナワ ニ シンチュウ シ タ アメリカ ノ ヘイタイ
6139	センセ"ンハ	04	090	シタ	04	ノ ツー ツー レロ レロ , アリヤ	オキナワ ヘ イッ チャウ カ , ソ , ヤッハ°リ
6316	コ"フクテン	03	093	ウエ	04	ラレ テ コナイタ" ネエ コレ ハ	オキナワ ヨロン トウ ノ ホウ ヘ アソヒ" ニ イッ
6320	ヒコウキ/アナウンス	01	081	ナカ	02	ノ コノ ヒコウキ ハ トチュウ ,	オキノエラフ" , カコ"シマ ノ ショウクウ ラ ツ
6286	カンコウハ"ス	01	094	ナカ	12	シ , コ"タ"イコ" テンソウ カ"	オキノシマ ヘ ナカ"サレル ト"ウチュウ , トオリ
6095	トクハ"イシ"ヨウ	09	072	シタ	17	ココ ニ . ト"ウセ , ネマキ ,	オキマキ ニ ナッ チャウ カラ , オトコ ノ ヒト
6062	トウサ"イ ハナマチ	01	037	ウエ	09	°リ ナカイ ハン テ"モ ネ , (オキミ サ-ン) テ . (オ カミ サン) テ
6062	トウサ"イ ハナマチ	01	037	ウエ	08	ハ°シ イマ ノ オ カミ サン カ"	オキミ サン テ オ カタ トス ネ , ソヤシ .
6062	トウサ"イ ハナマチ	05	038	シタ	13	ナメエ ハ , マ , カリ ニ (オキミ ネエ サン) トカ (オツキ ネエ サン)
6247	タ"ンカノヨリアイ	01	047	ナカ	24	アサッテ , ト"ウ イウ コト カ"	オキル カ ワカン ネエッ テ イウ ノニ . アルイハ
6057	ココニモノノローセ"	04	057	シタ	13	ソウ タ" , ソンナ アサ ハヤク	オキル カラ , アンタ カセ" ヒイ チャウン タ"
6245	ハチシ"ョウノカセ"	01	057	シタ	23	ノ , アノ , タツマキ , ナニ カ	オキル シセ"ン ノ アレ カ" , タイタイ アレ
6030	アナタハナセル	03	054	ウエ	11	ヨム . フフフ ソシテ モー アサ	オキル テ"ショ ? アサ オキ テマス" リート" .
6103	ヨセフウケイ	01	049	シタ	07	ノ コレ ハ . ネルッ テエト ,	オキル ノ カ" ワスレ チャウン タ" ナ . コイ
6120	シ"ヨシコウコウセイ	02	089	ナカ	03	ツホ"ウ スルッ テ イウ コト カ"	オキル ノ テス カラ セ"ツホ"ウ シタ ヒト ホ
6200	ウイスキホ"ン	02	041	シタ	08	ル ノ , スク" オキ ナイ スク"	オキル ノ . カッ テネ ! イイ ワ ヨ イカス-
6245	ハチシ"ョウノカセ"	01	057	シタ	25	アレ シヤ ナイ テス カ ネ ,	オキル ハ"ショ , マタ , テケイ テキ ニ ソレ
6183	ノウソソテ"カセキ"	02	090	シタ	12	テル ヨ-ナ コト カ" シ"シツ	オキル ワケ ナン タ" ヨ ナエ . ソー ナッ テ
6103	ヨセフウケイ	01	049	シタ	10	キロ ヨ . オイ , イロオトコ ,	オキル ン タ" ヨ . オイ , オキロ イ . アー
6098	イト"ハタカイキ"	01	070	シタ	06	イテ" アンタ , コ" シ"コロ	オキル ン テ"ショウ ? オ ハ"ア チャントッテ
6067	シユンシヨウノハム	03	047	ナカ	03	ノ , トウホウ ホラ , ナン シ"ニ	オキル ン タッ ケ ヨ シ" ヨンシ"ュッ フン
6254	アキノコウケイ	02	055	シタ	04	ノ , シ"フン カ" オ ヒルコ"ロ	オキレ ハ" , オ ヒル テ"モ オ ハヨウ コ"ザ"
6103	ヨセフウケイ	01	049	シタ	11	ノ , オキル ン タ" ヨ . オイ ,	オキロ イ . アー , オ , オー , オ ハヨウ
6161	ノウソソ"ノ ヨメ	04	085	ナカ	10	タ" カラ アサ ワタシ ラ ハー ,	オキロ ヤー ナンテ イワレ イワレ シ タン タ
6103	ヨセフウケイ	01	049	シタ	09	ッ チャイ . オイ サン チェン .	オキロ ヨ . オイ , イロオトコ , オキル ン タ
6161	ノウソソ"ノ ヨメ	05	085	ナカ	18	ワ ソナ クレー ニ , ハエク ,	オキ" ナケレ ハ" , マ ニ アー ナカッ タン
6323	ショウカ"クイチネン	01	089	ウエ	17	ナイ テ" , タ"カラ ヒライ テ"	オキ" ナサイ . ココ ノ トコロ カ" ハンフン
6120	シ"ヨシコウコウセイ	02	089	ウエ	02	ア サン ノ オナカ カラ ウマレ タ	オキ"ヤ-ッ テ イッ タ トキ カ" タ"イ イチ ノ
6297	カコ"シマケンミンワ	01	089	ナカ	10	アラッコ"ッ オサマッ タ アサ ハヨ	オキ"ッ テ- マッザッ ケン ヒト カ" イェン
6223	タタ"イマニホンコ"	01	075	ナカ	01	ノ . イマ , ト"コ テス カ .	オキ"クホ" . マタ" ケ"シュク ノ トコロ . . .
6049	チヤナキッサテン	09	076	ナカ	20	ノ . フン . ソイ テ"ネ .	オキ"クホ" スキ" テ カラ アタシ ントコ キ テ
6283	テ"ンワテ"キク	04	094	ナカ	22	ア アノ- , シンシ"ク カラ ハイ	オキ"クホ" ユキ ニ ノッ テ イタタ"キ マシ テ
6206	アイケン/オメテ"タ	01	060	ナカ	04	イウ モノ ラ クスリ テ" モッテ	オキ"ナッ テ ヤン ナク チャ イケ ナイ . ハハア
6100	テレヒ"ノリヨウリ	01	047	ウエ	03	カラ ヤハリ , マー オ タ"シノ	オキ"ナイ ト イタシ マシ テ カカ"ク チョウミリ
6174	イエノレキシ	02	091	ウエ	08	テス ケト" ネ ハアハア ソレエ	オキ"ナウ タメ ニ ホ"ク カ" コウ キイ テ サ
6001	アルヒトウキョウ	02	015	シタ	22	マイクロホン . トーキング" テ"	オキ"ナエル フ"フン モ スクナク ナイ タ"ロウ
6219	ムラノサイネンチョウ	01	047	シタ	12	ト , ソイツ サ ハ"シ オモキ ラ	オク . ウ-ン . ソウ タ" ナイ . ナニ モ コ
6161	ノウソソ"ノ ヨメ	01	086	ナカ	04	ヨル ヤッ テ サオ ニ トオシ	オク . ナケレ ハ" トテモ イツケ ネー ン タ"
6158	イマノチョウカ"ク	01	093	シタ	19	シ ネ . キョウカ ショ ラ ヨク	オク . ソレ テ" ケッシテ ソレ ハ ワスレ テン
6329	トケイノセリウリ	01	084	ナカ	18	アル ワ ナ . チョット マツ テ	オク ナンホ" テ"モ シラ ン メ-カー
6147	コッカイ カイザン	10	083	ウエ	03	ノ , コレ ニ イ-シ"ユウテン ラ	オク) ト , コー コト ラ キョウチョウ シ テ
6044	ヤナキ"タ" クニオ	01	037	ナカ	05	ロッ カネン , カイショ シキ オ	オク , エー オクレ テ モ , チットモ コノ ,
6065	クミアイノコウショウ	01	044	ナカ	17	マエ モッ テ ハナシ ラ ツケ テ	オク , コレ ハ キマッ トル アア , マエ ニ ナ
6295	ホッカイト"ウ	01	093	ナカ	13	ケト" ナ . イマ ヨカ ソレ ,	オク イ ヒラケ テ ナイ カラ , アノウ , ミス"

新聞 K W I C に現れた「起きる」

30591C1012019
30701C1003053
34088K0003017
34088K0004001
35152A0005001
36967C1002003
38850C1001058
39805C1013010
42070C1005028
43794C1015013
46543A0002017
47990C1002040
49667K0005021
49713A0002111
50765C1001005
51854A0003003
53874A0003038
54452C1002001
55066K0012018
55956C1010011
62201K0001003
66838A0012006
68130C1006055
69188C1010003
69670J1002008
70822A0001007
72908A0003001
73296A0001100
73296A0002121
73296A0014012
73703A0003005
73803A0001030
74734A00026119
74894C1002003
75793A0015047
76051A0002037
78138A0003119
79917A0004264
82423K0006014
83136J1001048
83390A0002085
84167K0002008
86510A0001027
78489C1009009
34092A0007008
08391C1010002
15547J1017003
19432C1002022
30214A0013028
30214A0013038
31461C1002030
34365J1003006
36287J1008035
36768J1007039
37401C1004045
37745K0005018
38105C1005023
38795A0004058
44060C1004064
48450A0002012
50581K0003042
51017A0004003
52878A0002034
56423C1006014
69887J1005025
78109J1006048

給八五〇上他交費手当日祝休神田
二名要社会保険有) 千代田区神田
とび出し、家の裏手を流れている
わたしはターフの歌である。
洋4台株) 大菱428) 0181
下にとどと歓声ニM〇ワシントン
扱所982) 6300直通) 神田
た。同署の調べで、東京都小平市
したあととは手も足も出ず、最終回
貸店舗食料品店向都内限下町尚可
工業株式会社東京都千代田区神田
川区西中延1の3の22平塚橋角
の疾走) 堀雄二芦田伸介佐藤英夫
管理係は免許証持参千代田区神田
TBSテレビ通り左入二位は神田
石町・振替東京6518東京神田
可即建築可・投資良・雑地無指定
の見通しが強くなった。クレント
「島っ子のうた」毛利恒之・作)
打服部ニM〇二塁打秋元、野々山
で新製品を陳列している。天知茂
説ニ近窓三東京都千代田区神田
人口内扱所982) 6300神田
と苦笑していたという。読売新聞
日号・50円速報) 二人の子供は
展開する死闘「弁証法」が欲しい
にかかっていた。下がったはずだ
0010三) 興津41010中)
井10000打黒木10000捕
津も外角攻めにあって浅い右飛、
口を開いている。フジテレビの「
110遊) 阿天坊43000右)
146804918161. 80
イッ分譲予約中筑摩書房東京神田
二時一三時二、場所教安寺川崎市
割可山林無指定別荘最速売委託
10000投板東00000投)
50321) 2253川崎川崎市
鶴小林哲子監督三隅研次市川雷蔵
学工業株式会社東京都千代田区神田
0打井10010三額川2000投)
川高校長) 選抜方法委員会) 正・
区恵比寿西一八国電えびす駅前
。はるばると津軽より来て憧れの
政経座談会行政指導の基本問題
一〇〇から一〇〇ぐらいです。朝
はBクラスだったという。米国で
すが、持っていないければ事件が
カッパライ、ケンカなどの事件が
やすく、火災などの場合も混乱が
のだけれども高い拍手と歓声が
いうことだろうか。だが、事件の
三仙ニ解説連合軍の特殊訓練所で
しかし、五カ月ぶりに死亡事故が
も死亡するという痛ましい事故が
を聞くと「二度とこういう事件が
問題、さらに一部アフリカ諸国で
までは赤字経営で、生産意欲さえ
帰るといって、ちょっとした事件が
文化村の「集団赤痢一東村山市で
ス事件など静岡、神奈川両県下で
する備えがゆるみがちだ。地震が
で強い地震が一時間余の間に四回
の味クスリはホシ笑って、癪って
、そのため山の数カ所で山火事が
す6・55テレビ製作業7・00

町電停近新山城ビル地下純喫茶ロービー291) 1881新聞店高
町一の山基ビル読売新聞社専属広告取扱) 株式会社富士通信
へかけつけ、川を下ってくる少年とアヒルを遊ばせながら、少年
で遊びあけると、わたしは少年と彼の部落へ出かける。部落の親
親歩5分30坪付売新築総額16万0期80万建九・八坪蔵三
特派員十五日発ニM〇数々の新記録に飾られたジュニミ1号と
町一の山基ビル) 読売専属KK富士通信社案内広告のご相談は
東町二〇八三、都営住宅内、会社役員熊田達郎さん五三) とわか
の右翼本塁打でかろうじてシャットアウトをまめかれた。=親衆
食品841) 08066864求売家立退の為早急買渡し直接電
町3の7グナン市長と第一団団長代理ニM〇グナン四日発ニAP
運送781) 76508977五反田営業所492) 5857
幾太郎織本順吉堀越節子他ニN〇ニM〇15話題をつく「チフス
町三ノ一美津濃スポーツ土地東小松バ停歩5分330ニm2公面
町三の六、ピリヤード経営、北島春恵さん六六) 三位は飯田橋
町白水社振替東京33229東京文京本郷7-2吉川弘文館振替
商事916) 4274常盤線牛久駅K車10分山林平坦地4
知子昭和24年1月26日島生まれ。小学校3年の時劇団ニ
と真由美堤川哲郎河野秋武56フラッシュ・ニュース00ニ劇〇サ
、遠藤、田中ニ勝〇吉川1勝) ニ敗〇永井1敗) 回数安打三振四
真由美本郷功次郎藤村志保ニM〇鶴田浩二・天知茂・藤山寛美・
町三の六振替東京一〇八〇二しかし、問題は、いまの教師の姿を
町一の山基ビル) 読売専属KK富士通信社案内広告のご相談は
ワシントン特派員は、いまアメリカで騒がれているドッド上院議
家に入籍11月20日中村錦之助・淡路恵子の風変わりな結婚披
宏ショーニ新しいリストニアベイ・シモンニM〇ミッドナイト・
東京都食肉環境衛生同業組合理事長の話肉が下がっていないはず
30010遊) 阿南10010打遊津畑20000一) 寺岡10
10000打杉本10010投) スタンカ10000打桑田10
も遊ゴロにしとめられて反撃を封じられた。セ・リーグ打撃20
宏ショー) 朝9) はいろいろな投書の中から焦点をしぼり、それ
41000捕) 樋田31001中) 谷木30011三) 野々山4
中) 1863805015182. 03稲川洋) 1444563
町2東京新宿区神楽坂1の2・研究社東京港区西新橋3-6-3
町) 昭和四十一年六月三日株式会社小美屋川崎開発興業株式会社
商事916) 4274300和京葉ショッピングセンター商店地分譲
20000投牧田00000ヘ、これがザリガニ?上野動物園
町8-14) 4436-7小田原小田原市栄町1-5-20大邦
真由美待田京介EHエリック加東大監督増村保造スポーツマ
町3の7カカログ進呈宣伝課A係毎週日曜10・30-11・
210投) 五十嵐100四密盗球693924422投手回安
定胆九段高校長) 副。小田光治第一商業高校校長京大で一部スト京
ビルニM〇営業社員募集ニM〇生活の夢を築くセールスニM〇生
の湖に手をひたしけり青森藤原佐助也子供のこと悩みし数珠玉
一郎・金沢良雄・成田頼明松尾金蔵・矢沢淳・山内一行政指導
てしまえばよいのですが、起きる前がつかなくて頭痛がします。ま
た乱射事件には、一九四九年九月ニニュージャージー州キムデン
というのがある理由のようす私は一警官ですが、このよう
やすく、火災などの場合も混乱が起きがちだ。ソ連の自動ステー
がちだ。ソ連の自動ステーション「金星3号」参院運輸委国鉄値
たのだが、阪神ベンチでは「いただき」の声がしきり、その金田
た背景、自民党のとってきた意欲切らない態度、その辞職だけ
た、脱走将校射殺事件をめぐる、そこでの残酷な訓練ぶりと陰
た杉並署では、「予測ではゼロだったのになんとしても残念」と
た。無残につぶれたうた車、かわいいバケツなどが散乱して…事
ないために極刑を…。吉展ちゃんのめい福を祈る母親の豊子さ
たクーデターの影響といった不確定要素が多く、たとえば国府筋
ない」と訴えた。例えば全国二千四百六十四の市区町村のうち人
ている。「先だってからたたび懇願していた女性の性、いっ
たさきぎを「他人事ではない」と心配する都民は多い。ちょっ
た一連の事件の捜査を始め、特捜班を現地に派遣した。なお、同
始めたときは、ほとんどの被害者は貴重品をマクラ元にもとめてお
い、松代町での被害の規模はこれまでのが最高。約八百件の被害届が
出してグリコ一粒三百メートル日本一為になる日本一面白い日本
ている。また新岳の東側にある湯向地区、新岳に近い向江浜、本
てますか「モード情報」「行楽案内」他片山竜二8・00テレビ

25167C1001016
25167C1020023
31920J1003001
31920J1006035
32898J1002001
32898J1003031
33170K0003001
33170K0004004
35040A0001002
35040A0004048
35040A0004052
35040A0008004
35040A0008034
35040A0009011
35040A0010011
35051A0001003
36019K0001018
36979A0002021
37936A0006023
38041A0001056
39411C1003007
43234J1001025
43234J1005031
52845J1002001
57172A0004009
57172A0008007
57172A0009004
58741C1003023
59704C1003002
66277C1001001
66277C1005010
66277C1005018
66277C1005025
66277C1005034
67702A0011006
67965J1008008
67965J1009014
67965J1009032
67965J1010010
73144C1001106
79236C1001006
79236C1003001
79236C1005003
84574J1003001
87411A0001005
41610K0004005
85683A0010022
06574J1004026
06574J1008018
29990K0013032
29990K0015035
30454J1006025
48290K0009030
50647A0010007
32988K0004009
83640C1008011
65115J1002051
65115J1003013
08391C1010011
62691J1003016
63347A0008015
67392K0001002
00978A0009089
03196J1013049
06383A0013010
14008A0006029

臣総理府総務長官)は、このほど
Mu=M=40=特〇「見てきた
トル=M=那覇支局五日発=M〇
大風速六四・八メートルを上回る
九=M〇六政府、現地視察を指示
七日午前、森総理府総務長官は、
告を行なうことを許されている。
払いで政府が協議体新設政府は、
がフルに染しめる高級機です。「
同委員会佐藤首相が発言した「
佐藤首相が発言した「沖縄防衛」
。関係記事、2面に同党は「
の安保国会当時「軍事行動のため
ある」日米合意議事録の取決め
する」このような形で自衛隊の
った。社党、抗議して退場それ
からの主張どおり、「首相発言は
ば、日米間の取決めから自衛隊の
、バート・スラットリー両係官も
を生じ、同日午後零時三十分、
した。=3〇核兵器の禁止=4〇
変更してゆく」が発言するなど、
七億円と大幅増額を認めたことも
援助額を決定することになった。
気持。=M〇…民社党が今月末、
若ものぞろい。〃若きの民社〃を
と、胸を張っていた。この看板、
大使は記者団の質問にこたえ、
いうことにはなっている。しかし
ることを考えるべきではないか」
発)森総理府総務長官機関である
ある沖縄問題懇談会大浜信泉氏が
泉氏が沖縄教育権分離につき現地
地関係方面と話し合うため十六日
中九州熊本・大分)南九州宮崎・
いた。結核治療受けに二百五十人
が十八日朝、琉球海運の貨客船
。厚生省が結核療養施設の不便な
フリカ研究所長)岡田宗司社会党
前とされている。教育権分離に反対
大衆党那覇・竹下特派員十日発)
与党民主党だけとなった。なお、
1横浜旅客20)7314予約率
は87411A0001005
55芸能=N=00=原〇まいど
お笑い劇場「湯の町繁昌記」毎度
肥他6・00=N=天〇=M〇
放談5・35=N=天〇=M〇
6:00=N=天〇=M〇10
29990K0013032
29990K0015035
30454J1006025
48290K0009030
50647A0010007
32988K0004009
83640C1008011
65115J1002051
65115J1003013
08391C1010011
62691J1003016
63347A0008015
67392K0001002
00978A0009089
03196J1013049
06383A0013010
14008A0006029

経済町との交歓、基地見学、ワトソン高等弁務官との会談の模様
「明朝深夜0・10D」男性用=M〇20=Muプロムナード=本島を避けて通った台風18号は、四日深夜から宮古島をまとも
で最大の台風だという。五日午後一時、宮古島測候所から琉球気
候の総理府課長に政府は、台風18号による宮古島の被害状
訪問中の渥美大蔵省主計官、林総理府特選局総務課長に対し、
郵貯支払いで政府が協議体新設政府は、沖縄住民が終戦前に積み
住民が終戦前に積み立てた郵便貯金、年金、簡易保険について早
防衛」で紛糾参院予算委員会大分方針変更社党首相岸発言と食違
防衛」沖縄が攻撃された場合の自衛隊の出動)問題にしばって首
が攻撃された場合の自衛隊の出動)問題にしばって首相をはげし
への自衛隊の出動を否定した十日の首相発言は、三十五年の安保
へ)出てくれといわれても断る」との岸首相の答弁と完全に食違
が攻撃された場合、日本は住民福祉について措置をとることを米
出動から海外派兵への道を開くことは日本を直接戦争に巻き込む
に対する考え方の違いも大きい。亀田氏にかくくきの〇の答弁
が攻撃された際、同胞として無視できないという素朴な感情論を
出動はできないが、日本人の国民感情も大事だという趣旨のもの
に到着するといわれる。今後の計画に不安もジュミ=事故全米に
東方の太平洋に着水した。せっかくのドッキングも、つかの間の
、小笠原の返還=5〇ベトナム戦争の解決など国連が当面してい
の統治は琉球政府を正面に立て、米国はそれのかわり「安全弁」を
では大きな支持を得た。だが「千里馬運動」にムチうって社会主
への日米経済援助額39年度40年度41年度日本18億円28
に青年使節団を送ることになり、二十六日、そのプログラムを永
へ売込むのだ」と、胸を張っていた。この看板、沖縄よりまず、
よりもまず、足もとの国内でPRしたら、との声も党内外にチラホ
の地位は日米両国間の懸案ではあるが、重要問題ではない。=M
に彼がいた期間はわずか二年一カ月で、前任者のキャラウエー中
の教育権返還問題琉球政府は歓迎野党「現状固定に過ぎず」那覇・
問題懇談会大浜信泉氏が沖縄教育権分離につき現地沖縄関係方面
教育権分離につき現地沖縄関係方面と話し合うため十六日沖縄へ
関係方面と話し合うため十六日沖縄へ来る。教育権分離返還につ
へ来る。教育権分離返還については、ジョンソン駐日米大使は、
)鹿児島むしろ歓迎実行委員会の中には、政府に入国を拒否させ
から着く神戸)本土で治療を受けて回復をーと沖縄の結核患者二
の結核患者二百五十人が十八日朝、琉球海運の貨客船沖縄丸、
丸、二二一総トン)で神戸港に着いた。厚生省が結核療養施設
援助の一つとして、さる三十七年から毎年招いているもので、患
対策特別委員長、尾上正男神戸大教授)小山内宏軍事評論家)加
・社会大衆党那覇・竹下特派員十日発)沖縄の野党第一党の社会
の野党第一党の社会大衆党は十日党大会を開き、いわゆる森構想
教職員会に先に声明を発表し、教育権返還構想を支持するとこの態
便宛美便鹿児島便宮崎便大村便熊本便福岡便北九州便大分便松山
平良市出身、日本大学卒、宮古裁判官、上訴裁判事など歴任
おゝきに 白木みのる東京12チャンネル6:10=N=00=M〇20ス
おゝきに)森山加代子、白木みのる他30プロ野球「南海対西鉄」大
起きぬけ 戯評6・20民謡の旅=M〇35歌0・00=N=天〇=M〇
起きぬけ 漫才5・45スポーツ=M〇時の問題6・00レクリエーシ
起きぬけ 戯評20きょうも楽しく5:00=N=天〇=M〇05朝
起きぬけ 漫才なお、シミぬきが手軽にできる特製「クリーンセッ
起きぬけ 戯評6・20ホール・イン・ワン5・00=N=天〇=M〇
起きぬけ 戯評20今日も楽しく=M〇35ソング明朝こんばんは森繁
起きぬけ 漫才=M〇30=N=天〇=M〇45池田浩。この人のすべて
沖野 永保30勉強室小2かけ算の九九NHK第2690KC10ピ
典宣 77党部連会長自現広川弘輝64学閥理事長自元大派亮一54党
沖館 篠田タクシー運転矢部辰二(三六)のうち、森村は森村の弟を含む
沖館 篠田会社員森村四郎(二九)を共犯として同期七時半ごろ、入院中
起きる 前がつらくて頭痛がします。また、午後から夕方になると疲れ
起きる 」とか「音」に対する感覚が鋭くなる」とかいて大厭を常用
起きる のではないだろうか。公共機関の目的、公務員の職務の本来に
起きる のがつらい疲れやだるさに…このごろふえてきた神経疲労や、
起きる 可能性も十分にあるようだ。しかし、ホワイトハウスは目下のと
起きる 電波障害である。わがごとくがかなうというスタッフをふくめる
起きる まいが、後継首相にだれを選ぶかとなれば、問題があろう。一八
起きる さまざまなできごとを、若者の清冽な心が鋭く追求。三八〇円大

資料 6 語彙の意味分布

「あい[会い]」(会う)

	「話」	「書」			計
		「会う」	「逢う」	「あう」	
①面会する	2 9 (64.4)	1 9 (79.2)	4 (100.0)	8 (32.0)	3 1 (58.5)
②出会う	1 6 (35.6)	5 (20.8)		1 7 (68.0)	2 2 (41.5)
合 計	4 5	2 4	4	2 5	5 3

②は偶然に合う、好ましくない事態を経験する、を含む。①②は分けにくいこともある。表記は「遇う」「遭う」も考えられるが新聞には出なかった。

		「話」	「書」
アオ	ウ	3	1 (会)
アワ	ナイ	5	
	レル	1	
アイ	中止		9 (会 4, あ 5)
	オ～スル(ニナル)	2	1 (会)
	～ワシナイ		1 (あ)
	タイ		5 (会 2, 逢 2, あ 1)
	タガル		1 (会)
	ニ(ユク)(クル)	1	1 (会)
	マスほか	1	4 (会 1, あ 3)
アッ	テ(中止)	7	7 (会 3, あ 4)
	テイル		1 (会)
	テマセン	1	
	テミル	1	
	テゴラン	1	
	テモ		2 (会, あ)
	タ(終止)	4	6 (会, あ 3)
	(連体)	7	4 (会 2, あ 2)
	タガ		2 (会)
	トラ		1 (会)
アウ	(終止)	2	3 (あ)
	(連体)	8	3 (会 2, あ 1)
アエ	ル	1	
	テ		1 (会)
計		4 5	5 3

「あいさつ [挨拶]」

	「話」	「書」 あいさつ
①儀式的な動作・言葉	1 9 (95.0)	3 9 (100.0)
②応対	1 (5.0)	
合 計	2 0	3 9

他に「ごあいさつね」などという例もあろうが簡約日本語としては不要。

「話」は「ごあいさつ」と「で」をつけるのが13例(65%)あったが「書」で「ご」をつけたのは1例(2.6%)に過ぎない。その他で集計しなかった複合語に「話」では「あいさつ状」1例に対して「書」では「舞台あいさつ」1例、「開会あいさつ」1例、「就任あいさつ」2例、「あいさつまわり」1例あり。

上の表の中で「あいさつする」は「話」2例(10%)、「書」9例(23.1%)。

「あいて [相手]」

	「話」	「書」 相手**
①つれ(事を行うときの一方の側, 一緒にする人, 仲間)	2 7 (43.5)	3 2 (50.0)
②敵 対抗者・物	2 0 (32.3)	1 2 (18.8)
③対象(働きかける対象, 付き合いこと, 世話することなど)	1 5 * (24.2)	2 0 (31.2)
合 計	6 2	6 4

*婚姻不履行の家庭調停での会話で、「相手方」として12回でているものを含む。同棲していたから①であったが、②という気持ちであろう。調停途中なので③とした。

**「書」では複合語で①にはお相手、相手役3、結婚相手、遊び相手 計6、②では対戦相手1、③では相手国3、相手方3、相手側2、米兵相手、交渉相手、女性相手計11を含む。なお、含めなかったものに裁判についての「相手どる」3例がある。意味は③となるところ。

「あおい [青い] 」

	「話」	「書」 青い
①青い色だ ②顔色が悪い ③未熟だ	7	2 0
合 計	7	2 0

意味は①に集中しているが、分けておいていいかが問題。

	「話」	「書」 青い
アオク アオイ(連体)	7	2 1 8
合 計	7	2 0

「あかい [赤い] 」

	「話」	「書」			計
		赤い	紅い	あかい	
①赤色である ②共産主義的である	5 0	3 1	2	1	3 4
合 計	5 0	3 1	2	1	3 4

②の意味はカットして多義語としないのがいいであろう。

	「話」	「書」			計
		赤い	紅い	あかい	
アカク 中止	1				3
V	5	3			
テ	1				
ナイ	2				
アカイ (終止)	3	1			1
(連体)	3 8	2 7	2	1	3 0
合 計	5 0	3 1	2	1	3 4

「あき〔開き〕」（開く）

	「話」	「書」 あく
①開←→閉	5 (55.6)	1 (100.0)
②すきま、へだたり 間隔があく、空く	4 (44.4)	
合 計	9	1

「あけ(る)」が第2千語にある。この方が多い(「話」69,「書」20)ので、第1千語と第2千語を入れかえるか。

	「話」	「書」 あく
アカ ナイ	3	1
アキ マス	2	
アク (終止)	1	
(連体)	3	
合 計	9	1

「あさ〔朝〕」

	「話」	朝	「書」 あさ	計
①夜明けから午前中	99 (92.5)	186 (83.0)	3 (60.0)	189 (82.5)
②午前（あとに時間 のつくとき）	8 (7.5)	38 (17.0)	2 (40.0)	40 (17.5)
合 計	107	224	5	229

①は本来明るくなってからとして暗いうちと区別したかったが不可能だった。「朝6時」のように時間のついているものを②としたが、この区別をする必要は必ずしもないので、多義語としなくてもよからう。

「あさい〔浅い〕」

	「話」	「書」 浅い
①底・奥までの距離が 短い	2 (50.0)	1 (20.0)
②物事の程度・度数・ 分量が少ない	2 (50.0)	4 (80.0)
合 計	4	5

野球の「浅いフライ」は②とした。

	「話」	「書」 浅い
アサカッ タ	1	
アサク 中止		2
テ		1
アサク (連体)	3	2
合 計	4	5

「あし〔足〕」

	「話」	足	「書」 あし	計
①歩く器官	6 4 (97.0)	3 0 (60.0)		3 0 (58.9)
②歩み		1 0 (20.0)		1 0 (19.6)
③形・働きが足に 似たもの	2 (3.0)	3 (6.0)		3 (5.9)
その他		3	1	4
交通		(6.0)	(100.0)	(7.8)
慣用用法		4 (8.0)		4 (7.8)
合 計	6 6	5 0	1	5 1

慣用用法は、足を洗う、足を運ぶ、足を引っ張る。その他に複合語として、「足自慢」「千鳥足」「一足先に」各1が「書」にあり。

「あそび〔遊び〕」(遊ぶ)

	「話」	遊ぶ	「書」 あそぶ	計
①楽しむ	9 5 (97.9)	2 4 (85.7)	4 (100.0)	2 8 (87.5)
②何もしない	2 (2.1)	4 (14.3)		4 (12.5)
合 計	9 7	2 8	4	3 2

以上のうち、名詞の「遊び」は「書」8例、「話」46例、名詞の形は「話」が多い。他に複合語として「話」6例(遊び方、遊び金(将棋)、遊び友達、遊び呆ける、ボート遊び、飛び遊び各1例)、「書」18例(グループ遊び、遊び道具、睡眠薬遊び、早抜き遊び(ピストル)、遊び相手、遊び仲間、遊びあきる各1例、遊び着、遊び人各2例、遊び場所6例、遊びまわる1例)。「する」の尊敬語として、「遊ばす」など「話」11例、「書」4例あり、可能動詞「遊べる」が他に「話」5例あり。

	「話」	「書」 遊ぶ	あそぶ
アソ	1		4
ボ			
バ	2	2	
セル	2		
ナイ	2		
ヘン	1		
ン	3		
ビ	1	1	
タイ	1		
ナサイ	1		
ン	1		
ジャ	1		
デ	2 5	9	
ダ	5	1	
ダラ	1		
ドル	1		
ブ (終止)	4	4	
(連体)	3	3	
合 計	5 1	2 0	4

(名詞形を除いて集計。)

以下あそび〔遊び〕集計外。

なお、可能動詞「遊べる」は

	「話」	「書」 遊べる
アソ	2	0
ベ		
ナイ	3	0
ベル		
合 計	5	0

「する」の尊敬語は

	「話」	「書」 遊ばされる
アソバ	1	1
サ	3	
レル		
シ	5	1
ス		
セ	2	2
合 計	1 1	4

「あたたかい [暖かい]」

	「話」	「書」		計	「話」 あったかい
		暖かい	あたたかい		
①気候・温度について	6 (75.0)	1 1 (78.6)	2 (100.0)	1 3 (81.3)	1 4 (100.0)
②愛情に富んでいる	2 (25.0)	3 (21.4)		3 (18.7)	
合 計	8	1 4	2	1 6	1 4

(あったかいは「話」にだけある)

形容動詞「あたたかだ」では「書」だけに暖か、暖ったか、がある。合計3で意味はすべて

①「暖か」2「暖ったか」1。他に「書」で暖かさ1例、あたたかみ1例あり。

	「話」	「書」		なお、あったかいは	「話」
		暖かい	あたたかい		
アタタカ カッ タ		1			
ク (中止)	1	2			
(連用)	2	2			
イ (終止)		1	1		
(連体)	5	8	1		
合 計	8	1 4	2		

アッタカ スギル	1
アッタカク (中止)	
(連用)	3
アッタカイ (終止)	8
(連体)	2
合 計	1 4

形容動詞あたたかだでは「書」は

	「書」 暖ったか
アタタカ ニ	1
ナ	1
アッタカ デス	1
合 計	3

「あつい [熱い]」

	「話」	「書」		計
		熱い	あつい	
①温度が著しく高い	4 (100.0)	4 (44.4)	1 (100.0)	5 (50.0)
②熱心だ		5 (55.6)		5 (50.0)
合 計	4	9	1	1 0

	「話」	「書」	
		熱い	あつい
アツイ (終止) (連体)	4	9	1
合 計	4	9	1

「あつい [厚い]」

	「話」	「書」 厚い
①厚みがある	2 (50.0)	4 (25.0)
②情が深い	2 (50.0)	6 (37.5)
その他 囲碁		4 (25.0)
多量		2 (12.5)
合 計	4	16

	「話」	「書」
アツカッ タ		1
アツク (中止) (連用)	2	2 6
アツイ (終止) (連体)	2	2 5
合 計	4	16

「あぶない [危ない]」

	「話」	「書」			計
		あぶない	危ない	危い	
①危険だ	47 (94.0)	4 (44.4)	2	1	7 (58.3)
②心配だ	2 (4.0)	5 (55.6)			5 (41.7)
その他 間に合わない	1 (2.0)				
合 計	50	9	2	1	12

「間に合わない」はウエノマデアブナイカナ、で大きくいえば②としてもよからう。「書」はその他に慣用句的なものとして「あぶない橋を渡らなければならない」1例あり、意味は①であろう。

	「話」	「書」			計
		あぶない	危ない	危い	
アブナカッタ	1				
アブナク	2				
テ	2	1			1
ナイ	1	1			1
V	1	1			1
アブナイ	3 5	5	2	1	8
(終止)					
(連体)	8	2			2
アブノウ	1				
ゴザイマ					
合 計	5 0	9	2	1	1 2

「あぶら〔脂・油〕」

	「話」	「書」		計
		脂	油	
①動物質のアブラ	4	6	2	8
	(17.4)		(33.3)	(66.7)
②その他のアブラ	1 9		4	4
水に混らない	(82.4)		(66.7)	(33.3)
合 計	2 3	6	6	1 2

以上の中に入っている慣用語は「書」脂がのる、油をしぼられる、各1例。

他に複合語として、「話」アブラ障子、アブラ代各1例、「書」で豊年油15例、吉原油7例、計22例、いずれも株式欄。

「あに〔兄〕」

	「話」	「書」 兄
①同じ親から生まれた 年上の男の子	100.0	100.0
②妻・夫の兄		
合 計	5	1 1

②の意味はなし。

「話」は他にアニキ5例、うち1例はその辺にいる男への呼びかけ、他は「兄」の2 d 2 1の意味。「書」は他に「兄貴」3例。①の意味だろう。

「あね〔姉〕」

	「話」	「書」 姉
①同じ親から生まれた 年上の女の子	100.0	100.0
②妻・夫の姉		
合 計	6	8

「兄」と同様すべて①の意味。

「話」には他にアネキ 1 例、①の意味、アネサマ 1 例、これはしかるべき年齢になった若い女性の意味。

「あめ〔雨〕」

	「話」	「書」 雨
①空から降ってくる 水滴	2 6 (74.3)	4 6 (33.8)
②雨天	9 (25.7)	9 0 (66.2)
合 計	3 5	1 3 6

②は「くもりのち雨」のようなものも含む。天気予報はここでは書きことばのものである。他に複合語として、「話」にミゾレアメ 1 例、「書」にひと雨ごと 1 例あり。

「あやまり〔謝り〕」（謝る）

	「話」	「書」 あやまる
①わびる	5	2
②降参する		
合 計	5	2

②はないがどうするか。

	「話」	「書」 あやまる
アヤマッ テV	2	1
タ	1	
アヤマル（終止）	1	
アヤマレ バ	1	1
合 計	5	2

「あらい [粗い]」

	「話」	「書」
①細やかでない	3	
②ざらざらしている		
合 計	3	0

この語は基本語ではないか。

	「話」	「書」
アラク ナイ	1	
アライ (連体)	2	
合 計	3	0

「あらい [荒い]」

	「話」	「書」
①乱暴だ	1 (16.7)	
②強くはげしい	5 (83.3)	
合 計	6	0

	「話」	「書」
アラク ナル	1	
アライ (終止)	5	
合 計	6	0

この語は基本語ではないのか、「荒れる」を採用して「荒れている」ではどうか。

「あらそい [争い]」

	「話」	「書」 争う
①競争する、はり合う	3	1 4 (70.0)
②けんかする、戦う	1	4 (20.0)
③さからう	1 *	
裁判		1 (5.0)
論争		1 (5.0)
合 計	5	2 0

*ヤッパリアラソワレナイ
モンダナ。

③と「話」は右の文脈で入れたが、これは分出することはなさそうだ。

「書」の裁判や論争は③とも考えられるが、①や②もいい。結局③は不要か。

複合語の「～争い」はすべて名詞形。

「話」 先頭あらそい、選考あらそい、第二位あらそい、勢力あらそい、各 1 例、計 4 例。

「書」 優勝争い 3 例、先陣争い、主導権争い各 2 例、権力争い、権力争奪争い、トップ争い、派閥争い、得点争い各 1 例、計 1 2 例。

		「話」	「書」 争う
アラソワ	レテ	2	1
	レナイ／ズ	1	1
	レル (終止)		1
	レヨウ		1
アラソイ	～マス	1	
	名詞形		5
アラソッ	テ (中止)		2
	V		1
	タ (連体)		6
アラソウ	ヨウニ		1
	(連体)	1	1
合 計		5	20

「あらわし〔表・現し〕」(表・現す)
あらわれる、は第二千語。

	「話」	「書」			計
		表す	現す	あらわす	
①表現する	5 (55.6)	2		5 (55.6)	7 (41.2)
②あらわにする	4 (44.4)		6	4 (44.4)	10 (58.8)
合 計	9	2	6	9	17

他に複合語 「話」 あらわしかた、かきあらわす各1例。
「書」 あらわしかた3例。

		「話」	「書」			計
			表す	現す	あらわす	
アラワサ	レル	1				
アラワシ	マス	1				
	V	1				
	タ (終止)	1		3	2	5
	(連体)		1		1	2
	テ (中止)	1		1	1	2
	V, Adj	3		2	2	4
アラワス	(終止)				1	1
	(連体)		1		2	3
アラワセ	ナイ	1				
合 計		9	2	6	9	17

「いえ [家]」

	「話」	「書」 家
①建物	7 8 (58.2)	9 8 (70.5)
②我が家、自宅	5 1 (38.1)	3 6 (25.9)
③家筋	5 (3.7)	5 (3.6)
合 計	1 3 4	1 3 9

なお、第一千語の「うち」参照。

「話」はほかに「お家芸」1例、複合語としてある。

「いき [息]」

	「話」	「書」 息
①呼吸	8 (80.0)	2 (66.7)
②呼吸する空気	2 (20.0)	1 (33.3)
合 計	1 0	3

他に慣用句 「話」 息をつめる2例、息をつく1例、息のつまる1例、計4例。

「書」 息の合った1例、息をひきとる1例、息をつく3例、息を吹きかえす1例、息をのむ2例、息もつかせぬ1例、計9例。

「いき [生き]」(生きる)

	「話」	「書」		計
		生きる		
①命がある←→死ぬ	3 0 (90.9)	9 (14.8)		9 (14.1)
②－1生活する	1	2 1	2	2 3
暮らしを立てる	(3.0)	(34.4)	(66.7)	(35.9)
－2一生をかける		1 4		1 4
生きぬく		(22.9)		(21.9)
他－1有効に働く	2	1 2	1	1 3
	(6.1)	(19.7)	(33.3)	(20.3)
－2名残りや影響に残る		5 (8.2)		5 (7.8)
合 計	3 3	6 1	3	6 4

他の複合語 生き方 2 例、生甲斐 1 例、生きながらえる 1 例、生抜く 1 例、生き抜く 1 例、
生きぬく 2 例、生残る 1 例、生き残る 8 例、生きもの 1 例、生霊 1 例、計 19 例。

「いし〔石〕」

	「話」	「書」 石
①岩石のうち小さいもの	19	15
②ジャンケンのゲー		
合 計	19	15

「書」ではうち 4 例が囲碁、「話」ではこれはなし。

複合語 「話」 基礎石 1 例、碁石 1 例、大谷石 2 例、石ブーム 1 例、計 5 例。

「書」 天然御影石 1 例、大谷石(積) 9 例、根尾孔雀石 1 例、間知石(積) 2 例、石の間 1 例、トルコ石 1 例、石どうろう 1 例、計 16 例。

「いす〔椅子〕」

	「話」	椅子	「書」 イス	計
①こしかけ	7 (87.5)	7 (77.8)		7 (50.0)
②地位・ポスト	1 (12.5)	2 (22.2)	5 (100.0)	7 (50.0)
合 計	8	9	5	14

複合語として「書」に、折たたみ椅子 1 例、回転椅子 2 例、椅子式 1 例、車イス 4 例、計 8 例。

「書」の漢字表記は広告に多い印象である。

「いそがしい〔忙しい〕」

	「話」	忙しい	「書」 いそがしい	計
①多忙だ	31	14	6 (75.0)	20 (90.9)
②落ち着かない様子だ			2 (25.0)	2 (9.1)
合 計	31	14	8	22

以上の他 名詞形 「話」 いそがしさ 1 例、「書」 忙しさ 3 例、いそがしさ 1 例、計 4 例、
総計 5 例。複合語 「書」 忙しすぎる 1 例。

		「話」	「書」		計
			忙しい	いそがしい	
イソガシ	ソウ			1	1
	カット	1	1		1
	ク+用言	1	3	1	4
	クテ	4	1		1
	ウテ	1			
	イ(終止)	4	2	2	4
	(連体)	1 6	7	4	1 1
	ンダ(インダ?)	1			
	イジャロー	1			
	カ(方言)	1			
	キ(文語連体形)	1			
合 計		3 1	1 4	8	2 2

「いたみ [痛み]」 (痛む)

	「話」	「書」		計	「話」	「書」			計
		痛む	いたむ			痛める	傷める	いためる	
①肉体的な痛 さを感じる	1 2 (66.7)	1 6 (88.9)	1 (100.0)	1 7 (89.5)	2 (100.0)	2 (25.0)			2 (16.7)
②悩む		2 (11.1)		2 (10.5)		4 (50.0)		2 (100.0)	6 (50.0)
③物に傷が つく	6 (33.3)					2 (25.0)	2 (100.0)		4 (33.3)
合 計	1 8	1 8	1	1 9	2	8	2	2	1 2

「いたみ」はカットして第二千語の「いたい」を昇格させてもよからう。

料理のいためるは「話」3、「書」いためる4、だが除外。

なお、他に「いたましい」が「書」に2例あり、「話」なし。

	「話」	「書」		計
		痛む	いたむ	
イタミ (名詞形)	1 2	1 7		1 7
マス	2			
イタン デ	3			
イタム (終止形)	1		1	1
(連体形)		1		1
合 計	1 8	1 8	1	1 9

ほとんどイタミは名詞形、特に「書」ではそうである。②の意味の1は名詞形。

		「話」	「書」			計
			痛める	傷める	いためる	
イタメ	ナイ(ズ)	2	2	2	2	4
	テ(中止)		2			2
	テ V		1			3
イタメル	(終止)		1			1
	(連体)		2			2
合 計		2	8	2	2	12

「いのち [命]」

		「話」	「書」		計
			命	いのち	
①生命		8	10	6	16
		(100.0)	(83.3)	(100.0)	(88.9)
②寿命			2		2
			(16.7)		(11.1)
合 計		8	12	6	18

他に「書」に複合語で、命がけ1例、いのちがけ1例、命綱2例、命取り3例、命拾い1例、計8例。

「いのり [祈り]」

	「話」	「書」		「話」	「書」 祈る
①神仏に願う	2 (50.0)	5 (55.6)	イノロウ リ(名詞形) ッテV ル(終止) (連体)	2	1
②強く望む	2 (50.0)	4 (44.4)			2
					1
					2
					3
合 計	4	9	合 計	4	9

名詞形は、「話」はオイノリ、「書」はオはつかない。

「いもうと [妹]」

		「話」	「書」
			妹
①同じ親から生まれた年下の女の子		9	12
	②夫・妻の妹、弟の妻、義妹		
合 計		9	12

「きっぷ〔切符〕」

	「話」	「書」 切符
①乗車券	1 2 (54.6)	3 (100.0)
②入場券	5 (22.7)	
配給券	5 (22.7)	
合 計	2 2	3

「話」の②は相撲2、ジャズ、芝居、東京タワー各1。
配給券は分けて出すほどのことはなかろう。

「いみ〔意味〕」

	「話」	「書」 意味
①物事・ことば・ 文章などの内容	7 7 (81.9)	3 2 (34.8)
②動機としての理由・ 原因・目的・意図 値打	1 7 (18.1)	5 6 (60.9) 4 (4.3)
合 計	9 4	9 2

他に複合語として 無意味 「話」2、「書」2あり。
「意味する」は上に入れてある。「話」1（①の意味）、「書」17（①の意味3、②の意
味14）。

簡約日本語の創成と
教材開発に関する研究

発行 1992年7月
発行所 国立国語研究所
日本語教育センター
第二研究室分室
Tel. (03)3900-3111